

放送大学

教養学部

2025年度第1学期

面接授業時間割表



〈開講期間〉 2025年4月12日(土)~2025年7月27日(日)

目次

I. 科目登録の申請等について	1
II. 開設科目一覧	
学習センター別面接授業開設科目一覧	11
科目区分別面接授業開設科目一覧	19
III. 案内図・授業概要	
福岡学習センター	22
北九州サテライトスペース	36
佐賀学習センター	40
長崎学習センター	52
熊本学習センター	64
大分学習センター	76
宮崎学習センター	88
鹿児島学習センター	96
沖縄学習センター	108
IV. 学習センター以外の場所で行う面接授業	125

【巻末資料】

科目追加登録申請書

I. 科目登録の申請等について

この冊子は、九州・沖縄ブロック [福岡（北九州サテライトスペース）、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄] の各学習センターで開設される2025年度第1学期面接授業の時間割表です。

2025年度第1学期面接授業の科目登録に必要な冊子は、次のとおりです。

- 「科目登録申請要項（2025年度第1学期）」（科目登録申請票付）
 - 「2025年度第1学期面接授業開設科目一覧」
 - 「2025年度第1学期面接授業時間割表 [九州・沖縄ブロック版]」（本冊子）
- ※2019年度第1学期より、授業時間帯が変更になりましたので、ご注意ください。(詳細P2)

なお、九州・沖縄ブロック以外の各学習センターにおける開設科目の詳細（授業概要）につきましては、各学習センターに備え付けの時間割冊子または、放送大学ウェブサイト (<https://www.ouj.ac.jp/>) をご利用ください。

〔科目登録・履修にあたっての注意事項〕

1. 科目登録申請票提出後の変更・追加・取消等はできません。慎重に選択の上申請してください。
※インターネット（システムWAKABA）で科目登録申請する場合は、科目登録申請期間内であれば、科目登録申請画面において変更・追加・取消等ができます。
ただし、すべて取消することはできませんので、その場合は、本部までご連絡ください。
2. 授業を欠席しても、他の科目への振り替え、授業料の返還は行いませんのでご了承ください。
3. 次の場合、申請しても科目登録されませんので、ご注意ください。
 - ① 過去5年以内に単位を修得した面接授業科目と全く同じ科目名の授業を申請した場合
 - ② 過去5年以内に単位を修得した面接授業科目と相互に履修制限の関係にある科目を申請した場合（具体的な科目については全国版「面接授業開設科目一覧」の〈申請上の注意〉でご確認ください）
 - ③ 授業日程が重複する複数の面接授業科目を申請した場合
(申請したもののうち1科目が登録され、その他は登録されません)
 - ④ 複数の学習センターで開設する科目を受講する際、学習センター間の移動時間として最低1時限分以上の間隔がない場合
(申請したもののうち1科目が登録され、その他は登録されません)
 - ⑤ 同時に同じ科目名（同じ科目コード）の科目を複数申請した場合
(申請したもののうち1科目が登録され、その他は登録されません)
 - ⑥ 現在履修中の面接授業科目と全く同じ科目名の授業、または現在履修中の面接授業科目と履修制限の関係にある科目を申請した場合

4. 担当講師は、都合により変更する場合があります。授業日程にやむを得ず変更が生じた場合、受講生の方には電話及びキャンパスメール（学生メール）等によりすみやかにお知らせします。なお、授業日程の変更等の際は、交通費等は補償しませんので、あらかじめご了承ください。

講師の病気など、事情により他の講師が代講する場合があります。

また、災害の発生等で開講が困難な場合、閉講や日程変更となる可能性がありますので、あらかじめご承知おきください。

担当講師変更・日程変更等についてはウェブサイトにて最新情報を随時掲載いたします。

(<https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/1/>)

5. 2025年度第1学期の九州・沖縄ブロック各学習センターの授業実施時間帯は以下のとおりです。下記実施時間と異なる科目もありますので、必ず各々の科目の日程・実施時間欄を確認の上受講してください。

[福岡、北九州、大分面接授業実施時間]

1時限： 9：45～11：15

2時限：11：25～12：55

3時限：13：40～15：10

4時限：15：20～16：50

※2日目

4時限：15：20～16：05

試験・レポート等：16：05～16：50

[佐賀、宮崎面接授業実施時間]

1時限： 9：30～11：00

2時限：11：10～12：40

3時限：13：30～15：00

4時限：15：10～16：40

※2日目

4時限：15：10～15：55

試験・レポート等：15：55～16：40

[鹿児島面接授業実施時間]

1時限： 9：50～11：20

2時限：11：30～13：00

3時限：13：50～15：20

4時限：15：30～17：00

※2日目

4時限：15：30～16：15

試験・レポート等：16：15～17：00

[熊本、長崎、沖縄面接授業実施時間]

1時限：10：00～11：30

2時限：11：40～13：10

3時限：14：00～15：30

4時限：15：40～17：10

※2日目

4時限：15：40～16：25

試験・レポート等：16：25～17：10

[鹿児島（鹿児島県立奄美図書館）面接授業実施時間]

1時限： 9：30～11：00

2時限：11：10～12：40

3時限：13：30～15：00

4時限：15：10～16：40

5時限：16：50～18：05

試験・レポート等：18：05～18：20

【2日目】

1時限： 9：30～11：00

2時限：11：10～12：10

3時限：13：00～14：30

試験・レポート等：14：30～15：00

6. 受講したい科目の選択にあたっては授業概要をご覧ください。科目によっては、「授業テーマ」を記載しておりますが、授業の進捗状況にあわせて、変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

授業受講に際し必要な図書（授業当日必ずご持参いただくもの）は「教科書」として指定しておりますので、受講生の方各自でご用意をお願いいたします。なお、教科書を指定する授業は、本冊子の授業概要に示してあります。

なお、消費税等の変動により、教科書・参考書の価格が表示価格と異なる可能性があります。

【教科書】：授業で使用します。事前に各自で必ず用意しておいてください。

【参考書】：受講する前に読んでおいた方がよいものや授業を理解する上で参考となるものです。（参考書の購入は、必須ではありません）

7. 面接授業の成績はA～Eの6区分の評価があり、「A～C」の場合1単位が与えられます。授業時間とは別に成績評定のための試験・レポート等*の時間が設定されます。

* 筆記試験、レポート、論文、口述試験、実技テスト、その他担当講師の指定する方法により実施されます。（シラバスに記載されているので、必ずご確認ください）

* フィールドワーク等、一部の科目については試験・レポート等がない場合もあります。成績評価結果は、他の履修科目とあわせ「成績通知書」によって通知します。

8. 科目区分とナンバリングについては、本冊子8ページをご参照ください。

【各ブロック版PDFについて】

所属ブロック以外の面接授業時間割表冊子（シラバス）は、「面接授業ウェブサイト」> 授業概要（<https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/1/syllabus/>）で、PDF版を閲覧できます。



【ライブWeb授業について】

Web会議システム（Zoom）を利用した授業と、オンライン授業の利点を活かした新たな授業形態です。学習センターではなく、ご自宅などでパソコンなどを用いてリアルタイムで受講します。2025年度第1学期の授業科目は、2025年1月上旬頃にWebサイト公開いたします。詳細は、以下をご確認ください。

九州・沖縄ブロックのセンターで実施するライブWeb授業のシラバスは、実施センターの授業概要の最終ページに掲載しています。

<放送大学Webサイト/選ばれる理由/

いつでも、だれでも、自由な学び方を/ライブWeb授業>

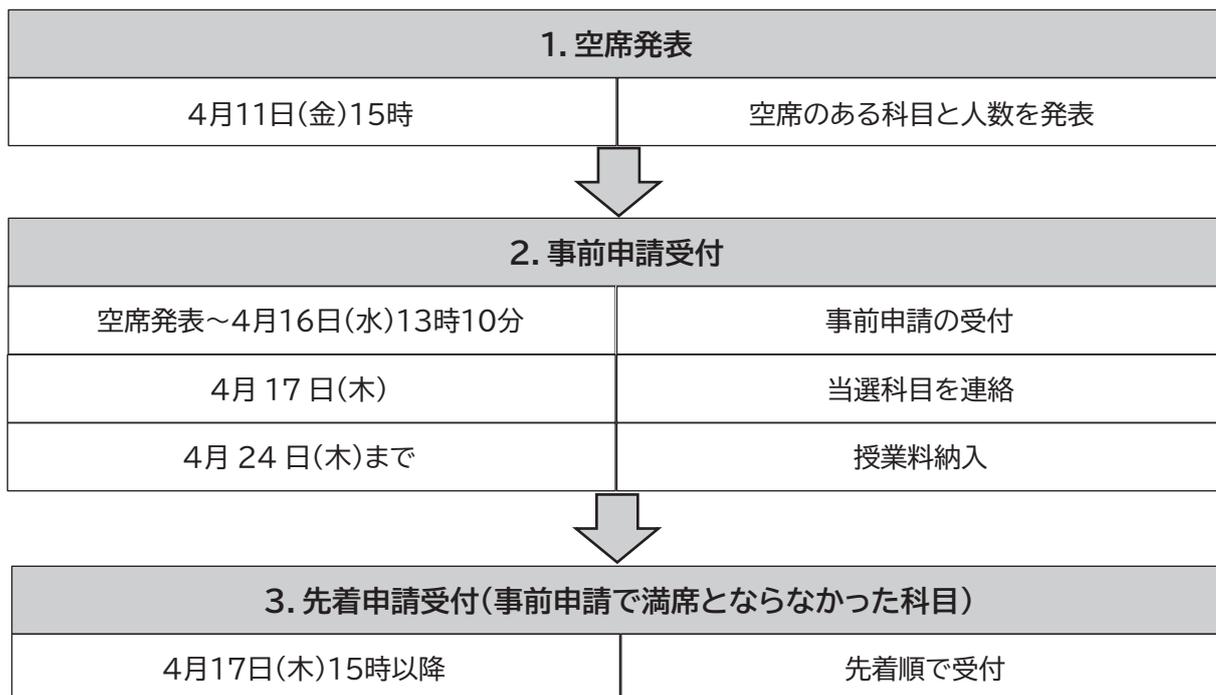


面接授業科目の「追加登録」について（ライブ Web 授業も準じます）

科目登録決定後、空席のある科目については、当該科目を開設する学習センターで追加登録を受け付けます。

「仕事の都合が直前までわからなくて科目登録を見送った」という方も、この機会を活かして面接授業の追加登録をご検討ください。また、2024 年度第 2 学期から、全ての学習センターで Web から追加登録の事前申請が可能となりましたので、ぜひご利用ください。

追加登録は以下のとおり行います。



1 空席発表 4月11日(金) 15時

面接授業ウェブサイト(第1学期)の「お知らせ」にて、全国の空席状況を確認できます。面接授業ウェブサイト(mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/1/)は、以下の QR コードやシステム WAKABA の学内リンクからアクセスしてください。

- 放送大学トップページから→[在学生\(WAKABA\)](#)をクリック
- システムWAKABAへログイン
- 学内リンクの[面接授業\(第1学期\)のページ](#)
- [お知らせ](#)の「空席状況のお知らせ」に掲載。



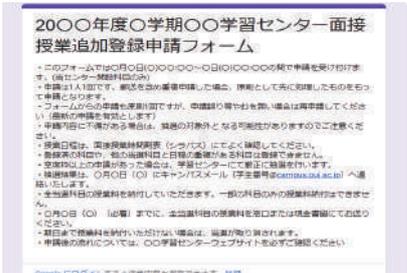
面接授業ウェブサイト1学期



2 事前申請受付

追加申請登録は、開設する学習センターごとに受付を行います。他の学習センターの開設科目の追加登録はできません。それぞれの学習センターへ申請してください。

※福岡学習センター…建物改修後の再度E棟へ戻る引越しによる一時閉所につきましては、決まり次第福岡学習センターのウェブサイトでお知らせします。

<p>事前申請の受付 【空席発表～4月16日(水)13時10分】</p>	<p>事前申請受付期間内に、次のA、Bのいずれかの方法により申請してください。</p> <p>A:Google フォームから申請 各学習センターのウェブサイトの「お知らせ」から、Google フォームのURLをクリックして、必要な項目を入力してください。</p>  <p>※イメージ図</p> <p>B:学習センター窓口で申請 開所時間を確認の上、巻末の追加登録申請書をご持参ください。</p> <p>なお、巻末の追加登録申請書を郵送することも可能ですが、その場合は4月16日(水)午前必着です。※北九州サテライトスペース実施科目は、福岡学習センターへ申請書を郵送してください。昨今の郵送事情から配送が遅れることが予想されますので、Googleフォームからの申請を強くお勧めします。</p>
<p>当選科目を連絡 【4月17日(木)】</p>	<p>学習センターからキャンパスメール(学生番号@campus.ouj.ac.jp)へ抽選結果をお知らせします。キャンパスメールの確認方法がわからない方は、事前にお問い合わせください。</p> <p>なお、空席枠以上の申込みがあった科目は、学習センターにて厳正に抽選を行い、当選者を決定いたします。</p>
<p>授業料納入 【4月24日(木)まで】</p>	<p>当選した科目があった方は、下記をご準備いただき、面接授業の開設学習センターへ、窓口または郵送(現金書留)にて手続きをしてください。</p> <p>期日までの納入が困難な場合は、必ず事前に開設学習センターへご相談ください。</p> <p>※北九州サテライトスペース実施科目の郵送納入(現金書留)は福岡学習センターへ郵送してください。</p> <p>【窓口】 開設学習センターの開所時間内に、下記をご持参ください。 所定の授業料(1科目 6,000円※1×当選科目数)</p> <p>【郵送(現金書留)】 開設学習センターの面接授業担当宛へ、下記を郵送してください。 ①追加登録申請書 ②所定の授業料(1科目 6,000円※1×当選科目数) ③返信用封筒(長形3号、宛先明記、110円切手貼付)</p> <p>4/25(金)以降に到着したものや、不備のあるものは返送にかかる費用を差し引いた金額をお返しいたします。</p>

※1 ライブ Web 授業「心理学実験(基礎)」の授業料は2単位 12,000円です。

【ご注意ください】

- ・当選した科目のキャンセルはできませんのでご注意ください。
- ・Googleフォームで申請した内容は修正可能ですが、修正が難しい場合は、期日までに再度申請してください。複数回申請した場合、原則として最後の申請を有効とします。
なお、Googleフォームと郵送を重複して申請した場合、原則として先に処理したものをもちて申請とします。
- ・複数の学習センターに同名の科目を申請した場合や、日程が重複する科目を申請した場合、どちらを優先するか希望順位は選択できませんので、ご注意ください。

【ご参考】

- ・全国の学習センターのウェブサイトへは、以下の URL から検索できます。
<https://www.ouj.ac.jp/about/ouj/center/>



3 先着申請受付(事前申請で満席とならなかった科目)

事前申請で満席とならなかった科目については、空席状況をシステム WAKABA で随時確認でき、原則として開講日の7日前まで先着順で追加登録を受け付けます。

<p>空席確認 【4月17日(木)15時以降 随時】</p>	<p>放送大学トップページ→在学生(WAKABA)をクリック →システムWAKABAへログイン →教務情報→科目登録申請→空席照会をクリック →希望の科目を検索</p>

<p>申請 【4月17日(木)15時～ 原則として開講日の7日前 まで※2】</p>	<p>先着順に受け付けます。申請の前に空席状況を確認してください。</p> <p>【窓口】 開設学習センターの開所時間内に、下記をご持参ください。 ①追加登録申請書 ②所定の授業料(1科目 6,000円※3×申請科目数)</p> <p>【郵送(現金書留)】 開設学習センターの面接授業担当宛へ、下記を郵送してください。 ※北九州サテライトスペース実施科目の郵送申請は、福岡学習センターに郵送してください。 ①追加登録申請書 ②所定の授業料(1科目 6,000円※3×申請科目数) ③返信用封筒(長形3号、宛先明記、110円切手貼付)</p> <p>授業料納入確認後、面接授業科目追加登録決定通知書をお送りいたします。各科目の追加登録受付期限内に郵便が届かない場合、申請した科目がすでに満席の場合、申請内容に不備がある場合、などは登録できません。その場合、返送にかかる費用を差し引いた金額をお返しいたします。</p>
--	---

※2 追加登録受付期限日は、原則として授業開始日の7日前(ライブ Web 授業は「心理学実験(基礎)」が14日前、その他が10日前)ですが、学習センターの閉所日や授業内容によって早めに締め切る場合や、直近まで受け付ける科目もあります。

※3 ライブ Web 授業「心理学実験(基礎)」の授業料は2単位12,000円です。

(参考)ライブ Web 授業科目の「追加登録」について

学習センターが開講する科目(「学習センターコード」が「12Z」以外の科目)に空席がある場合には、当該科目を開講する学習センターで追加登録を受け付ける場合があります。追加登録の手続きや日程は面接授業に準じます。

本部が開講する科目(「学習センターコード」が「12Z」の科目)は追加登録を行いません。

科目区分とナンバリング

放送大学の科目は全てのコースにおいて、基盤科目、導入科目、専門科目、総合科目に分類され、それぞれ100番台～400番台でナンバリングされています。

ナンバリングの小さいほうがより基礎的で、大きくなるにつれて専門性が高まり、総合科目は複数の専門科目の総合という意味で応用性が高くなるという構成になっています。

それぞれの科目区分と目標は次のようになります。

科目区分		目 標
基盤科目 (100番台)		放送大学の全てのコースにおける学習をするために必要となる基礎的な能力あるいはリテラシーを身につけること。 あわせて放送大学で学習することの魅力を知り、学習への意欲を一層強めるために、今日の社会における教養の意義、放送大学における教育の体系、生涯学習等についての理解を深めること。
コース科目	導入科目 (200番台)	各コースで開設される科目を効率的に学習するために、コースを構成する各学問領域の導入的知識およびそこで求められる基礎的な能力を身につけること。
	専門科目 (300番台)	導入における各学問領域の基礎的な知識、能力の修得を前提にして、それをさらに深め、各コースの学問分野についての、専門的な知識、分析手法、思考方法を身につけること。
	総合科目※ (400番台)	学際的な知識、分析手法を身につけ、複数の学問領域から異なる視点に立つ分析を通じて、単一の学問領域内での学習を超えた、教養学部ならではの複眼的な視点を養うこと。

※面接授業における総合科目は、卒業要件上は所属コースの科目として扱います。

また、科目区分に加え、初級(10)、中級(20)、上級(30)の難易度も設定されています。そのため、各科目のシラバスには以下のようにナンバリングが記載されています。

	初級(10)	中級(20)	上級(30)
総合科目(400)	410	420	430
専門科目(300)	310	320	330
導入科目(200)	210	220	230
基盤科目(100)	110	120	130

なお、2009～2015年度に入学・再入学・編入学した方で、2016年度からのカリキュラムに移行していない場合の科目区分の読み替えについては、学生生活の葉をご確認ください。

授業内容には以下の項目が記載されていますので、科目を選ぶ際の参考としてください。

(1)科目区分とナンバリング
科目区分および難易度をナンバリングで表示しています。
詳しくは8ページをご確認ください。

科目コード	110	【授業内容】 これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。放送大学Webページ、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。 【授業テーマ】 第1回 パソコンの基本操作（キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル） 第2回 ワードによる文書作成とPDF保存 第3回 Webとメールの活用 第4回 セキュリティ 第5回 システムWAKABA・自己学習サイト 第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス 第7回 オンライン授業の実践 第8回 まとめと振り返り（第7回で体験したオンライン授業の振り返り） 【学生へのメッセージ】 基本的なパソコン操作と放送大学の学習方法を学びます。実習中は、講師とアシスタントがサポートします。慣れていない方でも安心して受講してください。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
学習センター	学習センター	
学習センターコード		
クラスコード		
科目名	新・初歩からのパソコン	
科目区分	基盤科目	
ナンバリング	110	
定員	20名	
担当講師	○○ ○○ 放送大学教授	
日程 実施時間	○月○日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～17:20 ○月○日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:35～13:05 第3時限 14:05～15:35 第4時限 15:50～16:35 試験・レポート等 16:35～17:20	
実施会場	●●図書館(△市●●)	
授業概要	【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 USBメモリ（※市販されている一番安価な物で結構です。） 学生証 授業内でログイン操作を伴う実習があります。必ずお持ちください。 【教科書】 ・新・初歩からのパソコンテキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学／¥0） 授業当日に配付します 【参考書】 ・新・初歩からのパソコン電子版テキスト（PDF／ダウンロード方法は授業で説明します。／¥0） 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度の「基盤科目」に該当します。 「新・初歩からのパソコン」の電子テキストの入手方法は授業で説明します。	

(2)成績評価の方法
3ページをご確認ください。

学習センター以外の場所で
開講する科目はP125をご確認ください。

(3)教科書・参考書
3ページをご確認ください。

自分用パソコン持ち込み方式（BYOD）のご案内

パソコンを使う面接授業は、原則として受講者ご自身でパソコン等を持参し、受講いただきます。

受講者がパソコン等を持参して受講する科目は、授業内容の冒頭に BYOD であることが分かるよう記載しているほか、2025 年度第 1 学期面接授業開講科目一覧冊子の「PC 等持参必須」欄でもご確認いただけます。また、面接授業 Web サイトには「BYOD－自分用パソコン持ち込み方式について」を掲載しておりますので、ご参考になさってください。

面接授業ウェブサイト 1 学期
<https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/1/byod/>



なお、受講にあたり必要な条件は科目により異なります。面接授業時間割表（各ブロック版）やシステム WAKABA のシラバスを必ずご確認ください、科目登録申請をしてください。

1. 受講に必要なパソコン等端末の種類（パソコン、タブレット等）やソフトウェア（ウィンドウズやオフィス等）についてご確認ください。
2. 学習センターの無線 LAN（Wi-Fi）に接続する場合、所定の手続きを面接授業の受講前日までにを行う必要があります。
2024 年度第 2 学期からオンライン申請となりました。手続きの詳細は上記「面接授業ウェブサイト」または「システム WAKABA > 各種届出・申請様式 > 無線 LAN 利用申請（オンライン）について」でご確認ください。
3. 学習センターにプリンターはありませんので、紙媒体でレポート提出が必要な科目の場合、自宅やコンビニ等で印刷いただく必要があります。

科目コード		【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD : Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センター	福岡学習センター	
学習センターコード	40A	
クラスコード	K	
科目名	プログラミング演習 Python	
科目区分	導入科目：情報	
ナンバリング	220	
定員	16 名	
担当講師	タツミ タケオ 原己 丈夫 (放送大学教授)	
		【授業テーマ】 第1回 プログラミングとは 第2回 文字列、データ型 第3回 条件分岐 第4回 繰り返しの書き方 第5回 ミニ課題のレビュー 第6回 統計処理とデータ 第7回 図形の描画 第8回 プログラムの作成 【学生へのメッセージ】 この授業では、プログラ 学びますが、使用するパ 用パソコン持ち込み方式 注意してください。 授 果 概 要 【受講前の準備学習等】 システム WAKABA にロ しておいてください。 Google Chrome をインス 【成績評価の方法】

パソコン等を持参して受講する科目は【授業内容】の冒頭に以下のように記載しています。

この授業は自分用パソコン持ち込み方式(BYOD:Bring Your Own Device)で実施します。

【受講前の準備学習等】
 【受講者が当日用意するもの】
 【その他(特記事項)】
 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

※Microsoft Office の学割について

放送大学在学中の学生は、株式会社内田洋行が提供するサービス「ウチダの Office 学割」を利用し、Microsoft Office を特別学割価格で購入できます。詳しくは以下をご覧ください。

Microsoft Office の学割について
<https://www.ouj.ac.jp/about/office-gakuwari/>



Ⅱ. 開設科目一覧

学習センター別面接授業開設科目一覧 (★はライブweb授業)

【福岡学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目	新・初歩からのパソコン	6月21日(土)	笠原 義 晃	32
		6月28日(土)		
基盤科目：外国語	原書と映画で学ぶ英語その5	5月10日(土)	志水 俊 広	23
		5月11日(日)		
導入科目：自然と環境	実験で学ぶ色の科学と文化史	5月17日(土)	安池 智 一	24
		5月18日(日)		
専門科目：生活と福祉	人間工学	6月7日(土)	村木 里 志	29
		6月8日(日)		
専門科目：生活と福祉	食品機能学	6月14日(土)	立花 宏 文	30
		6月15日(日)		
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	5月10日(土)	花田 利 郎	24
		5月11日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験2	5月17日(土)	斎藤 富由起	25
		5月18日(日)		
専門科目：心理と教育	★心理学実験(基礎)	5月17日(土)	竹林 ひかり	33
		5月24日(土)		
		5月31日(土)		
		6月7日(土)		
専門科目：心理と教育	心理学実験1	5月24日(土)	山本 健太郎	27
		5月25日(日)		
専門科目：心理と教育	臨床心理学実習	6月7日(土)	佐藤 仁 美	29
		6月8日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験3	6月14日(土)	分部 利 紘	31
		6月21日(土)		
専門科目：心理と教育	社会的養護と学校教育	6月21日(土)	村松 健 司	32
		6月22日(日)		
専門科目：社会と産業	刑事司法と福祉	6月14日(土)	土井 政 和	31
		6月15日(日)		
専門科目：人間と文化	大学博物館への招待9	5月17日(土)	伊藤 泰 弘 他7名	26
		5月18日(日)		
専門科目：人間と文化	西洋芸術の歴史と理論	5月27日(火)	青山 昌 文	28
		5月28日(水)		
専門科目：情報	情報化社会における図書館	5月24日(土)	渡邊 由紀子	28
		5月25日(日)		
専門科目：情報	コンピュータの仕組み	6月7日(土)	南里 豪 志	30
		6月8日(日)		
専門科目：自然と環境	★金属材料と加工	6月21日(土)	津守 不二夫	34
		6月22日(日)		

【北九州サテライトスペース開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
専門科目：生活と福祉	加工食品の開発・生産の実際	4月26日(土)	米満宗明	37
		4月27日(日)		
専門科目：心理と教育	リーダーシップの心理学	5月10日(土)	池田浩	38
		5月11日(日)		
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	5月24日(土)	菊池悌一郎	39
		5月25日(日)		
専門科目：人間と文化	古代中国の社会と漢字	4月19日(土)	宮本徹	37
		4月20日(日)		
専門科目：情報	音と音楽への情報学的アプローチ	5月17日(土)	仁科エミ	38
		5月18日(日)		
専門科目：自然と環境	生物無機化学の基礎	6月14日(土)	久枝良雄	39
		6月15日(日)		

【佐賀学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目：外国語	基礎英語リスニング	5月10日(土)	山崎美穂子	43
		5月11日(日)		
導入科目：社会と産業	金融リテラシーを身につける	5月17日(土)	大野優也 他6名	44
		5月24日(土)		
導入科目：情報	情報科学入門	5月31日(土)	堀良彰	46
		6月1日(日)		
専門科目：生活と福祉	物忘れ予防、認知症予防	4月19日(土)	井出訓	41
		4月20日(日)		
専門科目：生活と福祉	佐賀の食べ物学	6月7日(土)	安田みどり	48
		6月8日(日)		
専門科目：生活と福祉	自閉スペクトラム症の理解と支援	6月14日(土)	松山郁夫	50
		6月15日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験1	5月24日(土)	岡嶋一郎	45
		5月25日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験2	5月31日(土)	日高茂暢	47
		6月1日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験3	6月7日(土)	橋口晋	49
		6月8日(日)		
専門科目：社会と産業	人的資源管理	4月26日(土)	原田順子	42
		4月27日(日)		
専門科目：人間と文化	佐賀の歴史と文化1	4月26日(土)	中尾友香梨	42
		4月27日(日)		
専門科目：人間と文化	ぶらっと有田・陶磁の歴史と文化	5月10日(土)	鈴田由紀夫	43
		5月11日(日)		
専門科目：自然と環境	身近な自然から考える生物多様性	4月19日(土)	徳田誠	41
		4月20日(日)		
総合科目	映像デザインー映画からVRまで	6月14日(土)	中村隆敏	50
		6月15日(日)		

【長崎学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目	新・初歩からのパソコン	5月31日(土)	藤村 誠	57
		6月1日(日)		
基盤科目：外国語	国際観光英語	6月7日(土)	ダッツマン プライアン	58
		6月8日(日)		
導入科目：心理と教育	教育心理学入門	6月7日(土)	加来 秀俊	59
		6月8日(日)		
導入科目：人間と文化	その街で名曲は生まれた	5月31日(土)	堀内 伊吹	56
		6月1日(日)		
専門科目：生活と福祉	全身に影響する口腔と歯科治療	6月21日(土)	鵜飼 孝文 黒 唯	59
		6月22日(日)		
専門科目：生活と福祉	驚異のバクテリアパワー	6月28日(土)	石井 良和	61
		6月29日(日)		
専門科目：生活と福祉	映画で学ぶ依存症	7月5日(土)	永江 誠治	61
		7月6日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験3	5月10日(土)	橋口 晋	54
		5月11日(日)		
専門科目：心理と教育	臨床心理学実習	5月24日(土)	佐藤 仁美	55
		5月25日(日)		
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	6月21日(土)	細野 康文	60
		6月22日(日)		
専門科目：社会と産業	居留地における異文化交流	4月26日(土)	南森 茂太	53
		4月27日(日)		
専門科目：社会と産業	市民生活と保険法	5月31日(土)	李 鳴	58
		6月1日(日)		
専門科目：社会と産業	憲法判例研究	7月5日(土)	池谷 和子	62
		7月6日(日)		
専門科目：人間と文化	くずし字で読む長崎の名所	5月10日(土)	吉良 史明	53
		5月17日(土)		
専門科目：情報	画像生成AIの光と影	5月24日(土)	小林 透	56
		5月25日(日)		
専門科目：自然と環境	化学反応の速度とは何か？	5月17日(土)	田邊 秀二	55
		5月18日(日)		
専門科目：自然と環境	五島灘洋上実習	7月5日(土)	森山 康宏 脇 信博	63
		7月6日(日)		

【熊本学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目	ウェブページ作成の基礎	7月12日(土)	喜多敏博	73
		7月13日(日)		
基盤科目：外国語	現在のドイツ語圏を見る	4月19日(土)	小池ウルスラヘレナ	65
		4月20日(日)		
専門科目：生活と福祉	がん療養における意思決定支援	5月24日(土)	樋口有紀	69
		5月25日(日)		
専門科目：生活と福祉	食育の現状について考える	6月28日(土)	友寄博子	72
		7月5日(土)		
専門科目：生活と福祉	こころとからだの薬	7月12日(土)	倉内祐樹	74
		7月13日(日)		
専門科目：心理と教育	解決志向ブリーフセラピー入門	4月26日(土)	橋口真人	66
		4月27日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験1	5月10日(土)	寺本渉	67
		5月11日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験3	6月7日(土)	安村明	71
		6月14日(土)		
専門科目：社会と産業	水の社会学	5月10日(土)	牧野厚史	68
		5月11日(日)		
専門科目：社会と産業	契約からみる民法	5月17日(土)	濱田絵美	68
		5月18日(日)		
専門科目：人間と文化	明治維新論	4月19日(土)	今村直樹	65
		4月20日(日)		
専門科目：人間と文化	社会課題解決学入門	5月17日(土)	水元豊文	69
		5月18日(日)		
専門科目：人間と文化	「マンガ学」入門	7月5日(土)	鈴木寛之 他3名	72
		7月6日(日)		
専門科目：自然と環境	極限環境と水棲生物	4月26日(土)	嶋永元裕	66
		4月27日(日)		
専門科目：自然と環境	分子生物学実験：DNAの解析	5月24日(土)	谷時雄	70
		5月25日(日)		
専門科目：自然と環境	数学と文化	5月31日(土)	宮崎誓	71
		6月14日(土)		

【大分学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目：外国語	基礎英語学習ワークショップ	6月28日(土)	Shirley Gerald	86
		6月29日(日)		
導入科目：生活と福祉	健康と生活を支える看護	6月14日(土)	安藤敬子	84
		6月15日(日)		
導入科目：社会と産業	大分県における国際観光	4月26日(土)	鈴木晶	79
		4月27日(日)		
導入科目：人間と文化	ことばと社会を知るための方言学	4月19日(土)	松田美香	77
		4月20日(日)		
導入科目：人間と文化	絵本で耕す声の世界	5月17日(土)	花坂歩	81
		5月18日(日)		
導入科目：情報	生成AIの活用	5月24日(土)	鈴木雄清	83
		5月25日(日)		
導入科目：自然と環境	大分の災害と防災	4月19日(土)	鶴成悦久	78
		4月20日(日)		
導入科目：自然と環境	SDGsにおける生物多様性戦略	6月21日(土)	永野昌博	85
		6月22日(日)		
専門科目：生活と福祉	脳の働き方と故障	5月24日(土)	櫻井芳雄	84
		5月25日(日)		
専門科目：生活と福祉	身近な栄養学	6月14日(土)	牧昌生	85
		6月15日(日)		
専門科目：生活と福祉	東洋医学・鍼灸と食養生	6月21日(土)	杉若晃紀 他2名	86
		6月22日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験3	5月10日(土)	麻生良太	80
		5月11日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験1	5月17日(土)	矢島潤平	82
		5月18日(日)		
専門科目：心理と教育	認知行動療法入門	6月28日(土)	川崎隆	87
		6月29日(日)		
専門科目：自然と環境	微分積分と差分和分	4月26日(土)	石崎克也	79
		4月27日(日)		

【宮崎学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目	論理的な読み書きの技法	4月19日(土)	柏葉武秀	89
		4月20日(日)		
基盤科目：外国語	エンデの『モモ』を英語で読む	6月28日(土)	新名桂子	94
		6月29日(日)		
基盤科目：保健体育	健康志向の運動実践2	6月7日(土)	吉島永山 砂芳 織彰	91
		6月8日(日)		
導入科目：生活と福祉	認知症の理解	7月12日(土)	稲田弘子	95
		7月13日(日)		
導入科目：人間と文化	西洋近世美術史入門	5月17日(土)	船岡美穂子	90
		5月18日(日)		
専門科目：心理と教育	成人学習理論を学ぶ	5月31日(土)	岩崎久美子	91
		6月1日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験2	6月7日(土)	小澤拓大	92
		6月8日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験1	6月28日(土)	内藤健一	94
		6月29日(日)		
専門科目：人間と文化	日本語の文のしくみ	6月21日(土)	田中利砂子	93
		6月22日(日)		
専門科目：情報	デジタルメディアと社会	5月10日(土)	青木久美子	89
		5月11日(日)		
専門科目：自然と環境	海洋生物学実習2	5月24日(土)	内田勝久	90
		5月25日(日)		
専門科目：自然と環境	身の回りのあっと驚く化学体験4	6月14日(土)	菅本和寛	93
		6月15日(日)		

【鹿児島学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目	新・初歩からのパソコン	4月19日(土)	岡村浩昭	97
		4月20日(日)		
基盤科目：外国語	英会話を楽しむ	6月7日(土)	Watson Matthew	103
		6月8日(日)		
基盤科目：外国語	易しい日常基礎英会話（初級）	7月5日(土)	坂本育生	105
		7月6日(日)		
導入科目：生活と福祉	動物医学と人の関わり	4月26日(土)	三浦直樹	98
		4月27日(日)		
導入科目：社会と産業	世界の作物栽培と温暖化・沙漠化	5月17日(土)	志水勝好	101
		5月18日(日)		
導入科目：人間と文化	★薩摩焼の考古学	5月11日(日)	渡辺芳郎	107
		5月18日(日)		
導入科目：人間と文化	古代日本の官僚の実態	5月24日(土)	梶尾達哉	101
		5月25日(日)		
導入科目：人間と文化	古代日本の官僚の実態	5月24日(土)	梶尾達哉	106
		5月25日(日)		
導入科目：人間と文化	絵の見方・描き方	6月28日(土)	桶田洋明	104
		6月29日(日)		
導入科目：自然と環境	奄美から見た島嶼の人と自然	5月31日(土)	山本雅史 他2名	106
		6月1日(日)		
導入科目：自然と環境	鹿児島湾洋上実習	5月31日(土)	幅野明正 他4名	102
		6月1日(日)		
専門科目：生活と福祉	老年期の健康科学	4月19日(土)	牧迫飛雄馬	98
		4月20日(日)		
専門科目：生活と福祉	社会保障のしくみと法	4月26日(土)	伊藤周平	99
		4月27日(日)		
専門科目：生活と福祉	身体を診る～生活を支えるため	7月2日(水)	山内豊明	105
		7月3日(木)		
専門科目：心理と教育	心理学実験1	4月12日(土)	大藺博記	97
		4月13日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学研究法の基礎	5月24日(土)	神藺紀幸	102
		5月25日(日)		
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	6月14日(土)	平田祐太郎	104
		6月15日(日)		
専門科目：人間と文化	『源氏物語』の正編を知る	6月7日(土)	武藤那賀子	103
		6月8日(日)		
専門科目：自然と環境	実習で学ぶ宇宙・地球・環境	5月10日(土)	大森聡一	100
		5月11日(日)		

【沖縄学習センター開設科目】

科目区分	科目名	開講日	担当講師	掲載ページ
基盤科目	日本語の文章表現	4月19日(土)	高橋美奈子	110
		4月20日(日)		
基盤科目	暮らしに役立つ楽しい数学	5月31日(土)	日熊隆則	117
		6月1日(日)		
導入科目：心理と教育	荒れる子どものナゾを解く	5月31日(土)	丹野清彦	117
		6月1日(日)		
導入科目：心理と教育	子どもから大人への精神保健学	6月7日(土)	知名孝	119
		6月8日(日)		
導入科目：社会と産業	行動経済学	5月10日(土)	堀勝彦	112
		5月11日(日)		
導入科目：社会と産業	初歩からの知的財産	5月10日(土)	大久保秀人	112
		5月11日(日)		
導入科目：人間と文化	食と農の地理学	6月28日(土)	小川護	120
		6月29日(日)		
専門科目：生活と福祉	老年学への招待	5月17日(土)	下地敏洋	114
		5月18日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験1	5月10日(土)	井村弘子	113
		5月11日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験3	5月17日(土)	山田恭子	115
		5月18日(日)		
専門科目：心理と教育	心理学実験2	5月31日(土)	古川卓	118
		6月1日(日)		
専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	6月14日(土)	田中寛二	120
		6月15日(日)		
専門科目：人間と文化	琉球三線音楽の歴史と鑑賞	4月12日(土)	金城厚	109
		4月13日(日)		
専門科目：人間と文化	沖縄の民俗—信仰とくらし—	4月19日(土)	稲福政斉	111
		4月20日(日)		
専門科目：人間と文化	東アジアの先史文化と琉球列島	4月19日(土)	後藤雅彦	111
		4月20日(日)		
専門科目：人間と文化	古文書の語る琉球史	5月24日(土)	豊見山和行	116
		5月25日(日)		
専門科目：情報	「からだ」の情報を取り出す技術	4月12日(土)	國田樹	109
		4月13日(日)		
専門科目：情報	★ロジカル・シンキング入門	5月16日(金)	宮田龍太	122
		5月23日(金)		
		5月30日(金)		
		6月6日(金)		
専門科目：自然と環境	植物の多様性と進化	5月24日(土)	渡邊謙太	116
		5月25日(日)		
専門科目：自然と環境	琉球列島の生物多様性と保全	6月7日(土)	小林峻	119
		6月8日(日)		
専門科目：自然と環境	★事例で学ぶ生命科学：基礎と応用	6月13日(金)	池松真也	123
		6月20日(金)		
		6月27日(金)		
		7月4日(金)		
専門科目：自然と環境	沖縄の病害動物	6月28日(土)	當眞弘	121
		6月29日(日)		

科目区分別面接授業開設科目一覧 (★はライブweb授業)

【基盤科目】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
新・初歩からのパソコン	福岡	32
新・初歩からのパソコン	長崎	57
ウェブページ作成の基礎	熊本	73
論理的な読み書きの技法	宮崎	89
新・初歩からのパソコン	鹿児島	97
日本語の文章表現	沖縄	110
暮らしに役立つ楽しい数学	沖縄	117

【基盤科目：外国語】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
原書と映画で学ぶ英語その5	福岡	23
基礎英語リスニング	佐賀	43
国際観光英語	長崎	58
現在のドイツ語圏を見る	熊本	65
基礎英語学習ワークショップ	大分	86
エンデの『モモ』を英語で読む	宮崎	94
英会話を楽しむ	鹿児島	103
易しい日常基礎英会話（初級）	鹿児島	105

【基盤科目：保健体育】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
健康志向の運動実践2	宮崎	91

【導入科目：生活と福祉】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
健康と生活を支える看護	大分	84
認知症の理解	宮崎	95
動物医学と人の関わり	鹿児島	98

【導入科目：心理と教育】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
教育心理学入門	長崎	59
荒れる子どものナゾを解く	沖縄	117
子どもから大人への精神保健学	沖縄	119

【導入科目：社会と産業】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
金融リテラシーを身につける	佐賀	44
大分県における国際観光	大分	79
世界の作物栽培と温暖化・沙漠化	鹿児島	101
行動経済学	沖縄	112
初歩からの知的財産	沖縄	112

【導入科目：人間と文化】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
その街で名曲は生まれた	長崎	56
ことばと社会を知るための方言学	大分	77
絵本で耕す声の世界	大分	81
西洋近世美術史入門	宮崎	90
古代日本の官僚の実態	鹿児島	101
絵の見方・描き方	鹿児島	104
古代日本の官僚の実態	鹿児島	106
★薩摩焼の考古学	鹿児島	107
食と農の地理学	沖縄	120

【導入科目：情報】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
情報科学入門	佐賀	46
生成AIの活用	大分	83

【導入科目：自然と環境】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
実験で学ぶ色の科学と文化史	福岡	24
大分の災害と防災	大分	78
SDGsにおける生物多様性戦略	大分	85
鹿児島湾洋上実習	鹿児島	102
奄美から見た島嶼の人と自然	鹿児島	106

【専門科目：生活と福祉】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
人間工学	福岡	29
食品機能学	福岡	30
加工食品の開発・生産の実際	北九州	37
物忘れ予防、認知症予防	佐賀	41
佐賀の食べ物学	佐賀	48
自閉スペクトラム症の理解と支援	佐賀	50
全身に影響する口腔と歯科治療	長崎	59
驚異のバクテリアパワー	長崎	61
映画で学ぶ依存症	長崎	61
がん療養における意思決定支援	熊本	69
食育の現状について考える	熊本	72
こころとからだの薬	熊本	74
脳の働き方と故障	大分	84
身近な栄養学	大分	85
東洋医学・鍼灸と食養生	大分	86
老年期の健康科学	鹿児島	98
社会保障のしくみと法	鹿児島	99
身体を診る～生活を支えるため	鹿児島	105
老年学への招待	沖縄	114

【専門科目：心理と教育】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
心理検査法基礎実習	福岡	24
心理学実験 2	福岡	25
★心理学実験（基礎）	福岡	33
心理学実験 1	福岡	27
臨床心理学実習	福岡	29
心理学実験 3	福岡	31
社会的養護と学校教育	福岡	32
リーダーシップの心理学	北九州	38
心理検査法基礎実習	北九州	39
心理学実験 1	佐賀	45
心理学実験 2	佐賀	47
心理学実験 3	佐賀	49
心理学実験 3	長崎	54
臨床心理学実習	長崎	55
心理検査法基礎実習	長崎	60
解決志向ブリーフセラピー入門	熊本	66
心理学実験 1	熊本	67
心理学実験 3	熊本	71
心理学実験 3	大分	80
心理学実験 1	大分	82
認知行動療法入門	大分	87
成人学習理論を学ぶ	宮崎	91
心理学実験 2	宮崎	92
心理学実験 1	宮崎	94
心理学実験 1	鹿児島	97
心理学研究法の基礎	鹿児島	102
心理検査法基礎実習	鹿児島	104
心理学実験 1	沖縄	113
心理学実験 3	沖縄	115
心理学実験 2	沖縄	118
心理検査法基礎実習	沖縄	120

【専門科目：社会と産業】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
刑事司法と福祉	福 岡	31
人的資源管理	佐 賀	42
居留地における異文化交流	長 崎	53
市民生活と保険法	長 崎	58
憲法判例研究	長 崎	62
水の社会学	熊 本	68
契約からみる民法	熊 本	68

【専門科目：人間と文化】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
大学博物館への招待9	福 岡	26
西洋芸術の歴史と理論	福 岡	28
古代中国の社会と漢字	北九州	37
佐賀の歴史と文化1	佐 賀	42
ぶらっと有田・陶磁の歴史と文化	佐 賀	43
くずし字で読む長崎の名所	長 崎	53
明治維新論	熊 本	65
社会課題解決学入門	熊 本	69
「マンガ学」入門	熊 本	72
日本語の文のしくみ	宮 崎	93
『源氏物語』の正編を知る	鹿児島	103
琉球三線音楽の歴史と鑑賞	沖 縄	109
沖縄の民俗—信仰とくらし—	沖 縄	111
東アジアの先史文化と琉球列島	沖 縄	111
古文書の語る琉球史	沖 縄	116

【専門科目：情報】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
情報化社会における図書館	福 岡	28
コンピュータの仕組み	福 岡	30
音と音楽への情報学的アプローチ	北九州	38
画像生成AIの光と影	長 崎	56
デジタルメディアと社会	宮 崎	89
「からだ」の情報を取り出す技術	沖 縄	109
★ロジカル・シンキング入門	沖 縄	122

【専門科目：自然と環境】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
★金属材料と加工	福 岡	34
生物無機化学の基礎	北九州	39
身近な自然から考える生物多様性	佐 賀	41
化学反応の速度とは何か？	長 崎	55
五島灘洋上実習	長 崎	63
極限環境と水棲生物	熊 本	66
分子生物学実験：DNAの解析	熊 本	70
数学と文化	熊 本	71
微分積分と差分和分	大 分	79
海洋生物学実習2	宮 崎	90
身の回りのあっと驚く化学体験4	宮 崎	93
実習で学ぶ宇宙・地球・環境	鹿児島	100
植物の多様性と進化	沖 縄	116
琉球列島の生物多様性と保全	沖 縄	119
★事例で学ぶ生命科学：基礎と応用	沖 縄	123
沖縄の病害動物	沖 縄	121

【総合科目】

科 目 名	学習センター	掲載ページ
映像デザイン—映画からVRまで	佐 賀	50

Ⅲ. 案内図・授業概要

福岡学習センター

(コード：40A)

福岡学習センター案内図

☎092-585-3033



【所在地】〒816-0811 春日市春日公園6-1(九州大学筑紫キャンパス内総合研究棟2階)
※E棟建物改修のため、総合研究棟2階に仮移転中、2025年5月から再度E棟4・5階へ戻る予定

【交通アクセス】

- (1) JR大野城駅西口から徒歩7分 (JR博多駅から快速9分・普通20分)
- (2) 西鉄白木原駅から徒歩20分

※土日は九州大学筑紫キャンパス内の駐車場を空きがあれば利用できます。(入口は「春日公園3丁目交差点」1ヵ所です)
※大野城門からは徒歩のみ通行可。

【その他連絡事項】

(教科書について)

・各自、書店・インターネット等で事前に購入してください。福岡学習センターでは販売していません。

(出欠について)

・教室内に準備している「出欠確認表」に各自署名してください。「出欠確認表」は時限毎に準備していますので1日4枚(2日間で8枚)となります。署名忘れは欠席扱いとなりますので忘れず署名してください。

(昼食について)

・平日・土曜日については、九州大学筑紫キャンパス内の学食をご利用いただけます。
(利用時間: 火～金10:30～15:00・17:00～20:00、土 10:30～14:00 **※日曜日は休み** ※変更が生じる場合があります。)
・福岡学習センターの近くに飲食店等はありませんので、各自でご用意ください。

(宿泊施設について)

・JR大野城駅周辺には、宿泊施設はありません。JR博多駅周辺の宿泊施設をご利用ください。福岡市内のホテルは、コンサート等のイベント開催により、予約を取ることが難しくなる場合がありますので、早めの予約をお勧めします。(南福岡、二日市、鳥栖、久留米エリア等の宿泊施設もご確認ください)

科目コード	2667380	<p>1964年に出版された現代英文学の名手Roald Dahlのロングセラー「Charlie and the Chocolate Factory」(邦題「チョコレート工場の秘密」)の最初の14章の概要をつかみ、第15章から第18章までの英文を丁寧に読んでいきます。映画化された作品をDVDで適宜鑑賞しながらリスニング力もつけていきます。原作と映画鑑賞に必要な語彙や知識や文化的背景にも触れながら、DVDを使った効果的な英語学習にも言及していきます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 Introduction: Summary of Chapters 1-14 第2回 Chapter 15. The Chocolate Room 第3回 Chapter 16. The Oompa-Loompas 第4回 Chapter 17. Augustus Gloop Goes up the Pipe (1) 第5回 Chapter 17. Augustus Gloop Goes up the Pipe (2) 第6回 Chapter 18. Down the Chocolate River (1) 第7回 Chapter 18. Down the Chocolate River (2) 第8回 Review (まとめ)</p> <p>【学生へのメッセージ】 児童文学と侮るなかれ。Charlie and the Chocolate Factoryは高校までの英語の復習に最適、英文法のやり直しに最適、口語表現の宝庫、言葉遊びの宝庫、そして何よりおもしろい。</p> <p>【受講前の準備学習等】 教科書第14章まで目を通し、入手可能なら参考書の翻訳版を通読しておいてください。また可能なら映画作品のDVDも見ておいてください(授業中に一部見ます)。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 英和辞典(電子辞書でも可)</p> <p>【教科書】 ・チョコレート工場の秘密—Charlie and the Chocolate Factory(講談社英語文庫)(Roald Dahl/講談社インターナショナル/¥880/ISBN=9784770028402) 2005年初版なので店頭にはない場合は注文かネット通販での入手となります。時間がかかるかもしれないので早めの注文や入手をしておいてください。原書であるPuffin Books(Penguin Booksの児童書出版部門)版のペーパーバック“Charlie and the Chocolate Factory”でもかまいません。ただし、原書には日本語の注はありません。</p> <p>【参考書】 ・チョコレート工場の秘密(ロアルド・ダール(柳瀬尚紀[訳])/評論社/¥1,320/ISBN=9784566014114) 柳瀬訳は2005年出版ですが、1972年に詩人の田村隆一が訳したものが同じ評論社から出版されていて(絶版なので図書館かネット通販等で入手を)、読み比べてみるのもおもしろいですよ。 ・チャーリーとチョコレート工場(DVD・1枚組)(ティム・バートン監督/ワーナー・ホーム・ビデオ/¥1,572) (JAN) 4988135812209 もとの映画作品は2005年制作 ・夢のチョコレート工場(DVD)(メル・スチュアート監督/ワーナー・ホーム・ビデオ/¥1,572) (JAN) 4548967030105 もとの映画作品は1971年制作 ・ウォンカとチョコレート工場のはじまり [Wonka](ブルーレイ/DVD)(ポール・キング監督/ワーナーブラザーズ/¥5,280) (JAN) 4548967476408 もとの映画作品は2023年制作 チョコレート工場の工場主ウィリー・ウォンカの若き日の冒険を描くミュージカルファンタジー映画、ロアルド・ダール原作ではなく(彼の遺族の許可を得たそうだが)映画制作にあたってのオリジナルストーリー</p> <p>【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目:外国語」に該当します。 過去に「原書と映画で学ぶ英語」を受講した方も、今回初めてという方も大歓迎です。2019年度~2023年度に開講した「原書と映画で学ぶ英語」と同じ教科書を使用しますが、その続編という位置づけです(内容が一部重複します)。2025年度の授業では最初の14章はDVDを見ながらあらすじをざっとたどり、第15章から詳しく読んでいきます。</p>
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	K	
科目名	原書と映画で学ぶ 英語その5	
科目区分	基盤科目:外国語	
ナンバリング	120	
定員	35名	
担当講師	シミズ トシヒロ 志水 俊広 九州大学大学院 言語文化研究院准教授	
日程実施時間	5月10日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 5月11日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50	
実施会場	福岡学習センター 講義室 I	

科目コード	2658666	<p>医療、教育、福祉等の現場において用いられる心理検査について考えます。人間のパーソナリティ（性格および知能）や発達等の心理的諸側面を、標準化された手続きと基準により量的に把握する心理検査の基本（特長や限界）について、実際に性格検査等を体験したり発達検査や知能検査を基にした課題に取り組んだりしながら理解を深めます。</p> <p>原則として8回の授業すべてに出席し、各実習・演習および全体のまとめのレポートを作成し提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション（意義、種類）／ 実習1：心理測定尺度集より「自意識尺度」 第2回 演習：発達検査（遠城寺式乳幼児分析的発達検査法） 第3回 演習：発達検査（遠城寺式乳幼児分析的発達検査法） 第4回 実習2：性格検査（質問紙法、TEG3） 第5回 実習2：性格検査（質問紙法、TEG3） 第6回 実習3：知能検査（グッドイナフ人物画知能検査） 第7回 実習3：知能検査（グッドイナフ人物画知能検査） 第8回 まとめ（テストバッテリー、検査の倫理）</p> <p>【学生へのメッセージ】 課題の中には、心理検査を実際に体験し自分自身の結果を分析するもの、グループディスカッションを行うもの等もありますので、あらかじめご了承の上、受講してください（著しく負担になる場合は受講をお控えください）。</p> <p>【受講前の準備学習等】 実習・演習として取り上げる個々の検査についての予習はお控えください。授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。 事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 鉛筆（HBまたはB）、赤鉛筆（または赤ペン）、はさみ、のり</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	K	
科目名	心理検査法基礎実習	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	24名	
担当講師	ハナダ トシロウ 花田 利郎 西南学院大学 人間科学部教授	
日程実施時間	5月10日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 5月11日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05	
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅱ	

科目コード	2658976	<p>古代中国の『詩経』にも「悠悠蒼天 此何人哉」とあるように、人類は古くから身の回りの色への思索を深めてきました。その探求精神は光の物理学、色覚の生理学に結実します。本講義ではその歴史を追体験しながら、我々が色とりどりの世界を認知する原理について学びます。また、簡易分光器の作成、スペクトルの測定を行うことで色の背景にある物質の世界への入門も目指します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 空の蒼色に関する思索の歴史 第2回 実験で学ぶ光の性質 第3回 色覚の生理学 第4回 ついに解けた蒼天の謎 第5回 モノの色とスペクトル 第6回 青いバラはなぜ不可能の象徴なのか 第7回 延喜式にみる日本の色 第8回 蒼い石：ラピスラズリと青色LED</p> <p>【学生へのメッセージ】 空はなぜ青いのか？この素朴な疑問を軸に色の科学・生理学を学び、色と人間の関わりを歴史を紐解きます。科学パートは実験を中心としますが、いわゆる“文系”の方の受講も歓迎します。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、ご自身の知識が特に弱いと思われる事柄についてインターネット等で調べてその概要を把握しておくとうい。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 カッターナイフ、カッターマット、セロテープ（2日目のみ）</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・青の物理学 空色の謎をめぐる思索（ピーター・ペジック著、青木薫訳／岩波書店／¥2,860／ISBN=9784000050111） あくまで参考書ということで必須ではありませんが、ご興味のある方は古書で入手または本部附属図書館等から取寄せしてください。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	K	
科目名	実験で学ぶ 色の科学と文化史	
科目区分	導入科目：自然と環境	
ナンバリング	220	
定員	25名	
担当講師	ヤスイケ トモカズ 安池 智一 放送大学教授	
日程実施時間	5月17日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 5月18日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅰ	

科目コード	2658615	授 業 概 要	<p>心理学における実証的研究法について学ぶため、基本的な心理学実験を3つ実施します。受講者の皆さんは、実験者および参加者として実験に参加した上で、得られたデータの整理と分析、レポート作成を行います。そのため、原則として8回の授業すべてに出席、ならびに3実験すべてのレポート提出が必要となります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 心理学研究法ならびにレポートの書き方の概説 第2回 実験1：パーソナルスペース 第3回 実験1：結果の整理とまとめ 第4回 実験2：印象形成（中心特性の働き） 第5回 実験2：結果の整理とまとめ 第6回 実験3：要求水準 第7回 実験3：結果の整理とまとめ 第8回 全体のまとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 私たちの心の動きを心理学ではどのように理解し、測定しようとしているのでしょうか。実験を通して、心理学の世界に触れてみましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。 放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。 事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 電卓</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。</p>
学習センター(コード)	40A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験2		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	サイトウ フユキ 齋藤 富由起 福岡女学院大学 人間関係学部教授		
日程実施時間	5月17日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 5月18日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05		
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅱ		

科目コード	2667436	<p>大学博物館は、膨大な量の学術標本・資料の収集・保存・展示に加え、それらに基づく先端的な教育・研究を展開し、その成果を国内外の研究者や一般市民に公開する「知の殿堂」です。本科目では、各分野で活躍中の九州大学総合研究博物館の教員・研究員が、博物館の役割や歴史、様々な資料の研究法と最新成果を論じ、博物館の見方、楽しみ方を伝授し、大学博物館の最前線を知っていただくことを目的とします。そのため、資料観察や収蔵庫のバックヤード見学などにも時間を取ります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 古生物の形を探る－理論形態学入門（前田） 第2回 総合研究博物館の古人骨資料（米元） 第3回 昆虫を用いた普及啓発（丸山） 第4回 九州の鉱物と鉱物標本（上原） 第5回 標本からデジタルまで～植物をめぐる物語（三島） 第6回 歴史的音源を知る・聴く・学ぶ（大久保） 第7回 九大博収蔵考古資料を“発掘”する（福永） 第8回 標本資料のデジタルアーカイブ（伊藤）</p> <p>【学生へのメッセージ】 普段は入れない九州大学総合研究博物館のバックヤードに潜入し、様々な学術標本の実物を見たり触ったりしながら、整理や調査の方法、最新の研究成果を学び、体験してください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 バーチャル万能のご時世ですが、興味ある対象への理解を深めるには、本物をアクチュアルに観察することが何より大切です。数多くの博物館に足を運んでおいてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、資料に触ったり、収蔵庫に入ったりしますので、動きやすい服装が望ましいです。</p> <p>【教科書】 教科書は使用しません。</p> <p>【その他（特記事項）】 2024年度第2学期開講の「大学博物館への招待8」の内容と一部重複します。本授業は、「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄の学習センターにて加入してください（開設科目一覧P.5参照）。 *会場変更の可能性があります。受講者には別途詳細をお知らせします。</p>
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	K	
科目名	大学博物館への招待9	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	イトウ ヤスヒロ 伊藤 泰弘 九州大学総合研究博物館教授 マエダ ハルヨシ 前田 晴良 九州大学名誉教授 ヨネモト シオリ 米元 史織 九州大学総合研究博物館准教授 マルヤマ ムネトシ 丸山 宗利 九州大学総合研究博物館准教授 ウエハラ セイイチロウ 上原 誠一郎 九州大学総合研究博物館専門研究員 ミシマ ミサコ 三島 美佐子 九州大学総合研究博物館教授 オオクボ マリコ 大久保 真利子 九州大学総合研究博物館専門研究員 フクナガ マサヒロ 福永 将大 九州大学総合研究博物館助教	
日程実施時間	5月17日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 5月18日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	九州大学箱崎サテライト 九州大学総合研究博物館 * (福岡市東区箱崎6-10-1)	

科目コード	2658569	<p>この授業は自分用パソコン持ち込み方式 (BYOD: Bring Your Own Device) で実施します。</p> <p>【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他 (特記事項)】</p> <p>を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。</p> <p>本授業では、基礎的な心理学実験の体験と、科学論文形式のレポートの作成を通して、心理学研究に必要な基礎的知識と技術の修得を目指します。</p> <p>取り上げるテーマは、「ミュラー・リヤー錯視」、「アイコニックメモリ」、「概念学習」です。</p> <p>単位の修得には原則としてすべての回に出席し、その3つのすべてのテーマに関してそれぞれレポートを作成・提出することが求められます。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 心理学における研究手法 第2回 ミュラー・リヤー錯視：実験・解説 第3回 ミュラー・リヤー錯視：データ整理 第4回 ミュラー・リヤー錯視：レポート作成法の解説とまとめ方 第5回 アイコニックメモリ：実験・解説 第6回 アイコニックメモリ：データ整理・レポートのまとめ方 第7回 概念学習：実験・解説 第8回 概念学習：データ整理・レポートのまとめ方</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>心理学では科学的な手法を用いて研究を行うことで、人のこころや行動の仕組みについて検討が行われています。この授業を通じて、心理学の方法論を学んでみましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。(事前に所属センター事務室へ申請してください) OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。</p> <p>シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。</p> <p>なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。</p> <p>放送大学または他大学において心理学の講義 (概論、研究法、統計学など) を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。</p> <p>事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論 (24)」、「心理学研究法 (20)」、「心理学統計法 (21)」を視聴してください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】</p> <ol style="list-style-type: none"> 持参する端末 ノートパソコンを持参してください (無線LANに接続可能なもの。【受講前の準備学習等】要確認)。 OSの指定 種類は問いません (Windows、macOS、ChromeOS等)。 ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge (エッジ)、Google Chrome (クローム)、Mozilla Firefox (ファイアフォックス)、Safari (サファリ) のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 その他 ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・講義室内にプリンターはありません。 <p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】</p> <p>・心理学レポート・論文の書き方 演習課題から卒論まで (板口典弘、山本健太郎/講談社/¥2,090/ISBN=9784061548091)</p> <p>【その他 (特記事項)】</p> <p>充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためのACアダプタを必ず持参してください。</p> <p>端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。</p> <p>なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。</p> <p>心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。</p>
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験1	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	24名	
担当講師	ヤマモト ケンタロウ 山本 健太郎 九州大学 大学院人間環境学研究院准教授	
日程実施時間	5月24日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 5月25日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05	
実施会場	福岡学習センター PC実習室	

科目コード	2667452	授 業 概 要	<p>いまや図書館は単に本を借りたり、自習したりするだけの場所ではなくなっていきます。本授業では、最近の公共図書館や大学図書館などの具体的な事例を紹介しながら、情報管理組織の一つである図書館の機能やサービスについて解説します。また、実際に九州大学附属図書館の筑紫図書館を見学します。講義と見学を通じて、現代の情報化社会における図書館の存在意義や可能性について共に考えていきます。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 図書館とはなにか 第2回 図書館の基本的な機能とサービス 第3回 多様化する図書館の情報資源 第4回 大学図書館の実際 第5回 図書館による情報サービス（1） 第6回 図書館による情報サービス（2） 第7回 特徴のある図書館 第8回 まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>大学図書館員としての実務経験も交えてお話をします。図書館について学び、より積極的に図書館を活用できるようになりましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日目第4時限に九州大学附属図書館筑紫図書館の見学を予定しています。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.5参照）
学習センター(コード)	40A		
クラスコード	K		
科目名	情報化社会における 図書館		
科目区分	専門科目：情報		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	ワタナベ ユキコ 渡邊 由紀子 九州大学附属図書館 准教授		
日程実施時間	5月24日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 5月25日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	福岡学習センター講義室I 及び 九州大学附属図書館筑紫 図書館（1日目4時限）		

科目コード	2667444	授 業 概 要	<p>本講義は、放送大学の本部専任教授であった私が一人で全15回を担当していた放送大学テレビ講義の「西洋芸術の歴史と理論（16）」の内からいくつかのトピックを選んで、それらを詳しくかつ分かりやすく講義するものです。講義にあたっては、放送では著作権の関係でお見せできなかった映像等をふんだんにお見せすることにはしたいと思います。講義の基本的対象領域は、古典的芸術作品ですが、現代芸術にも話は及びます。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 芸術の見方・味わい方 第2回 自己表現 第3回 ミケランジェロ 第4回 レオナルド 第5回 世界表現 第6回 古典芸術 第7回 現代芸術 第8回 ウォーホル</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>この講義は、私の過去の放送大学テレビ講義「西洋芸術の歴史と理論（16）」に完全に基づいていますが、この講義を御覧になっていらっしゃる方でも、ご自由にこの面接授業をお取りになってください。講義内容は、以前の面接授業「芸術史と芸術理論」並びに面接授業「芸術の理論と歴史」と重複しています。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>シラバスの内容から判断して、自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業中の学習状況のほかに、最終時限（第2日目第4時限内の試験時間）に、面接授業の教室内で、その場で、お書きのうえ、その時間内に、その面接授業の教室にいる私に、提出して戴く簡単な文書（この文書は、「レポート」ではなく「試験の答案」です）によって行います。従いまして、第2日目第4時限内の試験時間に欠席されますと、たとえ、それまで、全時間出席されていても、単位を取得することは出来ませんので、ご注意ください。</p> <p>【教科書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西洋芸術の歴史と理論（青山昌文／放送大学教育振興会／¥3,410／ISBN=9784595316128） 教科書を授業で使用しますので、書店等で各自購入してください。 <p>【参考書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術は世界の力である（青山昌文／左右社／¥2,090／ISBN=9784865281170） 教科書とはしませんが、講義のなかで、この書物の中の文章も読み上げて講義します。 <p>【その他（特記事項）】</p> <p>この面接授業講義は、私の過去の放送大学テレビ講義「西洋芸術の歴史と理論（16）」に完全に基づいており、この印刷教材の頁を毎回全て指摘・引用しながら講義を進めますが、以前の「芸術史と芸術理論」や「芸術の理論と歴史」の印刷教材をお持ちの方は、その印刷教材を持参していただければそれで結構です。講義内容は、第15章を除き、基本的にほぼ同一ですから、新たに「西洋芸術の歴史と理論（16）」の印刷教材をお買いになる必要はありません。（ただし、現代芸術の最先端を扱っている第15章には、以前のものととの基本的差異はあります。）</p>
学習センター(コード)	40A		
クラスコード	K		
科目名	西洋芸術の 歴史と理論		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	アオヤマ マサフミ 青山 昌文 放送大学名誉教授		
日程実施時間	5月27日(火) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 5月28日(水) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	福岡学習センター 講義室 I		

科目コード	2667398	<p>人間工学は人の取り巻く要素（製品・環境・管理など）から、人々の安全・安心・快適・健康の保持・向上に貢献する実践科学です。本授業では人間工学の歴史、基礎知識、社会における役割、具体例、実践方法について解説します。また、身近な生活用品や環境を例として、人間工学の観点から課題を抽出し、それを改善する案を受講生の皆さんと一緒に考えます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 人間工学とは 第2回 人間の特性の理解とデザイン 第3回 ワークショップ1（設計の最適値を調べよう） 第4回 ワークショップ2（不自由を体験しよう） 第5回 身の回りの人間工学（移動円滑化、福祉用具、ユニバーサルデザイン） 第6回 身の回りの人間工学（ヒューマンエラー） 第7回 ワークショップ3（人間工学の実践、身近な製品や生活環境を例に） 第8回 まとめ（人間工学の観点から提案しよう）</p> <p>【学生へのメッセージ】 本授業では講義に加えて、ワークショップ（演習）も行います。課題を解決するための人間工学アプローチを体験する内容になっています。また、人間工学の研究施設を紹介する時間も設けます。研究施設の紹介の都合上、授業内容や順序を一部変更する場合があります。</p> <p>【受講前の準備学習等】 人間工学は生活の中での「気づき」が大事です。生活の中で例えば、「使いにくい」、「心地よくない」、「危ない（ひやりとした）」と感じたことがありましたら、その原因を考えてみてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートもしくは発表の評点により行います。実習課題をグループ・個人どちらで行うか、報告はレポート・発表どちらにて行うかは、受講者人数などを踏まえて調整します。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 動きやすい服装 第2日目に作成するレポートもしくは発表資料は手書き作成、ノートパソコンまたはタブレット（スマートフォンは不可）での作成のどちらでも構いません。ノートパソコン等で作成される方はご自身でノートパソコン等をご持参ください（充電可、プリントアウト不可）。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。OSの種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。作成にはWord、Excel、PowerPointなどがあると便利です。無線LANへのアクセスは当日にお知らせします。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・初めて学ぶ人間工学（岡田 明、後藤義明、八木佳子、山崎和彦、吉武良治／理工図書／¥3,080／ISBN=9784844608417）</p> <p>【その他（特記事項）】 授業は2日間とも九州大学大橋キャンパス内で行います（現地集合・現地解散）。受講生には別途詳細をお知らせします。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りのセンターにて加入してください。（開設科目一覧P5参照）</p>
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	K	
科目名	人間工学	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	ムラキ サトシ 村木 里志 九州大学大学院 芸術工学研究院教授	
日程実施時間	6月7日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 6月8日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	九州大学大橋キャンパス (福岡市南区塩原4-9-1)	

科目コード	2659026	<p>臨床心理学の基礎を、体験を通して学びます。ある課題への問題解決や、(ソーシャルディスタンスを取りながら)グループ討議などを行い、自分自身と他者の理解を深めていきます。簡単なロールプレイ等、実際に動いて身体を通して学んでいく予定ですので、動きやすい服装で、体調管理を万全にして受講にのぞんでください。各コマ課題があり、スモールステップ形式で深めていきますので、全コマ出席できる方に限ります(遅刻早退は不可)。課題ごとにレポートを課します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 ウォーミングアップ 第2回 自己へのアプローチ1 第3回 問題解決の方法 第4回 シェアリングとまとめ 第5回 自己へのアプローチ2 第6回 自己表現と他者表現1 第7回 自己表現と他者表現2 第8回 まとめ・質疑応答</p> <p>【学生へのメッセージ】 課題を出しますが、答えが用意されているというのではなく、受講生各人の中に、その答えはあります。積極的に参加してください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。授業当日、「いま、ここで」を大切に授業展開します。心身の健康を整え、臨んでください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 12～24色程度の色鉛筆・クレヨン・パステルなど、自身が使いやすいもの。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	K	
科目名	臨床心理学実習	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	サトウ ヒトミ 佐藤 仁美 放送大学准教授	
日程実施時間	6月7日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 6月8日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	福岡学習センター 講義室 I	

科目コード	2667460	<p>パソコンで計算をしたり写真を表示したりする時に、内部のどんな部品でどんなことが行われているか、を紹介します。また、最近ニュースで耳にするスーパーコンピュータや人工知能についても、仕組みを説明します。この講義を聞いてもパソコンの使い方が上手になるわけではありません。でも、もしかしたら、普段コンピュータに感じている、「なぜだろう?」、「なんだろう?」という疑問やもやもやが少しすっきりするかもしれません。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 私たちの身の回りのコンピュータ 第2回 数字で情報を表す 第3回 電気で計算する 第4回 コンピュータの基本的な仕組み 第5回 プログラムの動き 第6回 コンピュータの歴史 第7回 スーパーコンピュータとパソコンの違い 第8回 人工知能とは</p> <p>【受講前の準備学習等】 コンピュータに関して日ごろ感じている疑問などをメモしておいてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 ・コンピュータ、どうやってつくったんですか? はじめて学ぶ コンピュータの歴史としくみ (川添 愛/東京書籍/¥1,870/ISBN=9784487811892)</p>
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	K	
科目名	コンピュータの仕組み	
科目区分	専門科目：情報	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	ナリ タケン 南里 豪志 九州大学 情報基盤研究開発センター准教授	
日程実施時間	6月7日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 6月8日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50	
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅱ	

科目コード	2667401	<p>食品には栄養機能、感覚・嗜好機能、生体調節機能の三つの機能があります。特に健康の維持や向上に関わる生体調節作用(機能性)を活用した健康の維持・増進が注目されています。本講義では食品の持つ様々な生体調節作用やその作用が発揮される仕組みについて解説します。また、特定保健用食品や機能性表示食品など食品の表示制度についてもあわせて講義します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 食品の機能性表示制度 第2回 食品の機能性評価の実際 第3回 食品の免疫調節作用 第4回 食品の骨代謝調節作用 第5回 食品の糖代謝調節作用 第6回 食品のがん予防作用 第7回 食品成分の食べ合わせ効果 第8回 機能性食品の開発</p> <p>【学生へのメッセージ】 健康維持や向上に関わる食品の生体調節作用について考えてみませんか?</p> <p>【受講前の準備学習等】 身近な機能性表示食品や特定保健用食品(3品目程度)に表示されている機能性とその関与成分にどのようなものがあるかを調べてください。調べた内容は授業当日に口頭でお聞きしますので提出物は不要です。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 教科書は使用しません。</p>
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	K	
科目名	食品機能学	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	タチバナ ヒロフミ 立花 宏文 九州大学大学院 農学研究院教授	
日程実施時間	6月14日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 6月15日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50	
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅰ	

科目コード	2658640	<p>心理学における実験法について学ぶため、代表的な実験を3つ実施します。受講生の皆さんは、実験者および参加者として実験に参加したうえで、得られたデータの解析とレポートの作成を行います。そのため、原則として8回の授業すべてに出席、ならびに3つの実験すべてについてのレポートの作成が必要となります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 実験法の基礎およびレポート執筆の概説 第2回 触二点閾の測定 第3回 データの解析とまとめ 第4回 ストループ効果 第5回 データの解析とまとめ 第6回 鏡映描写 第7回 データの解析とまとめ 第8回 全体のまとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 “こころ”は目で見たり手で触れたりすることができないものです。そのような“こころ”を心理学ではどのようにして捉えるのでしょうか？本講義をもとに、ともにその術を学んでいきましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 触二点閾では閾値、ストループ効果では自動化、鏡映描写では転移について、それぞれ事前に調べておいてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。 事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（24）」、「心理学研究法（20）」、「心理学統計法（21）」を視聴してください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業ではノートパソコンは使用しませんが、レポート作成用としてご自身でノートパソコン等（Word、Excelがインストールされたもの）を持参・使用していただいても構いません（手書き作成の場合は持参不要です）。インターネットへの接続は不要です。また、講義室内に電源設備、プリントアウトの環境がありませんのでご注意ください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 色識別を要する実験課題があります。</p>
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験3	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	ワケベ トシヒロ 分部 利 紘 西南学院大学 人間科学部准教授	
日程実施時間	6月14日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 6月21日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05	
実施会場	福岡学習センター 6月14日(土)はPC実習 6月21日(土)は講義室II	

科目コード	2667428	<p>近年、犯罪行為をした人の中で、高齢者や障害者、依存症を抱えている人などに対する刑事司法の在り方に関心が高まり、刑事司法と福祉の連携をめぐり、様々な試行や制度が整備されつつあります。その過程で、伝統的な刑事司法の見直しだけでなく、社会福祉士養成プログラムのカリキュラムの中に「刑事司法と福祉」の科目も導入されています。本授業では、刑事司法と福祉の連携が具体的にどのような形で行われているのか、それは刑事司法や福祉にどのような影響を与えているのかを検討します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 刑事司法と福祉（総論） 第2回 伝統的刑事司法と問題解決型司法 第3回 刑事手続きにおける猶予制度と福祉 第4回 少年司法と福祉 第5回 行刑（施設内処遇）と福祉 第6回 更生保護（社会内処遇）と福祉（その1） 第7回 更生保護（社会内処遇）と福祉（その2） 第8回 コミュニティと刑事司法</p> <p>【受講前の準備学習等】 最近の報道の中で「刑事司法と福祉」に関する情報を収集し、問題意識を持っておくことをお勧めします。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・最新社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座10 刑事司法と福祉（一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集／中央法規（2021）／¥2,750／ISBN=9784805882405） ・罪を犯した人々を支える—刑事司法と福祉のはざままで（藤原正範／岩波書店（岩波新書）／¥1,012／ISBN=9784004320142）</p>
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	K	
科目名	刑事司法と福祉	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	ドイ マサカズ 土井 政和 九州大学名誉教授	
日程実施時間	6月14日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 6月15日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50	
実施会場	福岡学習センター 講義室II	

科目コード	2658453	<p>これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境及びオンライン授業の受講方法を学びます。学習センターのWi-Fiへの接続方法、放送大学Webページ、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 パソコンの基本操作（キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル） 第2回 Wordによる文書作成とPDF保存 第3回 Webとメールの活用 第4回 セキュリティ 第5回 システムWAKABA・自己学習サイト 第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス 第7回 オンライン授業の実践 第8回 まとめと振り返り（第7回で体験したオンライン授業の感想をレポートにまとめオンラインで提出）</p> <p>【学生へのメッセージ】 基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートするので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講してください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 「学生生活の菜」に掲載されている放送大学のシステムWAKABA（教務情報システム）や各種システム、情報セキュリティガイドラインを読んで理解しましょう。自宅にパソコンがある場合は、そのパソコンを使ってシラバスの内容を予習してください。受講後は、受講時に配布する「新・初歩からのパソコンテキスト」を通読し、授業内容を復習してください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。とくに、授業前と後でのパソコンスキルの伸びを重視します。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 USBメモリ（※市販されている一番安価な物で結構です） 学生証 授業内でログイン操作を伴う実習があります。必ずお持ちください。</p> <p>【教科書】 ・新・初歩からのパソコンテキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース／放送大学／¥0） 授業当日に配付します。</p> <p>【参考書】 ・新・初歩からのパソコン電子版テキスト（PDF／¥0） ダウンロード方法は授業で説明いたします。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 （履修制限）「大学で学ぶためのパソコン基礎」の単位を修得済みの方は登録できません。</p>
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	K	
科目名	新・初歩からのパソコン	
科目区分	基盤科目	
ナンバリング	110	
定員	13名	
担当講師	カサハラ ヨシアキ 笠原 義晃 九州大学 情報基盤研究開発センター助教	
日程実施時間	6月21日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 6月28日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	福岡学習センター PC実習室	

科目コード	2667410	<p>2022年度、全国の児童相談所が対応した児童虐待件数はこれまででもっとも多い21万件を超えました。その内の約2%ほどの子どもが、児童養護施設や里親といった社会的養護のもとで生活しています。</p> <p>児童養護施設は現在、小規模化と家庭の養護が推進され、入所する子どもの生活環境は大きく改善しています。ただ、入所児童のおよそ7割には被虐待体験があり、地域での生活、とくに学校教育において困難を抱えていることが少なくありません。これまでは被虐待児の早期発見と、保護されたあとの心理的ケアや生活支援の方法が議論されてきましたが、学校教育についてはこれからの課題です。この授業では、児童虐待と社会的養護、そして子どもが保護された後の学校教育における課題を検討します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 社会的養護とは 第2回 社会的養護における課題Ⅰ 第3回 社会的養護における課題Ⅱ 第4回 社会的養護と学校教育Ⅰ 第5回 児童虐待とトラウマⅠ 第6回 トラウマへのケアⅡ 第7回 社会的養護と学校教育Ⅱ 虐待を受けた子どもとの関係づくり 第8回 まとめ 社会的養護における学校教育の可能性</p> <p>【学生へのメッセージ】 毎回、15分ほどで小レポートを作成していただきます。授業では適宜映像を見ていただきますが、なかには刺激的な内容の児童虐待経験者の映像があります。みなさんにとって苦しい体験にならないよう、事前に説明しますので、無理のないように受講してください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 児童虐待はどういった困難を子どもにもたらすのか、書籍やインターネット等を通じて当事者の語りに触れてみてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 学生へのメッセージを確認しておいてください。</p>
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	K	
科目名	社会的養護と学校教育	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	ムラマツ ケンジ 村松 健司 放送大学教授	
日程実施時間	6月21日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 6月22日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	福岡学習センター 講義室Ⅰ	

★福岡学習センター【ライブWeb授業】実施科目(40A)

ライブ Web 授業で実施する科目は以下の2科目です。

対面式ではなく、ご自宅などでパソコンなどを用いてリアルタイムで受講しますのでお間違えのないようご注意ください。

科目コード	4000609	<p>実験を中心とした心理学の基礎的な課題の実習を行います。受講生の皆さんはそれぞれに「実験参加者」もしくは「実験者」として参加し、さらにその結果をレポートにまとめます。実習課題は日常記憶、連想プライミング、空書、思考過程のプロトコル分析（以降、プロトコル分析）の4つです。皆さんは、8コマの同時双方向授業を含む15コマの実習すべてに参加し、上記4つの課題について、心理学の標準的な様式に則った実験レポートをそれぞれ提出する必要があります。</p> <p>なお、Zoom授業回・オンデマンド授業回のいずれにおいても、受講生同士でコミュニケーションをとったり、一つの作業を共同して行う機会が複数回あります。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 心理学の研究法 第2回 実験法の特徴 第3回 日常記憶①：実施と解説、結果の集計 第4回 日常記憶②：ディスカッション、レポートの書き方 第5回 日常記憶③：レポート作成・提出 第6回 日常記憶④：レポートの相互評価 第7回 統計的分析 第8回 日常記憶⑤：レポート再提出、連想プライミング①：実施と解説 第9回 連想プライミング②：結果の集計・ディスカッション 第10回 実験計画・立案：ディスカッションとプレゼンテーション 第11回 連想プライミング③：レポート作成・提出、空書①：実施と解説 第12回 空書②：結果の集計・ディスカッション 第13回 プロトコル分析①：実施と解説、結果の集計 第14回 連想プライミング④：レポートの相互評価、プロトコル分析②：ディスカッション 第15回 空書③・プロトコル分析③：レポートの作成・提出</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>本科目を履修して合格すれば、認定心理士資格の取得に必要なc領域の認定単位2単位分を修得することができます。また、公認心理師カリキュラムの「大学における必要な科目」の「心理学実験」対応科目として利用することができます。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（24）」、「心理学研究法（20）」、「心理学統計法（21）」を視聴してください。</p> <p>実習課題の内容について、あらかじめ学習しておく必要はありません。</p> <p>シラバスの内容から判断して予習・復習に努めてください。</p> <p>受講前に放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。</p> <p>【受講に必要な条件】</p> <p>以下の①～③の条件をすべて満たした方のみが受講可能です。</p> <p>授業は各ソフトウェアの基本操作をあらかじめ身につけておくことを前提に進めます。</p> <p>①必要な機器やソフトウェアが揃っていること・キーボード及びマイクが装備されたパソコン（オンラインで実施する実験に参加する際にキーボードが付いたパソコンが必要です。マイクはZoomの同時双方向授業で使用します。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Microsoft Office（Word/Excel）、あるいはこれらに相当するソフトウェア（レポートの作成やデータの集計等に必要ですので、使用するパソコンにインストールされていることをご確認ください） <p>②Microsoft Office、あるいはこれらに相当するソフトウェアの基本操作ができることMicrosoft Excelでは平均値や標準偏差等を計算するために、基本的な関数を用います。操作に自信がない方は、放送大学自己学習サイト（システムWAKABAからアクセスできます）であらかじめ自習し、ひととおり操作ができるようにしておいてください。</p> <p>③Zoomと専用システムの基本操作ができること この科目では、Zoomと専用システムを利用して授業を行います。</p> <p>「ライブWeb授業体験版」を用意していますので、事前にアクセスし、スムーズに利用できるようにしておいてください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>授業中の学習状況及び4つの実験課題への参加と、それに係る作業（データの集計等）やディスカッション、及び様式に則って作成するレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】</p> <p>インターネットに接続可能で、Microsoft Office（Word/Excel）がインストールされたパソコン、マイク・ヘッドホン、メモをするための筆記具と用紙（A4程度）。</p> <p>Microsoft Officeについては、他社の同等ソフトの使用も認めますが、授業内で使用方法の説明はしません。またExcelでしかできない活動があることにご留意ください（※Microsoft ExcelのVBAで動く統計分析ソフト（HAD）を使用することがあります）。</p> <p>【教科書】</p> <p>教科書は使用しません。</p> <p>【参考書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定心理士資格準拠 実験・実習で学ぶ心理学の基礎（日本心理学会 認定心理士資格認定委員会 編/金子書房/¥2,750/ISBN=9784760830312） <p>【その他（特記事項）】</p> <p>Webカメラの準備を推奨します。</p> <p>「ライブWeb授業」は、Web会議システム（Zoom）を利用した授業と、オンライン授業の利点を活かした新たな授業形態です。</p> <p>学習センターではなく、ご自宅等でPC等を用いて受講します。</p> <p>Zoom授業当日は、専用のシステムにログインし、各回の仮想の講義室（Zoomミーティング）へもそこから入室します。</p> <p>また、講義資料や、講師からのお知らせ、後日提出が必要なレポート等、講義時間外に取組みや確認が必要な活動が当該システム上で示される場合があります。</p> <p>受講の際には必ず当該システムを確認してください。</p> <p>詳細については、https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/ を参照ください。</p> <p>【単位数とコマ数について】</p> <p>本科目は2単位15コマの授業です。詳細については、放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。</p>
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	WK	
科目名	★心理学実験（基礎）	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	タケバヤシ ヒカリ 竹林 ひかり 立命館大学 立命館グローバル・イノベーション 研究機構専門研究員	
日程実施時間	第1回オンデマンド授業 第2回オンデマンド授業 第3回Zoom授業 5月17日(土) 第3時限 13:40～15:10	
	第4回Zoom授業 5月17日(土) 第4時限 15:20～16:50	
	第5回オンデマンド授業 第6回Zoom授業 5月24日(土) 第3時限 13:40～15:10	
	第7回Zoom授業 5月24日(土) 第4時限 15:20～16:50	
	第8回オンデマンド授業 第9回Zoom授業 5月31日(土) 第3時限 13:40～15:10	
	第10回Zoom授業 5月31日(土) 第4時限 15:20～16:50	
	第11回オンデマンド授業 第12回Zoom授業 6月7日(土) 第3時限 13:40～15:10	
	第13回Zoom授業 6月7日(土) 第4時限 15:20～16:50	
	第14回オンデマンド授業 第15回オンデマンド授業	
	実施会場	ライブWeb授業のため自宅等

科目コード	4000560	<p>鋼（はがね）やステンレスといった鉄鋼材料や、アルミやチタンといった軽合金材料は工業的に広く利用されています。このような金属材料は主に原子が規則的に集合した結晶構造により構成されます。材料の多結晶構造による微細組織について理解することで、金属材料の強化法について知ります。また、工業製品を作るためにどのような加工法が利用されているか、これらの知識を修得します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 金属材料の結晶構造 第2回 金属材料の変形 第3回 金属結晶構造と欠陥 第4回 金属材料の強化機構 第5回 材料加工1（ casting ） 第6回 材料加工2（ plastic processing ） 第7回 材料加工3（ mechanical processing, etc. ） 第8回 振り返り</p> <p>【学生へのメッセージ】 鍛冶屋さんがハンマーで叩くと金属は変形します。材料は「鍛えられ」強化されます。このとき材料の内部はどのようになっているでしょう？上記は一例ですが、身近な金属製品について、原子レベルの挙動を含めより深く知ることを目指します。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行ってください。また、授業で学習した内容や演習問題などは不明な部分を残さないように復習を行い、理解を深めてください。 受講前に放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 インターネット環境のあるパソコン、マイク・ヘッドフォン等、Web（Zoom）授業の受講に必要な設定等の準備。</p> <p>【教科書】 教科書は使用しません。</p> <p>【その他（特記事項）】 専用のシステム上で資料を配布します。 Webカメラの準備を推奨します。 「ライブWeb授業」は、Web会議システム（Zoom）を利用した授業と、オンライン授業の利点を活かした新たな授業形態です。 学習センターではなく、ご自宅等でPC等を用いて受講します。 授業当日は、専用のシステムにログインし、各回の仮想の講義室（Zoomミーティング）へもそこから入室します。 また、講義資料や、講師からのお知らせ、後日提出が必要なレポート等、講義時間外に取組みや確認が必要な活動が当該システム上で示される場合があります。 受講の際には必ず当該システムを確認してください。 詳細については、https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/ を参照ください。</p>
学習センター(コード)	40A	
クラスコード	WK	
科目名	★金属材料と加工	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	津守 不二夫 <small>ツモリ フジオ</small> 九州大学大学院 工学研究院教授	
日程実施時間	6月21日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 6月22日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05	
実施会場	ライブWeb授業のため自宅等	

北九州サテライトスペース

(コード：40S)

北九州サテライトスペース案内図 ☎093-645-3201



【所在地】 〒806-0021 北九州市八幡西区黒崎3-15-3
(コムシティ3階)

【交通アクセス】

- JR黒崎駅から徒歩5分
- 西鉄黒崎バスセンターから徒歩3分
- 筑豊電鉄黒崎駅前から徒歩3分

【その他連絡事項】

※会場には駐車スペースはありません。
 ※面接授業に必要な教科書は北九州サテライトスペースでは販売していませんので、各自書店等で事前に購入してください。

科目コード	2667495	授 業 概 要	<p>漢字の成立とその発展の過程は、文明体としての中国の歩みと軌を一にします。漢字はきわめて長い時間をかけて現在の私たちが用いる形体・用法へと変化・発展しましたが、その過程は中国のみならず周辺地域にまで影響を及ぼす諸制度が生み出された時代でもありました。</p> <p>本授業では、このような中国文化の基盤の形成と漢字の歴史とがどのような関わりを持つのかについて、豊富な文字資料を用いつつ多方面から考えてみたいと思います。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 はじめに～漢字にまつわる基本的概念 第2回 漢字の誕生と古代文明の形成～甲骨文 第3回 青銅器とその時代～金文 第4回 古典の成立～『詩経』と『書経』 第5回 漢字の多様化と文明の拡大～戦国文字 第6回 文字統一と古代帝国の誕生～篆文と隸書 第7回 漢字のその後～文化制度としての漢字 第8回 まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 特段の予備知識は必要ありません。授業中、気になった漢字をすぐに調べられるよう漢和辞典（電子媒体も含む）を用意されればより理解が進むでしょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 漢和辞典（任意）</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・アジアと漢字文化（大西克也・宮本徹／放送大学教育振興会／¥3,520／ISBN=9784595309069） ※古書で入手または本部附属図書館等から取寄せしてください。 ・全訳 漢辞海（戸川芳郎／三省堂／¥3,300／ISBN=9784385140483）</p>
学習センター(コード)	40S		
クラスコード	Q		
科目名	古代中国の社会と漢字		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	310		
定員	40名		
担当講師	ミヤモト トオル 宮本 徹 放送大学教授		
日程実施時間	4月19日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 4月20日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	黒崎コムシティ 3階 大会議室		

科目コード	2667479	授 業 概 要	<p>現代の生活に欠くことのできない加工食品は、どのように開発され、生産されて我々の食卓に上るのでしょうか？</p> <p>加工食品の歴史からスタートし、代表的な食品加工技術の解説、パッケージに記載されている食品表示を説明します。更に企業における開発・生産スキームを包括的に解説します。また講師が実際に携わった国内外での開発事例や大学での研究テーマ「豚骨ラーメンの美味しさ研究」についても随時紹介します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 「ガイダンス」自己紹介、加工食品ができるまで、授業全体像紹介、加工食品の歴史 第2回 食品加工技術① 食品の保藏：食品と微生物、水分活性、加熱殺菌 第3回 食品加工技術② 物理的操作：混合、分離、乾燥、濃縮、冷凍、乳化 第4回 食品加工技術③ 物性・成分変化：デンプンα化、グルテン形成、豆腐凝固、蒲鉾すわり、ジャム、油脂水素添加 第5回 食品加工技術④ 食品添加物と加工食品の安全性確保 / 食品の表示 第6回 開発スキーム① 企業経営と製品開発計画・市場調査、コンセプト策定 第7回 開発スキーム② レシピ開発、評価、工業化 / 重要技術 賞味期限設定&包材設計 第8回 総まとめ、討議</p> <p>【学生へのメッセージ】 身近な加工食品の事例をベースにお話します。受講することで、関係する食品化学の知識を深め、また食品表示を切り口に加工食品を正しく理解し、賢く活用できるようになっていただきたいです。</p> <p>【受講前の準備学習等】 日頃から加工食品に関する問題意識をまとめておいてください（箇条書きで構いません）。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 ① 日頃から加工食品に関する問題意識をまとめたもの ② 日常的に食べたり飲んだりしている加工食品（5品種）のパッケージをご持参ください。ご持参できない場合はノートなどに転記ください。項目は「名称」、「原材料名」、「内容量」、「賞味期限」、「保存方法」、「販売者・製造者」、「栄養成分表示」です。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	40S		
クラスコード	Q		
科目名	加工食品の開発・生産の実際		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	ヨネミツ ムネアキ 米満 宗明 九州産業大学 生命科学部教授		
日程実施時間	4月26日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 4月27日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	黒崎コムシティ 3階 大会議室		

科目コード	2667487	<p>チームや組織が高い成果を上げ、そして持続的に発展していくためには、メンバーが意欲的に取り組むだけでなく、チームや組織レベルでのチームワークが必要不可欠です。それを担うのがリーダーです。本講義では、リーダーシップの本質を理解しながら、効果的なリーダーシップのあり方について最新の学術的な知見を紹介すると共に、リーダーシップに関わるグループワークや映像資料を交えて多面的に理解することを目指します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 リーダーシップを科学する：リーダーシップ研究の意義と歴史 第2回 効果的なリーダーシップ：どのようなリーダーシップが成果を上げるのか 第3回 組織変革とリーダーシップ：組織に再び活力を与えるリーダーシップとは 第4回 共有型リーダーシップ：チームワークを醸成して機能させるチーム・リーダーシップ 第5回 サーバント・リーダーシップ：メンバーを下から支える奉仕型リーダーシップ 第6回 モチベーション・マネジメント：自律的なモチベーションを引き出すリーダーシップとは 第7回 リーダーシップのダークサイド：なぜ権力はリーダーを傲慢にするのか 第8回 リーダーシップ開発：リーダーはいかに経験から成長するか</p> <p>【学生へのメッセージ】 本講義では、現場の事例や映像資料、受講者との対話を取り入れながら授業を進めていきます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・モチベーションに火をつける 働き方の心理学（池田浩／日本法令／¥1,760／ISBN=9784539728116） ・産業と組織の心理学（池田浩（編）／サイエンス社／¥2,585／ISBN=9784781914107） ・社会心理学におけるリーダーシップ研究のパースペクティブII（坂田桐子（編）／ナカニシヤ出版／¥4,950／ISBN=9784779512155）</p>
学習センター(コード)	40S	
クラスコード	Q	
科目名	リーダーシップの心理学	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	イケダ ヒロシ 池田 浩 九州大学大学院 人間環境学研究院准教授	
日程実施時間	5月10日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50	
	5月11日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	黒崎コムシティ 3階 大会議室	

科目コード	2664046	<p>環境情報は、それが知覚できるか否かを問わず、脳を介して私たちの心身に大きな影響を及ぼしています。環境音や音楽に含まれる知覚限界をこえる「聴こえない超高周波」が人間に及ぼす影響についての研究、音を可視化する分析手法、音楽と社会との関連など、情報学の最新の成果を学びます。それらを通して、「音」という情報環境についての理解を深め、情報学がもつ超領域型問題解決指向アプローチを理解することをめざします。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 音環境と人間 第2回 文化によって異なる環境音と音楽 第3回 知覚限界をこえる超高周波の基幹脳活性化効果 第4回 音を可視化する情報学の手法 第5回 メディアと超知覚情報 第6回 身近な音を可視化する 第7回 共同体がつくりだす音楽 第8回 音と音楽における「本来と適応」</p> <p>【学生へのメッセージ】 音響学、脳科学、民族芸術学などさまざまな領域を架橋するのが情報学のひとつの特徴です。多様な領域にわたる内容を、専門知識が無くても理解出来るよう平易に講義します。各回の時間配分は変更することがあります。</p> <p>【受講前の準備学習等】 中学・高校レベルの「音」についての知識を前提として授業を進めます。システムWAKABAの「放送大学自己学習サイト」にあるeラーニング教材『リメディアル物理』の「波動とはなにか」「波はこうして進む」「音波の伝わり方」などで復習しておいてください。また、あなたの周囲の音環境について問題だと思う点を整理して授業に臨みましょう。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・ハイパーソニック・エフェクト（大橋力／岩波書店／¥7,590／ISBN=9784000244848） ・音楽・情報・脳[三訂版]（仁科エミ、河合徳枝／放送大学教育振興会／¥3,410／ISBN=9784595141942）</p>
学習センター(コード)	40S	
クラスコード	Q	
科目名	音と音楽への情報学的アプローチ	
科目区分	専門科目：情報	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	ニシナ エミ 仁科 エミ 放送大学教授	
日程実施時間	5月17日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50	
	5月18日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	黒崎コムシティ 3階 大会議室	

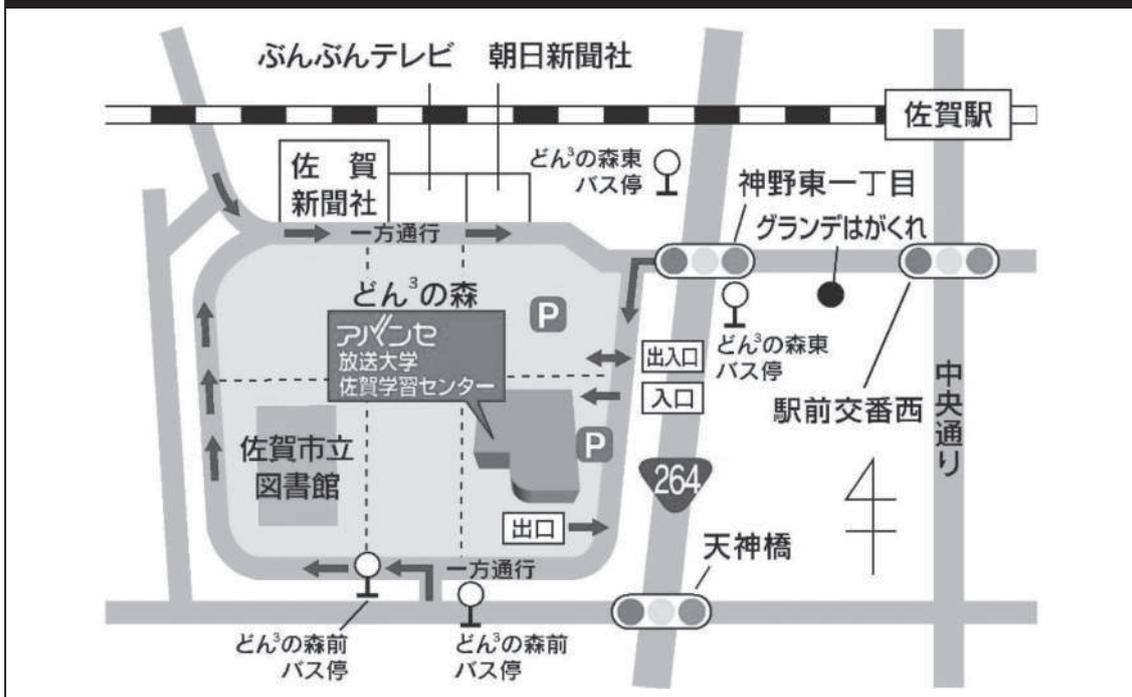
科目コード	2658666	<p>心理検査はパーソナリティの個人差を測定するために用いられるものです。この授業では、心理検査について3つ（自己概念尺度 バウムテスト TEG）取り上げ、心理検査の理論的背景などを解説します。また実際に心理検査を体験し、自己理解を深めます。受講生の皆さんは、原則として8コマの授業すべてに出席し、3つの心理検査全てについてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 心理検査について 第2回 検査実習1 自己概念尺度 第3回 検査実習2 バウムテスト 第4回 心理検査の信頼性・妥当性 第5回 質問紙法・投影法・作業検査の特徴 第6回 検査実習3 TEG 第7回 テストバッテリーについて 第8回 心理検査における倫理</p> <p>【学生へのメッセージ】 この授業では、様々な心理検査を体験し、自己分析していただきます。グループでのディスカッションなどを行うこともありますので、積極的な授業参加をお願いします。</p> <p>【受講前の準備学習等】 実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。 事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（24）」、「心理学研究法（20）」、「心理学統計法（21）」を視聴してください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 描画法を実施するため、4Bなどの柔らかい鉛筆を用意してください。また集計のため、定規と電卓を持参してください。時間中にレポート作成をしてもらいますので、パソコンを持参してのレポート作成も許可します。しかしながら、当日は電源設備、プリントアウトの環境がありません（無線LANへのアクセスは当日お知らせします）。作成したレポートは、1週間後までに郵送もしくはメールで提出してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	40S	
クラスコード	Q	
科目名	心理検査法基礎実習	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	キクチ テイイチロウ 菊池 悌一郎 九州工業大学 学生支援本部カウンセリング室准教授	
日程実施時間	5月24日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 5月25日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05	
実施会場	黒崎コムシティ3階 大会議室	

科目コード	2667509	<p>私達の身の回りには金属錯体が多数存在し生命活動を維持しています。例えば、光合成を司る葉緑素クロロフィルの中心にはマグネシウム錯体が含まれますし、我々の体内で酸素を運搬するヘモグロビンは鉄錯体を含みます。生体の維持に不可欠なビタミンB12はコバルト錯体であり、抗癌作用を示す白金錯体などは薬として利用されています。本授業では、これらの生体関連金属錯体の構造と働きを学び、自然を超えた新しい触媒（人工酵素）の開発について考えます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 生物無機化学の概要 第2回 超分子化学 第3回 錯体化学の基礎 第4回 鉄含有タンパク質の構造と働き 第5回 コバルト含有酵素（ビタミンB12）の化学 第6回 その他の金属イオンを含むタンパク質や酵素の構造と働き 第7回 人工酵素の分子設計 第8回 総括と生物無機化学の展望</p> <p>【学生へのメッセージ】 身の回りの金属錯体を取り上げ、その構造と働きについて学びます。金属イオン、特に重金属イオンは毒だと思っている人がいるかと思いますが、これらの金属イオンがないと我々生物は生きていけないことも事実です。生体系の金属イオンについて化学的な視点で学んでみましょう。理解度を測るため、毎時間毎に10分程度の簡単なレポートや質問を書いてもらいます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 高校の化学の教科書を読み直しておきましょう。また、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 毎時間の質問・簡単なレポート作成時にご自身のパソコン等を持参してインターネット検索をしても構いません。無線LANへのアクセスにつきましては授業当日にお知らせします（電源設備はありません）。</p>
学習センター(コード)	40S	
クラスコード	Q	
科目名	生物無機化学の基礎	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	310	
定員	30名	
担当講師	ヒサエダ ヨシオ 久枝 良雄 放送大学 福岡学習センター所長	
日程実施時間	6月14日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 6月15日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	黒崎コムシティ3階 大会議室	

佐賀学習センター

(コード：41A)

佐賀学習センター案内図 ☎0952-22-3308



【所在地】〒840-0815 佐賀市天神3-2-11
(佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター(アバンセ内))

【交通アクセス】

●JR佐賀駅から徒歩10分

JR佐賀駅の南口から駅前中央通りを南に約200メートル進み「駅前交番西」交差点を右折、そのまま400メートルほど進み「神野東一丁目」交差点(国道264号線が交差)付近で左前方にアバンセ(薄いピンク色の4階建)が見えます。

●JR佐賀駅からバス

佐賀駅バスセンター4番乗り場→58番「中折・クレオパーク鍋島」行き又は59番「鍋島駅北・クレオパーク鍋島」行きに乗車→「どん3(どんどんどん)の森前」バス停下車。(所要時間約5分)

【自家用車ご利用の方】

●駐車場

アバンセ北側の駐車場(無料)をご利用ください。利用時間は、(火～土)8:30～22:00、(日)8:30～17:00です。利用時間外は施錠されます。その他、駐車場に関する件は佐賀学習センターにご連絡ください。

【その他連絡事項】

佐賀学習センターの面接授業で使用する教科書は、インターネット・書店にて各自購入してください。時間がかかる場合がありますので早めに準備をお願いします。

佐賀学習センターでは昼食の注文は受付けておりませんので、各自でご準備ください。

科目コード	2660148	授 業 概 要	<p>この授業では、記憶や物忘れの仕組み、記憶力をサポートする戦略などを学習することから、なぜ物忘れがおこるのか、またどのように物忘れを予防できるのかを学習していきます。さらに、認知症の基礎知識を学びつつ、健康な高齢者の物忘れと認知症との違いに関する理解を深めていくとともに、認知症予防に関する様々な取り組みを学習していきます。最後に、一人一人が暮らす地域を、認知症になっても安心して暮らせるまちと変えていくために何が必要かを考えます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 記憶の仕組み～物忘れはなぜおこるのか 第2回 加齢に伴う記憶の変化～老いの神話にせまる 第3回 記憶への影響要因～物忘れを起こしやすい人は誰か 第4回 記憶力の維持と改善～改革のテクニク 第5回 認知症の物忘れと老化による物忘れ～認知症の基礎知識 第6回 認知症予防の取り組みを考える～食事？運動？薬？ 第7回 認知症の人へのケア～サポーターという考え方 第8回 認知症になっても安心して暮らせるまち作りを考える</p> <p>【学生へのメッセージ】 高齢者をはじめとする、人々の健康に対する意識の向上を授業の目標としています。高齢の方をはじめとし、健康、保健、医療、福祉に興味のある学生の参加を期待します。授業では、講義と共に学生同士でのグループディスカッションがあります。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・認知症と生きる〔改訂版〕(井出訓・山川みやえ/放送大学教育振興会/¥2,750/ISBN=9784595322631)</p> <p>【その他(特記事項)】 身体に障がいをお持ちの方またはそれに準ずる方で、授業の記録が学修上必要と認められる方は、そのための機器の持ち込み・使用を許可します。事前に申し出てください。</p>
学習センター(コード)	41A		
クラスコード	K		
科目名	物忘れ予防、 認知症予防		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	48名		
担当講師	井出訓 放送大学教授		
日程実施時間	4月19日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 4月20日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室		

科目コード	2667592	授 業 概 要	<p>私たちの身近で暮らす生き物たちの不思議な生態や生き物同士の相互作用の理解を通して、生態系の仕組みや生物多様性について学びます。また、生物多様性や生態系を保全することの意義や、様々な地球環境問題に関して私たちはどんなことに留意すべきなのかを考察します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 地球はなぜ緑で覆われているのか：植物の被食防御戦略 第2回 生物間相互作用が産み出す生物多様性：植物と植食者の関係 第3回 宿主をたくみに操る生物たち：寄生者による宿主操作 第4回 生物たちの生き残り戦略：一見奇妙な行動の意味を理解する 第5回 生物多様性の危機1：地球温暖化が生物多様性に及ぼす影響 第6回 生物多様性の危機2：侵略的外来種が生物多様性に及ぼす影響 第7回 佐賀の貴重な生き物たち：森から海まで 第8回 生物多様性のこれまでとこれから：私たちにできること</p> <p>【学生へのメッセージ】 身近な生き物を対象とした研究成果を紹介しながら、生物多様性や生態系について一緒に考えてみましょう。生物に関する予備知識がなくても受講可能です。</p> <p>【受講前の準備学習等】 気候変動や侵略的外来種と生物多様性の関係について、また生態系サービスについてインターネット等で調べておいてください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 配布した資料を参考にして毎回の授業で学修した内容に関して復習を行い、理解を深めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 天候を見て、短時間野外に出て植物や昆虫の観察をする場合がありますので、活動できる服装や靴でお越しく下さい(両日とも雨天の場合には室内学習のみとします)。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他(特記事項)】 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(開設科目一覧P.5参照)</p>
学習センター(コード)	41A		
クラスコード	K		
科目名	身近な自然から考える 生物多様性		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	42名		
担当講師	徳田誠 佐賀大学農学部教授		
日程実施時間	4月19日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 4月20日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第2研修室		

科目コード	2660580	授 業 概 要 <授業概要> 現代社会は雇用社会であると言われます。それは就業者の約9割が勤め人(被用者)であるからです。企業等の組織のなかで人が効率的に働くにはどうすればよいかという問いは、私たちの社会においてとても重要です。この講義では人事管理と組織目標に焦点を当てながら、社会全体における人材育成についても考えていきます。授業の後半では多様な労働者、企業倫理等のトピックも取り上げます。可能な場合はグループ討論やレポートを取り入れます(レポートは成績評価には使用しません)。 <到達目標> 人的資源管理の基礎を理解することを目標とします。社会人学生にとっては身近な分野であると思いますが、歴史的な背景、あるいは理論を紹介するなど広い視野から考えることを目指します。 【授業テーマ】 第1回 人的資源管理とは 第2回 労働市場の変化 第3回 職業キャリアの形成 第4回 まとめ等 第5回 日本的人的資源管理① 第6回 日本的人的資源管理② 第7回 現代のトピック(多様な労働者等) 第8回 人的資源管理のフロンティア(グローバル化、企業倫理等)・まとめ等 【学生へのメッセージ】 人的資源管理はどなたにとっても身近な事柄です。社会全体から俯瞰して、一緒に考えたいと思います。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・新時代の組織経営と働き方(原田順子・若林直樹編著/放送大学教育振興会/¥2,640/ISBN=9784595322099) 書店に在庫がない場合、放送大学付属図書館で借りることができます。
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	人的資源管理	
科目区分	専門科目:社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	48名	
担当講師	ハラダ ジュンコ 原田 順子 放送大学教授	
日程実施時間	4月26日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 4月27日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室	

科目コード	2667576	授 業 概 要 佐賀藩の成立と発展の歴史について学びます。城下町の整備と長崎街道沿いの産業・商業の発展の歴史を中心に学びます。座学と佐賀市内の史跡・関連施設におけるフィールドワークを組み合わせた授業です。 【授業テーマ】 第1回 佐賀藩の成立 第2回 本藩と支藩 第3回 フィールドワークの事前学習 第4回 フィールドワーク(松原神社、佐嘉神社等) 第5回 城下町の整備と長崎街道 第6回 フィールドワーク(鍋島緞通、長崎街道等) 第7回 フィールドワーク(佐賀市歴史民俗館) 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 佐賀藩の成立と発展の歴史について、基礎的な内容をわかりやすく解説します。座学と佐賀市内の史跡・関連施設におけるフィールドワークを組み合わせて理解を深めます。 【受講前の準備学習等】 ①佐賀藩の成立と発展の歴史に関する書籍を探して読んで予習しましょう。 ②シラバスに記載されているフィールドワークを行う史跡・関連施設のホームページを閲覧して予習しましょう。 ③受講後は、受講時に配付する資料を読んで、授業内容を復習してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 フィールドワークを行いますので、歩きやすい服装や履き物で参加してください。雨天の場合も現地研修を行いますので、雨具を必ずご持参ください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他(特記事項)】 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(開設科目一覧P.5参照)
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	佐賀の歴史と文化1	
科目区分	専門科目:人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	ナカオ ユカリ 中尾 友香梨 佐賀大学 全学教育機構教授	
日程実施時間	4月26日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 4月27日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40	
実施会場	佐賀市歴史民俗館 (旧古賀家1号室等) (佐賀県佐賀市柳町3-15)	

科目コード	2667517	<p>このコースでは、リスニング力およびコミュニケーション能力の向上を目指します。英語での会話や短い発言を聞き取り、内容理解を確認する問題を解答します。また、英語に特有のアクセント、リズム、イントネーションを確認し、発音を練習します。ディクテーションでは、聞き取りを行った後、会話をペアで練習します。その後、簡単な英語でのやり取りを実践します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 Unit 1 Introductions and Names & Unit 2 Describing People 第2回 Unit 3 Clothes & Unit 4 Routines 第3回 Unit 5 Dates & Unit 6 Jobs 第4回 Unit 7 Favorites & Unit 8 Sports and Exercise 第5回 Unit 9 Locations & Unit 10 The Family 第6回 Unit 11 Entertainment & Unit 12 Prices 第7回 Unit 13 Restaurants & Unit 14 Small Talk 第8回 Unit 15 Vacations</p> <p>【学生へのメッセージ】 英語のリスニング力、コミュニケーション能力を伸ばすために、積極的に授業に参加し学んでいきましょう。また、英和辞書（電子辞書可）を持参してください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 授業で学習するUnit 1～15の最初のGetting Readyの箇所を目を通し、前もって解答を記入しておいてください。また、学習するユニットに出てくる不明な語彙や表現がある場合は、辞書で確認し、覚えるようにしておきましょう。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 教科書および英和辞書（電子辞書可）を必ず持参してください。</p> <p>【教科書】 ・ Tactics for Listening, 3rd Edition Basic, Student Book (Jack C. Richards with Grant Trew/Oxford University Press/¥3,069/ISBN=9780194013840) 教科書は必携ですので、受講者は早めにインターネットや各書店にて注文の上、購入しておいてください。また、同じタイトルのテキストが複数ありますので、購入時には(3rd Edition Basic, Student Book)であることを必ず確認し、購入するようにしてください。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。</p>
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	基礎英語リスニング	
科目区分	基盤科目：外国語	
ナンバリング	110	
定員	21名	
担当講師	ヤマザキ ミホコ 山崎 美穂子 福岡大学非常勤講師	
日程実施時間	5月10日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 5月11日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第2研修室	

科目コード	2667584	<p>約400年前に日本最初の磁器として創始された有田焼は、国内のみならず海外にも広く流通しました。各時代に作られた有田焼の魅力を理解し、その受容の歴史をたどると各国の生活様式や文化の特徴を知ることができます。また有田に残る史跡や町並みを見学して生産地のリアルな歴史を体感します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 陶磁器の歴史と文化1（肥前陶磁と国内流通） 第2回 陶磁器の歴史と文化2（海外輸出） 第3回 町内見学（泉山磁石場、有田町歴史民俗資料館等） 第4回 町内見学（窯跡、街並み保存地区等） 第5回 陶磁器の歴史と文化3（展示室の蒲原コレクション） 第6回 陶磁器の歴史と文化4（展示室の柴田夫妻コレクション） 第7回 陶磁器の歴史と文化5（古伊万里の見方） 第8回 陶磁器の歴史と文化6（産地の伝統）</p> <p>【学生へのメッセージ】 陶磁器は単に美しいものの鑑賞に留まらず、見方が分かれば様々な情報を引き出すことができます。古陶磁の歴史的な背景を理解し、その時代の文化や人々の暮らしぶりを楽しみましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業1日目はフィールドスタディを行うため、歩きやすい服装で帽子を着用し、水分補給ができるものを持参してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・ 常設展示ガイドブック「有田焼の歴史」～磁器が語る 奇跡のストーリー～（佐賀県立九州陶磁文化館/佐賀県立九州陶磁文化館/¥1,000） ・ 古伊万里の見方シリーズ1 種類（佐賀県立九州陶磁文化館/佐賀県立九州陶磁文化館/¥800） シリーズは2成形、3装飾、4窯詰め、5形と用途もあります。 どちらも佐賀県立九州陶磁文化会館受付で販売しています。郵送での購入方法はホームページをご覧ください。</p> <p>【その他（特記事項）】 授業1日目の第3時限は町内の泉山磁石場で集合です。その後第4時限も徒歩で町内の窯跡や街並みを散策します。解散場所は街並みですが、車で参加される方は駐車場の関係で泉山磁石場に戻ることになります。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.5参照）</p>
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	ぶらっと有田・陶磁の歴史と文化	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	スズタ ユキオ 鈴田 由紀夫 佐賀県立九州陶磁文化館 館長	
日程実施時間	5月10日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 5月11日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	佐賀県立九州陶磁文化館 (佐賀県西松浦郡有田町戸杓乙3100-1)	

科目コード	2658569	<p>この授業は自分用パソコン持ち込み方式 (BYOD : Bring Your Own Device) で実施します。</p> <p>【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他 (特記事項)】 を讀み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 心理学における代表的実験を2つ(ミューラー・リヤー錯視、情報伝達(バートレットの系列的再生))取り上げて、心理学の実験方法、統計処理を含むデータ整理、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生は原則として8回の授業すべてに出席し、2つの実験すべてのレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 心理学実験とレポートの構成 第2回 データ分析のための統計法 第3回 実験実習1 (ミューラー・リヤー錯視) 第4回 実験実習1のデータ分析とレポート執筆指導 第5回 実験実習1のレポートへの講評 第6回 実験実習2 (情報伝達) 第7回 実験実習2のデータ分析とレポート執筆指導 第8回 まとめ</p> <p>【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論(24)」、「心理学研究法(20)」、「心理学統計法(21)」を視聴してください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 無線LAN (Wi-Fi) 接続のできるノートパソコンを持参してください。 2. OSは、Windows10または11のみです (これは実験プログラムの都合によります)。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge (エッジ)、Google Chrome (クローム)、Mozilla Firefox (ファイアーフォックス)、Safari (サファリ) のいずれかが必要です。 ・Wordが必要で。 ・Excelが必要で。 4. その他 ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・レポートは、原則として授業中に、持参した端末から放送大学佐賀学習センター宛にメール送信をしてもらいます。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・心理学実験・研究レポートの書き方―学生のための初歩から卒論まで (B.フィンドレイ 著、細江達郎、細越久美子 訳/北大路書房/¥1,430 /ISBN=9784762820465)</p> <p>【その他 (特記事項)】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。</p>
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験1	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	15名	
担当講師	オカヅマ イチロウ 岡嶋 一郎 西九州大学 子ども学部教授	
日程実施時間	5月24日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 5月25日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第4研修室	

科目コード	2667533	<p>情報と情報システムを理解するために、情報とメディア、情報のデジタル化、コンピュータとプログラミング、データの蓄積と活用、情報システムについて基礎的事項を概説します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 情報と問題解決 第2回 メディアと情報技術の発展 第3回 情報のデジタル化 第4回 コンピュータの構成 第5回 アルゴリズムとプログラミング 第6回 モデル化とシミュレーション 第7回 データベースとデータ活用 第8回 情報システムの信頼性と安全性</p> <p>【学生へのメッセージ】 現代社会において私たちは情報と情報システムによって支えられています。私たちがより充実した安全な毎日を送るために、情報と情報システムについて幅広く学びます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	情報科学入門	
科目区分	導入科目：情報	
ナンバリング	210	
定員	42名	
担当講師	ホリ ヨシアキ 堀 良 彰 佐賀大学理工学部教授	
日程実施時間	5月31日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 6月1日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第2研修室	

科目コード	2658615	この授業は自分用パソコン持ち込み方式(BYOD: Bring Your Own Device)で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他(特記事項)】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験2	
科目区分	専門科目: 心理と教育	心理学の基礎的な実験4つ(印象形成、自由再生による記憶の系列位置効果、アフォーダンス、顔面フィードバック)を取り上げ、実験の実施、関連事項の解説とレポートの書き方の説明を行います。受講生の皆さんは、実験では実験者や実験参加者の役割を果たし、その後、得られたデータの集計や分析を行った上で、レポートを作成します。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、4つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。
ナンバリング	320	【授業テーマ】
定員	24名	第1回 ガイダンス・顔面フィードバックの実施 第2回 顔面フィードバックの解説・レポート指導 第3回 自由再生による記憶の系列位置効果の実施 第4回 自由再生による記憶の系列位置効果の解説・レポート指導 第5回 アフォーダンスの実施 第6回 アフォーダンスの解説・レポート指導 第7回 印象形成の実施 第8回 印象形成の解説・レポート指導
担当講師	ヒダカ モトノブ 日高 茂暢 佐賀大学教育学部講師	【学生へのメッセージ】 実験結果を記録・集計・保存するために、ノート、電卓、USBメモリを持参して下さい。またレポート作成やグラフ作成などで、パソコンを使った作業もあるため、ワードやエクセルに慣れている事が望ましいです。なお、顔面フィードバック、アフォーダンスの実験では持ち物・服装に指定がありますので、「受講者が当日用意するもの」欄を確認の上、準備をしてください。
日程実施時間	5月31日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 6月1日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40	【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論(24)」、「心理学研究法(20)」、「心理学統計法(21)」を視聴してください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室	授業概要
		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。なお、レポートのテーマは授業内で実施した実験に関するものです。レポートは、後日提出とします。
		【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 WindowsまたはmacOSのいずれかが必要です。 3. ソフトのインストール ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・USBメモリーを必ず持参してください。 ・必要な人はマウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・紙媒体でレポート提出してもらいますが、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。 5. 実験にて必要な物 ・筆記用具、電卓、定規、太めの軸のサインペン(1日目1コマ目の実験で口にくわえます) ・動きやすい服装と靴(2日目5コマ目の実験でハードルをまたいだり、くぐったりします) ※レポートを手書きで作成する場合は、方眼紙、のり、はさみを持参してください。
		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
		【参考書】 ・認定心理士資格準拠 実験・実習で学ぶ心理学の基礎(日本心理学会、認定心理士資格認定委員会/金子書房/¥2,750/ISBN=9784760830312) ・心理学実験法・レポートの書き方(西口利文、松浦均/ナカニシヤ出版/¥2,420/ISBN=9784779502378)
		【その他(特記事項)】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(開設科目一覧P5参照) 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2667541	授 業 概 要	<p>佐賀県では、米、大豆、みかん、海苔など多くの農林水産物が生産されています。この授業では、佐賀の特産物を中心に、それぞれの食べ物に含まれる特徴的な成分や病気を予防するような機能性について学びます。また、地域の特産品に付加価値を付け、地域の活性化に繋げる取り組みが活発に行われています。その事例として、これまで私が行ってきた商品開発プロジェクトについて紹介します。そして、実際に佐賀の特産品を用いた商品開発に挑戦してみましょう。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 穀類（米、小麦など）の科学 第2回 イモ類と豆類の科学 第3回 野菜と果物の科学 第4回 魚介類と藻類の科学 第5回 肉類と卵類の科学 第6回 佐賀の特産品を用いた商品開発プロジェクトの紹介（ヒシ、キクイモなど） 第7回 佐賀の特産品を用いた商品開発をやってみよう！（企画会議） 第8回 佐賀の特産品を用いた商品開発をやってみよう！（プレゼンテーション）</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>「佐賀の特産品」や「食べ物と健康」にご興味がある方は、ぜひ受講してください。また、商品開発も行いますので、一緒に楽しく魅力的な商品を考えましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>佐賀の特産品について調べておいてください。また、商品開発も行いますので、様々なアイデアを考えておいてください。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。特に、商品開発での積極性を評価に加えます。</p> <p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	41A		
クラスコード	K		
科目名	佐賀の食べ物学		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	42名		
担当講師	<small>ヤスダ ミドリ</small> 安田 みどり 西九州大学 健康栄養学部教授		
日程実施時間	6月7日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 6月8日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第2研修室		

科目コード	2658640	この授業は自分用パソコン持ち込み方式(BYOD: Bring Your Own Device)で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他(特記事項)】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センター(コード)	41A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験3	2日間で、2種の実験を行い、それぞれ測定・データ入力・分析・レポート作成までを行います。実験は心理学における主要な研究方法の一つです。ただ単に、測定を経験するだけでなく、確からしい結論に至るための論理や工夫について学んでほしいと考えています。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、2つの実験すべてについてレポートを提出する必要があります。
科目区分	専門科目: 心理と教育	【授業テーマ】 第1回 講義: 心理学における実験の重要性と実験計画 第2回 実験: 「鏡映描写」 第3回 実験のまとめと実験計画についての補足 第4回 実験: 「ストループ効果」 第5回 講義: 実験の計画立案 第6回 講義: 表計算ソフトを用いたデータ処理 第7回 講義: 表計算ソフトを用いたデータ処理2 第8回 実験のまとめとレポートの作成指導
ナンバリング	320	
定員	24名	【学生へのメッセージ】 「仮説通りの結果が出ない」イコール「実験は失敗」ではありません。得られたデータをどう解釈するのがもっともらしいのか? その根拠は? どう確かめればよいのか? と繰り返し自分に問いを向けることがレポート作成において重要です。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究方法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論(24)」、「心理学研究方法(20)」、「心理学統計法(21)」を視聴してください。 統計学の基礎知識(t検定・有意水準・帰無仮説など)と表計算ソフトの操作(データ入力やファイル保存、コピー、貼り付け、グラフ作成、ピボットテーブルなど)を学んできてください。
担当講師	ハシグチ ススム 橋口 晋 長崎リハビリテーション学院 非常勤講師	
日程実施時間	6月7日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 6月8日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40	【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 キーボードが必要な実験を予定しています。ノートパソコンもしくは、キーボード付きタブレットを持参してください。 2. OSの指定 WindowsもしくはMac OSが望ましい。 3. ソフトのインストール ・文書作成ソフトが必要です。WordやGoogleドキュメント等種類は問いませんが、Wordで作成したファイルを配布します。 ・表計算ソフトが必要です。ExcelやGoogleスプレッドシート等種類は問いませんが、Excelを用いて説明します。 ・ChromeやSafariなどのブラウザが必要です。 4. その他 ・マウスを持っている方はマウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・紙媒体でレポート提出する場合は、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室	
		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・初心者でもすぐにできるフリー統計ソフトEZR(Easy R)で誰でも簡単統計解析(改訂第2版)(神田 善伸/南江堂/¥4,620/ISBN=9784524218615) 無料で使える統計ソフトのマニュアル本です。 【その他(特記事項)】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 ・色識別を要する実験課題があります。 ・測定・データ収集に要する時間に変動があるため、休み時間が前後します。

科目コード	2667550	授 業 概 要	<p>レオ・カナーの報告から始まった自閉スペクトラム症（自閉症）に対する捉え方と療育の展開について、心理学・教育学・社会福祉の視点から検討し、その障害を軽減し、発達を促進するために不可欠となる社会性を高める療育のあり方、および発達の視点による支援について明らかにします。なお、授業は講義形式で行います。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 自閉症（自閉スペクトラム症）の最初の報告 第2回 心因論と遊戯療法 第3回 認知障害説と行動療法 第4回 受容的交流療法・感覚統合療法 第5回 生活療法（表象能力・象徴能力・観察能力・模倣能力の向上） 第6回 太田ステージ・SCERTSモデル 第7回 セルフマネジメント・サイコドラマ（心理劇） 第8回 社会適応能力を高める療育方法・まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 パワーポイントを使って講義をします。また、当日講義資料も配布します。受講した後で、授業内容を整理すると、どのようなことが大事なかが掴めますので、講義をしっかりと聞いていただければと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、筆記用具を持参してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	41A		
クラスコード	K		
科目名	自閉スペクトラム症の理解と支援		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	48名		
担当講師	マツヤマ イクオ 松山 郁夫 鎮西学院大学 総合社会学部教授		
日程実施時間	6月14日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 6月15日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	佐賀学習センター アバンセ第1研修室		

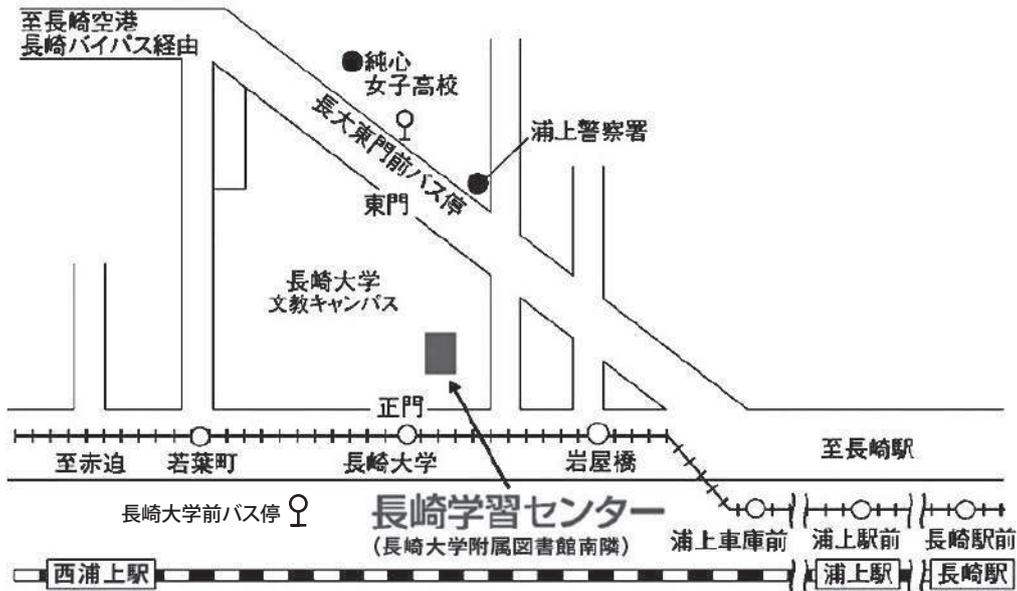
科目コード	2667568	授 業 概 要	<p>CMやPV、映画等における映像表現を巧みに用いた作品を鑑賞し、優れた構成や演出から映像デザインとしてメッセージの伝達や個性的な着想や表現が生まれることを理解してもらいます。また、CGやVR、デジタルファブリケーション等、デジタル表現がもたらすサイバー空間とフィジカル空間を結ぶ概念を大学のスタジオ見学やVR体験等により体感してもらいます。映像文化と社会との関係性、テクノロジーの発達と映像表現の可能性を紐解き、映像デザインの現在を考えていきます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 「泣ける動画は何故泣けるのか？」感動させる映画のセオリーを考える 第2回 「CMから社会と自分を視る」社会と自分にとってのCMを考える 第3回 「ミュージックビデオを解説する」音と映像の関係性から映像表現の歴史、ポカロ文化まで 第4回 「VR、イメージと物語を考える」VRがもたらす身体と日常の変容を考える① 第5回 「映像文法と映像技法再考」多様な映像文法と技法による表現を概観しそこからプロットを考える 第6回 「光を紡ぐ、空間に配置する」プロジェクションマッピングという幻想と物体としての映像を考える 第7回 「VR、イメージと物語を考える」VRがもたらす身体と日常の変容を考える② 第8回 「映像収録スタジオ、ファブリケーションスタジオ見学」Society5.0におけるサイバー空間とフィジカル空間を融合させた世界を考える</p> <p>【学生へのメッセージ】 映像は視覚情報として絶えず私たちと繋がっています。見るから体感するに変化してきた映像の多様性を知り、デザインするという能動的な行為は今後必要なスキルです。楽しみながら受講していただければ嬉しいです。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 例えば、受講者が好きな映画、ミュージックビデオ、CM等を客観的な視点で視聴しておいてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日に補助教材を配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は所属コースのコース科目に該当します。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.5参照）</p>
学習センター(コード)	41A		
クラスコード	K		
科目名	映像デザイン —映画からVRまで		
科目区分	総合科目		
ナンバリング	420		
定員	30名		
担当講師	ナカムラ タカトシ 中村 隆敏 佐賀大学 芸術地域デザイン学部教授		
日程実施時間	6月14日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 6月15日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	佐賀大学 (佐賀県佐賀市本庄町1)		

長崎学習センター

(コード：42A)

長崎学習センター案内図

☎095-813-1317



【所在地】〒852-8521 長崎市文教町1-14(長崎大学文教キャンパス内)

【交通アクセス】

- JR長崎駅・浦上駅から(長崎駅から約20分、浦上駅から約10分)
 - ・路面電車 ▶ 1番・3番系統「赤迫」行き、「長崎大学」下車 ▶ 徒歩約3分
 - ・長崎バス ▶ 1番系統「滑石」「時津」「長与」方面行き、「長崎大学前」下車 ▶ 徒歩約3分
 - ・長崎県営バス ▶ 「滑石団地」行き、「長崎大学前」下車 ▶ 徒歩約3分
- JR(長与経由)▶「西浦上」下車 ▶ 徒歩約15分
- 長崎空港から(長崎空港4番乗場)
 - ・長崎県営バス ▶ 「昭和町・浦上経由 長崎」行き(約45分)「長大東門前」下車 ▶ 徒歩約5分

【その他連絡事項】

放送大学専用の駐車場はありませんので、原則公共交通機関を利用してください。

※近隣に有料駐車場有。また、土日に限り長崎大学構内に有料で駐車できます。

長崎駅近隣のホテル案内は長崎学習センターウェブサイトに掲載しております。

長崎学習センター窓口では、面接授業の教科書は販売しておりません。(印刷教材は除く。)

科目コード	2667665	<p>安政5年(1858)に締結された修好通商条約により開港地には居留地を設置することが定められ、長崎、横浜、神戸、築地、川口には居留地が整備されました。居留地は明治32年(1899)に廃止されることとなりますが、それまでの間、ここで暮らす外国人と日本人との交流拠点としても機能しました。では、ここでお互いにどのような文化的交流があったのでしょうか。講義では、日本人による欧米文化の受容、外国人による日本文化の受容の双方に焦点を当て、解説していきます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 出島と居留地はどのように違うのだろうか？ 第2回 日本人はなぜ洋服を着るようになったのだろうか？ 第3回 洋風建築と擬洋風建築とはどのように違うのだろうか？ 第4回 日本人は食肉文化をどのように受け入れたのだろうか？ 第5回 髷と散髪と日本人 第6回 居留地で生まれ育った外国人①：倉場富三郎と魚たち 第7回 居留地で生まれ育った外国人②：アルシディー・リンガーとドールハウス 第8回 居留地における異文化交流を考える</p> <p>【受講前の準備学習等】 高等学校の日本史の教科書で幕末・明治時代について復習しておいてください。 参考文献に挙げた図書を読んでください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・今と昔の長崎に遊ぶ(増崎英明 著/長崎大学地域文化研究会 著/九州大学出版会/¥2,640/ISBN=9784798503103) ・グラバー家の人々(プライアン・パークガフニ/長崎文献社/¥1,980/ISBN=9784888511728) ・リンガー一家秘録 1868-1940(プライアン・パークガフニ/長崎文献社/¥2,640/ISBN=9784888512152)</p>
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	居留地における異文化交流	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	60名	
担当講師	ミナミモリ シゲタ 南森 茂太 長崎大学 人文社会科学域(経済学系)准教授	
日程実施時間	4月26日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 4月27日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	長崎学習センター 講義室	

科目コード	2667681	<p>この講義は、長崎の名所として皆さんにお馴染みの場所、また現代では知られていないところを取り上げ、昔の文字であるくずし字の資料を用いて講読していきます。 具体的には、「おすわさん」の愛称で今日も親しまれる鎮西大社諏訪神社、蛸と蓮の名所として知られていた浦上新田、秋の紅葉の名所として現代でも多くの観光客が訪れる心田庵、長崎代官の高木氏の別業を取り上げ、長崎の名所の魅力に迫っていきます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 くずし字入門—今の文字と昔の文字— 第2回 くずし字で読む江戸時代長崎の諏訪神社—「玉園山花宴記」を読む— 第3回 日中文化交流の舞台としての諏訪神社 第4回 くずし字で読む心田庵—「松陰舎記」を読む— 第5回 江戸時代長崎の煎茶と茶室 第6回 くずし字で読む江戸時代長崎の浦上新田—二つの「観蓮記」を読み解く— 第7回 南面の画題としての「蓮」と唐物趣味 第8回 高木代官の別業「雨香亭記」をくずし字で読み解く</p> <p>【学生へのメッセージ】 この講義では、江戸時代長崎の名所の魅力をくずし字で読み解きます。長崎の名所の魅力を存分に味わってみませんか。くずし字を読んだ経験のない方も大歓迎です！読解のための手ほどきを一から丁寧にいきます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 なお、1日目の講義日終了後は、授業中に学習したくずし字を復習して、字母とくずし方を覚え、2日目の講義に御出席ください。また、授業において取り扱った長崎の名所に足を運んでみることをお勧めします。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 くずし字の読解にアプリを利用しても構いません。その場合、スマートフォン・タブレット等の端末をお持ちください。AIくずし字認識アプリ「みを」をインストールして、くずし字を読解できます。なお、ポケット通信量に制限等がある方は、学習センターの無線LANを利用できます。利用方法はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・今と昔の長崎に遊ぶ(増崎英明/九州大学出版会/¥2,640/ISBN=9784798503103) ・長崎東西文化交渉史の舞台—ポルトガル時代オランダ時代—(若木太一/勉誠社出版/¥4,400/ISBN=9784585220589) ・長崎東西文化交渉史の舞台—明・清時代の長崎支配の構図と文化の諸相—(若木太一/勉誠社出版/¥6,600/ISBN=9784585220640)</p> <p>【その他(特記事項)】 タブレットなどの端末を使用する場合は、充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。</p>
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	くずし字で読む長崎の名所	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	60名	
担当講師	キラ フミアキ 吉良 史明 長崎大学 人文社会科学域(教育学系)准教授	
日程実施時間	5月10日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 5月17日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	長崎学習センター 講義室	

科目コード	2658640		この授業は自分用パソコン持ち込み方式(BYOD: Bring Your Own Device)で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他(特記事項)】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験3	授 業 概 要	2日間、2種の実験を行い、それぞれ測定・データ入力・分析・レポート作成まで行います。実験は心理学における主要な研究方法の一つです。ただ単に、測定を経験するだけでなく、確からしい結論に至るための論理や工夫について学んでほしいと考えています。受講生の皆さんは、原則として全8回の授業すべてに出席し、すべての課題のレポートを作成・提出する必要があります。
科目区分	専門科目: 心理と教育		【授業テーマ】 第1回 講義: 心理学における実験の重要性と実験計画 第2回 実験: 「鏡映描写」 第3回 実験のまとめと実験計画についての補足 第4回 実験: 「ストループ効果」 第5回 講義: 実験の立案について 第6回 講義: 表計算ソフトを用いたデータ処理 第7回 講義: 表計算ソフトを用いたデータ処理2 第8回 実験のまとめ
ナンバリング	320		【学生へのメッセージ】 「仮説通りの結果が出ない」イコール「実験は失敗」ではありません。得られたデータをどう解釈するのがもっともらしいのか? その根拠は? どう確かめればよいのか? と繰り返し自分に問いを向けることがレポート作成において重要です。
定員	27名		【受講前の準備学習等】 ・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論(24)」、「心理学研究法(20)」、「心理学統計法(21)」を視聴してください。 ・統計学の基礎知識(t検定・有意水準・帰無仮説など)と表計算ソフトの操作(データ入力やファイル保存、コピー、貼り付け、グラフ作成、ピボットテーブルなど)を学んでおいてください。 ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 ・システムWAKABAのログインIDやパスワードを再確認しておいてください。
担当講師	ハシグチ ススム 橋口 晋 長崎リハビリテーション学院 非常勤講師		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
日程実施時間	5月10日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 5月11日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25		【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 キーボードが必要な実験を予定しています。ノートパソコンもしくは、キーボード付きタブレットを持参してください。 2. OSの指定 WindowsもしくはmacOSが望ましい。 3. ソフトのインストール ・文書作成ソフトが必要です。WordやGoogleドキュメント等種類は問いませんが、Wordで作成したファイルを配布します。 ・表計算ソフトが必要です。ExcelやGoogleスプレッドシート等種類は問いませんが、Excelを用いて説明します。 ・ブラウザはMicrosoft Edge(エッジ)、Google Chrome(クローム)、Mozilla Firefox(ファイアーフォックス)、Safari(サファリ)のいずれかが必要です。 4. その他 ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・紙媒体でレポート提出する場合、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。
実施会場	長崎学習センター 講義室		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
			【参考書】 ・初心者でもすぐのできるフリー統計ソフトEZR(Easy R)で誰でも簡単統計解析(神田 善伸/南江堂/¥4,180/ISBN=9784524261581) 無料で使える統計ソフトのマニュアル本です。
			【その他(特記事項)】 ・色識別を要する実験課題があります。 ・心理学実験1・心理学実験2・心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からも受講可能です。 ・測定・データ収集に要する時間に変動があるため、休み時間が前後します。 ・充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2667703	<p>この講義は、化学反応の速度について学習します。化学反応が起こる場合、必ず反応速度が存在します。反応速度が大きいと、短時間で目的のものが合成でき、反応に使うエネルギーなども少なく済みますが、反応速度が小さいと、逆に反応に長時間を要し、エネルギー消費も大きくなります。この講義では、化学の基礎となる原子や分子の構造を勉強し、化学結合について学習した後、化学反応の仕組み、その速度との関係、反応速度に影響を与える因子などについて学習します。また、反応速度式の作り方、使い方についても学習します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 原子の構造と分子の構造 第2回 化学結合の種類と仕組み 第3回 化学反応の仕組み 第4回 反応速度式 第5回 化学平衡と複雑な反応機構 第6回 生化学反応における反応速度の取り扱い 第7回 反応速度とエネルギーの関係 第8回 環境汚染物質の除去について考える</p> <p>【学生へのメッセージ】 化学反応速度を学習するにあたり、高校の数学の知識（微分や積分）を必要とします。また、講義ではExcelなどの表計算ソフトを使って、解説するときがあります。これらの知識がある方が、理解が早いです。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスのテーマを確認し、テーマに使われている用語を、インターネットや図書などで事前に調べておいてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 筆記用具、ノート、関数電卓（スマートフォンのアプリ可）</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	化学反応の速度とは何か？	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	310	
定員	40名	
担当講師	タナベ シュウジ 田邊 秀二 長崎大学 総合生産科学域(工学系)教授	
日程実施時間	5月17日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 5月18日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	長崎学習センター 講義室	

科目コード	2659026	<p>臨床心理学の基礎を、体験を通して学びます。ある課題への問題解決や、(ソーシャルディスタンスを取りながら)グループ討議などを行い、自分自身と他者の理解を深めていきます。簡単なロールプレイ等、実際に動いて身体を通して学んでいく予定ですので、動きやすい服装で、体調管理を万全にして受講にのぞんでください。各コマ課題があり、スモールステップ形式で深めていきますので、全コマ出席できる方に限ります(遅刻早退は不可)。課題ごとにレポートを課します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 ウォーミングアップ 第2回 自己へのアプローチ1 第3回 問題解決の方法 第4回 シェアリングとまとめ 第5回 自己へのアプローチ2 第6回 自己表現と他者表現1 第7回 自己表現と他者表現2 第8回 まとめ・質疑応答</p> <p>【学生へのメッセージ】 課題を出しますが、答えが用意されているというのではなく、受講生各人の中に、その答えはあります。積極的に参加してください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 授業当日、「いま、ここで」を大切に授業展開します。心身の健康を整え、臨んでください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 12~24色程度の色鉛筆・クレヨン・パステルなど、自身が使いやすいもの。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	臨床心理学実習	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	サトウ ヒトミ 佐藤 仁美 放送大学准教授	
日程実施時間	5月24日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 5月25日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	長崎学習センター 講義室	

科目コード	2667690	<p>この授業は自分用パソコン持ち込み方式 (BYOD: Bring Your Own Device) で実施します。</p> <p>【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他 (特記事項)】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 生成AIが注目を集めています。特に画像生成AIは、近年急速な技術進化を遂げています。本授業では、生成AIの中でも画像生成AIに焦点を絞って、その仕組みを解説します。その後、画像生成AIのメリット、デメリットを研究します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 AIとは？ 第2回 生成AIの仕組み (Chat GPTを例に) 第3回 生成AIを使ってみよう (Chat GPTを例に) 第4回 画像生成AIとは？ 第5回 画像生成AIの仕組み 第6回 画像生成AIを使ってみよう 第7回 画像生成AIの光と影 第8回 画像生成AIの未来について</p> <p>【学生へのメッセージ】 スマートフォンやノートパソコンを日ごろから使いこなすことが重要です。</p> <p>【受講前の準備学習等】 ・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。なお、先読み！ IT×ビジネス講座 画像生成AI、深津 貴之、水野 祐、酒井麻里子を参考書として利用する予定ですので、本参考書等を活用し、画像生成AIについて情報を収集しておくことをお勧めします。 ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 種類は問いません (ノートパソコン、タブレット、スマートフォン)。 2. OSの指定 種類は問いません (Windows、macOS、ChromeOS、Android等)。 3. ソフトのインストール ブラウザを使用しますが種類は問いませんので、特別なソフトのインストールは不要です。 4. その他 ソフトのバージョン指定はありません。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・先読み！ IT×ビジネス講座 画像生成AI (深津貴之、水野祐、酒井麻里子 / インプレス / ¥1,650 / ISBN=9784295016267)</p> <p>【その他 (特記事項)】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。</p>
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	画像生成AIの光と影	
科目区分	専門科目：情報	
ナンバリング	320	
定員	24名	
担当講師	コバヤシ トオル 小林 透 長崎大学 総合生産科学域(情報データ科学系)教授	
日程実施時間	5月24日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 5月25日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	長崎学習センター 講義室	

科目コード	2667622	<p>世の中には、様々なタイプの作曲家がいます。早起きをして、午前中に仕事を済ませ、午後以降はのんびりと過ごすタイプ。日中は集中できず、真夜中に部屋にこもって仕事をするタイプ。中には、酒場でもビリヤード台の上でも作品を描き続けた天才音楽家もいます。今回の講義では、その街とそんな作曲家たちにスポットを当て、その街ならではの風景 (風土) の中で、どんな作品が生まれてきたのかを、ピアノ演奏を交えながら探してみたいと思います。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 ウィーン 生涯をこの街で、フランツ・シューベルト 第2回 パリの異邦人 ショパンのピアノ曲に流れる祖国 (ポーランド) のリズム 第3回 童謡の故郷・信州 唱歌・童謡が生まれたふるさとの風景 第4回 プエノスアイレス バンドネオンが踊る、アストルピアソラ 第5回 イタリア・ルッカ 中世・城壁の街とジャコモ・プッチーニ 第6回 温泉保養地・パートイシュル (オーストリア) プラームス苦悩の子守歌 第7回 ウェスト・エンド (ロンドン) ミュージカルの幕が上がる、ロイド＝ウェバー 第8回 まとめとミニコンサート</p> <p>【学生へのメッセージ】 今回取り上げるいわゆる「名曲」は、数ある楽曲のほんの一部です。そして、クラシックからミュージカル、童謡と幅広いジャンルから選んでみました。どうぞリラックスして、作曲家たちが残した美しい音楽を楽しんでいただけたらと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスに示された作曲家の作品から、受講するみなさんのお気に入りの「名曲」を探しておいてください。 また、授業で提示された作品をもとに、復習としてそのほかの音楽作品も視聴してみましょう。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 筆記用具</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他 (特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。 実施会場 (長崎創楽堂) の椅子が、演奏ステージ仕様のため、硬い折り畳み椅子です。 必要に応じて、各自、座布団・クッションなどを準備してください。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。学生教育研究災害傷害保険の加入については、面接授業開設科目一覧P.5参照</p>
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	その街で 名曲は生まれた	
科目区分	導入科目：人間と文化	
ナンバリング	220	
定員	36名	
担当講師	ホリウチ イブキ 堀内 伊吹 長崎大学名誉教授	
日程実施時間	5月31日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 6月1日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	長崎大学長崎創楽堂 (長崎市文教町1-14)	

科目コード	2658453		この授業は自分用パソコン持ち込み方式(BYOD: Bring Your Own Device)で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他(特記事項)】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	新・初歩からのパソコン		
科目区分	基盤科目	授 業 概 要	これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。学習センターにご自身のパソコンを持参して、その操作方法とともに、放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。学習センターのWi-Fiへの接続方法、放送大学ウェブサイトの閲覧方法、学生用電子メールの送受信方法、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法、附属図書館の電子情報サービスによる情報収集方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストの閲覧と動画の視聴、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート課題ファイルの提出を体験します。
ナンバリング	110		【授業テーマ】 第1回 パソコンの基本操作(キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル) 第2回 文書作成とPDF保存 第3回 Webとメールの活用 第4回 セキュリティ 第5回 システムWAKABA・自己学習サイト 第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス 第7回 オンライン授業の実践 第8回 まとめと振り返り(第7回で体験したオンライン授業の感想をレポートにまとめオンラインで提出)
定員	24名		【学生へのメッセージ】 基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートしますので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講してください。
担当講師	フジムラ マコト 藤村 誠 長崎大学 総合生産科学域(情報データ科学系)准教授		【受講前の準備学習等】 ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 ・「学生生活の葉」に掲載されている放送大学のシステムWAKABA(教務情報システム)や各種システム、情報セキュリティガイドラインを読んで理解しましょう。自分用パソコン等を使ってシラバスの内容を予習してください。受講後は、受講時に配布する「新・初歩からのパソコンテキスト」を通読し、受講内容を復習してください。 ・システムWAKABAのログインやパスワードを再確認しておいてください。
日程実施時間	5月31日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 6月1日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。とくに、授業前と後でのパソコンスキルの伸びを重視します。
実施会場	長崎学習センター 講義室		【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください(タブレット、スマートフォンは不可)。 2. OSの指定 Windows10またはWindows11が必要です。 3. ソフトのインストール Wordが必要です。 配付資料をPDF形式ファイルで提供しますので、Adobe Acrobat Readerをインストールしておいてください。 4. その他 ・Windows10以降。 ・Microsoft Office 2016以降またはMicrosoft 365のWordを対象とします。 ・マウス ・USBメモリ(※市販されている一番安価な物で結構です)。 ・学生証 授業内でログイン操作を伴う実習があります。必ずお持ちください。 ・イヤホン
			【教科書】 ・新・初歩からのパソコンテキスト(情報リテラシー面接授業タスクフォース/放送大学/¥0) 授業当日に配付します。
			【参考書】 ・新・初歩からのパソコン電子版テキスト(情報リテラシー面接授業タスクフォース/放送大学/¥0) PDFダウンロード方法は授業で説明いたします。
			【その他(特記事項)】 この科目は2009~2015年度「基礎科目」に該当します。 (履修制限)「大学で学ぶためのパソコン基礎」の単位を修得済の方は登録できません。 ・「新・初歩からのパソコン」の電子版テキストの入手方法は授業で説明します。 ・充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2664011	<p>本講義は、生命保険契約法を中心に保険法、生命保険の基本的知識の修得、およびそれを前提とした問題解決のための応用力の育成を目的とします。民法の契約法理・親族法・相続法等に対する理解が深まることも期待されます。</p> <p>毎回の講義においてプリントを配付するとともに、講義の狙い・キーワードを示します。講義中、ところどころに保険実務の現場で起きやすいトラブルや重要な判例・裁判例を取り上げて説明を加えます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 ガイダンス&保険法総論Ⅰ－保険制度、保険の分類、保険法の基礎理論 第2回 保険法総論Ⅱ－当事者と関係者、保険者の補助者、契約の基本概念・類型・主な法的性質 第3回 生命保険契約の成立Ⅰ－契約成立のプロセス、被保険者の同意、責任開始時期等 第4回 生命保険契約の成立Ⅱ－告知義務制度の意義、告知義務、告知義務違反による解除（生命保険募集人との関係等） 第5回 保険金受取人の指定・変更－第三者のためにする生命保険契約、保険金受取人の指定、生前の意思表示による変更、遺言による変更（相続財産との関係等） 第6回 生命保険契約の終了Ⅰ－保険金受取人の死亡（相続人との関係等）、保険契約者側による解除 第7回 生命保険契約の終了Ⅱ－保険者の免責、重大事由による解除（故意事故招致・保険金詐取行為との関係）等 第8回 復習、事例研究－遺言による保険金受取人の変更に伴う諸問題</p> <p>【学生へのメッセージ】 本講義は受動型ではなく、参加型にします。 8回の講義は、受講者にとって緊張感、充実感、そして達成感を得られるものとなるよう努めますので、受講者の皆さんからもご協力のほどよろしく願います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 授業中、保険法のみでなく、民法など他の法律条文を参考とする場合が多いので、できる限り最新の六法（小型のもので結構です）を持参してください。スマホやノートパソコンのような電子媒体で六法を調べても結構です。その場合、パケット通信量に制限等がある方は、学習センターの無線LANを利用できます。利用方法はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の確認問題への解答、課題への取り組み姿勢、質疑応答への参加等を総合的に判断して行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・保険法 第4版（山下友信・竹濱修・洲崎博史・山本哲生／有斐閣アルマ／¥2,310／ISBN=9784641221291） ・逐条解説保険法（宮島司編著／弘文堂／¥13,200／ISBN=9784335356049）</p> <p>【その他（特記事項）】 端末を持参する場合は、充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。</p>
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	市民生活と保険法	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	60名	
担当講師	リーミン 李 鳴 放送大学教授	
日程実施時間	5月31日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月1日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	長崎学習センター 講義室	

科目コード	2667606	<p>この授業は、国際的な観光産業に特化した英語力の向上を目指す人を対象としています。カスタマーサービス、旅行プランニング、文化交流など、観光に関連する様々な場面でのコミュニケーション能力を高めることに重点を置いています。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 観光英語入門 第2回 カスタマーサービス 第3回 各種予約 第4回 旅行計画と旅程 第5回 文化的感受性とエチケット 第6回 ツアーガイドのスキル 第7回 困難な状況に対処する 第8回 まとめ・振り返り</p> <p>【学生へのメッセージ】 この授業は英語力の向上だけでなく、興味深く楽しい教室環境の中で観光英語を学ぶことを目的としています。英語でのコミュニケーションに自信のない方もお気軽にご参加ください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 授業で学修した内容や演習問題などを活用して復習を行い、理解を深めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況およびレポートの評点によります。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。</p>
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	国際観光英語	
科目区分	基盤科目：外国語	
ナンバリング	120	
定員	60名	
担当講師	ダッツマン ブライアン 長崎大学 言語教育研究センター助教	
日程実施時間	6月7日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月8日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	長崎学習センター 講義室	

科目コード	2667614	<p>家庭教育や学校教育等における教育心理学の基礎的な知識や技術について、「発達」、「学習」、「パーソナリティと適応」、「教育評価」の視点から理解を深めていきます。さらに、発達障害についての理解を深めるとともに、アドラー心理学の観点から教育の問題について考察を深めていきます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 教育心理学とは 第2回 発達 第3回 学習 第4回 パーソナリティと適応 第5回 教育評価 第6回 発達障害の理解と教育 第7回 アドラー心理学と教育 第8回 まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 心理学、教育心理学の基礎的な用語や概念についてわかりやすく解説していきます。自分自身の経験や日常生活と結び付けて考えていきましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 ・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 ・授業で学習した内容や演習問題などを活用して復習を行い、理解を深めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	教育心理学入門	
科目区分	導入科目：心理と教育	
ナンバリング	210	
定員	60名	
担当講師	カク ヒデトシ 加来 秀俊 活水女子大学名誉教授	
日程実施時間	6月7日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月8日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	長崎学習センター 講義室	

科目コード	2667630	<p>口の中（口腔）の状態は全身の状態に大きく影響することが明らかとなってきました。特に歯周病による感染や歯が欠損したまま放置しておくことと全身に大きな問題を引き起こすことがあります。</p> <p>本授業では口腔や歯科治療に関する知識を整理し、口腔環境が全身に及ぼす影響に関して理解し、そうならないための対処を学修します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 口腔について（鵜飼） 第2回 むし歯の治療（鵜飼） 第3回 入れ歯、インプラント治療（黒木） 第4回 咀嚼・嚥下に関して（黒木） 第5回 口腔状態と全身の病気の関連1（鵜飼） 第6回 口腔状態と全身の病気の関連2（鵜飼） 第7回 歯周病治療（鵜飼） 第8回 口腔管理の方法（鵜飼）</p> <p>【学生へのメッセージ】 歯周病とインプラントに関しての予備知識を入れておいてください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断し自己学習をお願いします。特に歯周病とインプラントに関しての自己学習をお願いします。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 筆記用具以外特にありません。</p> <p>【教科書】 教科書は使用しません。</p>
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	全身に影響する 口腔と歯科治療	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	320	
定員	60名	
担当講師	ウカイ タカシ 鵜飼 孝 長崎大病院口腔管理センター教授 クロキ タダフミ 黒木 唯文 長崎大病院口腔管理センター講師	
日程実施時間	6月21日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月22日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	長崎学習センター 講義室	

科目コード	2658666	<p>心理検査の基礎理論を概論的に学ぶとともに、人格検査領域の代表的な心理検査を取り上げ、心理検査とはどのようなものか、その理論的背景を理解した上で基本的な知識を習得し、いくつかの検査を実際に体験的に実習することで実施法と結果の解釈を身に付け、理解を深めることを目的としています。また、その結果を通して、自己理解及び他者理解に役立てることをめざします。</p> <p>受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実習のそれぞれについてレポートの提出が必要になります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 心理検査とは：標準化、信頼性と妥当性、代表的な心理検査 第2回 心理検査の実施：検査倫理、テストバッテリーとレポートの書き方 第3回 心理検査の実習：Big Five尺度（心理測定尺度集） 第4回 心理検査の実習：Y-G性格検査 第5回 心理検査の実習：バウムテスト 実施編 第6回 心理検査の実習：バウムテスト 解釈編 第7回 模擬事例からみる心理検査の活用（WISC等） 第8回 心理検査のまとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 心理検査は、信頼性と妥当性に裏付けられた科学的ツールであり倫理的配慮も求められます。真摯に、誠実な態度で主体的に臨んでいただけることを期待します。</p> <p>【受講前の準備学習等】 ・パソコンを持参してのレポート作成も許可します。パソコンを持参してのレポート作成は、メールでの提出となります。キャンパスメールが使用できるようにしておいてください。なお、パソコンを持参の場合、インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 ・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。 事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。</p> <p>【成績評価の方法】 授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により評価を行います。 特に、レポートの評価については、3つの実習課題（心理検査）ごとに小レポートを課します。その上で、その小レポート3本を踏まえた最終レポートが課されます。合計4つのレポートがそろわないと評価ができません。小レポートは、その実習課題ごとにその場で作成することが求められます。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 ・実習のある回ではHBから2Bの鉛筆が1本あると望ましいです。 ・パソコンを持参してのレポート作成も許可します。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・心理検査の実施の初歩（心理学基礎演習Vol.5）（願興寺礼子・吉住隆弘編／ナカニシヤ出版／¥2,860／ISBN=9784779503870）</p> <p>【その他（特記事項）】 パソコン等を持参する場合は、充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。</p>
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	心理検査法基礎実習	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	<small>ホソノ ヤスフミ</small> 細野 康文 長崎純心大学 人文学部准教授	
日程実施時間	6月21日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月22日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25	
実施会場	長崎学習センター 講義室	

科目コード	2667649	授 業 概 要	<p>細菌は私たちの身の回りにたくさん生存しています。細菌が特にすごいのは、さまざまな環境で生き抜く能力です。細菌は食品を腐らせますが、逆に食品の発酵や保存にも利用されます。また、病原性細菌もありますが、抗菌薬を産生して役立つものもあります。特定の細菌は環境中の汚染物質を分解する能力を持っていることから、それを利用して環境保護や浄化技術の開発にも貢献しています。</p> <p>本講義では細菌の多様な能力を理解し、私たちの生活や健康にもポジティブな影響を与えることを学びます。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 細菌の多様性 第2回 細菌との共生 第3回 バイオフィーム 第4回 新興感染症とパンデミックのリスク 第5回 ヒトと気候変動がもたらした感染症の拡大 第6回 抗菌薬の発見と耐性菌の出現 第7回 細菌のスーパーパワー 第8回 バクテリアアート</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>毎回、冒頭に実施するグループワークの中で、自分の考えを述べるとともに、グループ毎に意見を取りまとめてもらいます。したがって、グループワーク中のインターネットの使用は不可なので、事前準備が必要です。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>各テーマに関する用語などについて”信頼できる”インターネットのサイトなどで調べてください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、グループワークへの参加状況、授業中の学習状況およびレポートの評点によりおこないます。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】</p> <p>筆記用具</p> <p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】</p> <p>グループワークは授業の冒頭で実施します。遅刻すると成績評価に必要なグループワークに参加できなくなるため、時間厳守をお願いします。</p>
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	驚異の バクテリアパワー		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	60名		
担当講師	イシイ ヨシカズ 石井 良和 広島大学 IDEC国際連携機構PHIS特任教授		
日程実施時間	6月28日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 6月29日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2667657	授 業 概 要	<p>依存症は、本人の意志の弱さや性格の問題でなるわけではなく、依存する物質の使用や行為をしたことがあれば誰でもなる可能性があります。ニュースで取り上げられたり、身近に依存の問題を抱えている人がいたりする一方で、依存症に至った背景やその後の回復のプロセスに関しては、あまり知られていません。この科目では、依存症について基礎的な知識を学び、依存症をテーマとした映画を観ることを通して、依存症に至る背景と社会的影響、依存症に対する社会の在り方について考えることを目標としています。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 依存症とは 第2回 依存症に関する映画①視聴 第3回 依存症に関する映画①視聴+ディスカッション 第4回 依存症に関する映画②視聴 第5回 依存症に関する映画②視聴+ディスカッション 第6回 依存症に関する映画③視聴 第7回 依存症に関する映画③視聴+ディスカッション 第8回 まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>本授業で使用する映像には「一部刺激的な場面」が含まれます。映画は依存症（アルコール、薬物、ギャンブル）に関する内容であり、暴力的なシーン等も含まれます。依存症に関連した経験のある方にとっては、映画視聴によって苦痛を感じたり、フラッシュバックを起こす可能性もありますので注意してください。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	42A		
クラスコード	K		
科目名	映画で学ぶ依存症		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	60名		
担当講師	ナガエ マサハル 永江 誠治 長崎大学 生命医科学域(保健学系)准教授		
日程実施時間	7月5日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 7月6日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	長崎学習センター 講義室		

科目コード	2667673	授 業 概 要 <p>憲法の条文は簡潔に書かれているものが多く、条文を読んだだけでは具体的な内容の理解が難しい場合が多くあります。例えば、日本国民に人権は保障されているけれど、日本に長く住んでいる外国人にも人権が保障されるかは条文を読んだだけでは分かりません。そこで今回は、憲法領域において裁判となり、裁判所が出した判断、それに関連する学説も併せて、解説することとしました。憲法の内容をより深く学習することが出来ると思います。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 人権総論 第2回 精神的自由 第3回 経済的自由・人身の自由 第4回 社会権 第5回 選挙権・国務請求権 第6回 国会・内閣 第7回 司法・財政・地方自治 第8回 平和主義・天皇</p> <p>【学生へのメッセージ】 今、憲法を改正するかどうかが社会的に議論されています。憲法を改正すべきか、しない方が良いのか、しっかりと考えるには、正確に憲法の内容を理解していなければ判断出来ません。憲法の勉強を一緒にしてみませんか。初心者でも分かるように解説します。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	憲法判例研究	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	310	
定員	60名	
担当講師	イケヤ カズコ 池谷 和子 長崎大学 人文社会科学域(教育学系)准教授	
日程実施時間	7月5日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 7月6日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	長崎学習センター 講義室	

科目コード	2667711	<p>長崎大学の練習船「長崎丸」に乗船して実施する1泊2日の体験型合宿授業です。長崎大学水産学部の教育機関及び船員の養成機関でもある練習船に、長崎大学学生と共に乗船し、船に関する知識と海洋調査により、現在の環境を調べる手段とその重要性を理解して頂きます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 (船内活動) ガイダンス、練習船の見学 (山脇) 第2回 (室内講義) 安全設備の解説と避難訓練 (森井) 第3回 (航海実習) 操船、機関室見学、船舶運用実務 (森井) 第4回 (室内講義) 船の基礎知識について (森井) 第5回 (観測実習) CTD観測、採水、透明度 (山脇) 第6回 (観測実習) 採泥、プランクトン採集 (山脇) 第7回 (室内講義) 海の生物と環境 (山脇) 第8回 (室内講義) 海洋観測について、2日間のまとめ (森井)</p> <p>【学生へのメッセージ】 全世界の環境が大きく変化してきている現在において、日本人にとって大きく関係している食糧資源となる魚類の生息域の変化も顕著になってきています。海洋の生産の基礎となる海洋プランクトンおよびその環境について学び、さらに産業としての漁業について理解を深めて頂きたいと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 授業で説明する資料を事前に配布します。 長崎丸に搭載されている航海計器・観測機器の名称、使用目的等を事前に理解して下さい。 現在の環境変化による災害等に関する情報収集に努めて下さい。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 野外活動ができる服装と靴でお越しく下さい。レポートがありますので、筆記用具を準備ください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他(特記事項)】 船内の宿泊は2～4名の相部屋です。船内は急傾斜の階段が多いため、階段の昇降に支障のない方に限ります。 船上での実習を実施するため、天候等状況に応じて授業時間割を変更して実施することがあります。 参加費・交通費として授業料とは別に、14,500円程度(※施設維持管理費(10,000円)、食費・クリーニング代(2,000円程度)、交通費(2,500円程度))が必要です。参加費・交通費は当日徴収します。受講できなくなった場合は、必ず事前に長崎学習センターに連絡して下さい。乗船14日前(6月21日)以降にキャンセルの場合は、食費分をいただきます。 ※長崎丸の乗船には、2020年度から「長崎丸共同利用における施設維持管理費」10,000円が必要になりました。(上記14,500円程度に含んでいます) 授業1日目は、午前8時30分までに学習センターに集合後、係留場所(長崎市多以良町)までバスで移動します。なお、詳細は履修登録者へ別途お知らせします。 「学生教育研究災害傷害保険(100円)」および「学生教育研究賠償責任保険(340円)」の両方に加入している者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。学生教育研究災害傷害保険の加入については、面接授業開設科目一覧P.5参照</p>
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	五島灘洋上実習	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	24名	
担当講師	モリイ ヤスヒロ 森井 康宏 長崎大学 総合生産科学域(水産学系)教授 ヤマワキ ノブヒロ 山脇 信博 長崎大学 総合生産科学域(水産学系)准教授	
日程実施時間	7月5日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 7月6日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	長崎大学水産学部附属練習船 長崎丸	

科目コード	2667738	授 業 概 要	ドイツ語初心者、またはゼロから始めたい方のための授業です。発音を練習し、基礎的な文法を習います。現在のドイツ語圏の社会、経済や政治などの問題をテーマとしたリーディングに挑戦します。 【授業テーマ】 第1回 ドイツ語圏の地理 第2回 家族の形 第3回 お金は天下の回り物 第4回 移民と難民 第5回 進展する少子高齢化 第6回 「スイスに死す」 第7回 クリーンエネルギーと持続性の話 第8回 戦争と平和 【学生へのメッセージ】 各テーマの枠内、発音の練習と文法の説明を行います。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、現在のドイツ語圏の事情について情報を収集しておくことに努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
学習センター(コード)	43A		
クラスコード	K		
科目名	現在のドイツ語圏を見る		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	120		
定員	30名		
担当講師	コイケ ウルスラ ヘレナ 小池 ウルスラ ヘレナ 熊本大学 大学教育統括管理運営機構教授		
日程実施時間	4月19日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 4月20日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター 講義室1		

科目コード	2667800	授 業 概 要	明治維新は、19世紀後半の日本社会が経験した巨大な革命です。維新といえば、江戸幕府から明治政府への政権交代のイメージが強いですが、変化はそれだけにとどまらず、すべての人びとを拘束していた身分制は崩れ、大名家の支配単位であった藩は解体し、現代につながる行政権力が生まれました。なぜ、こうした明治維新が当時の日本社会で起ったのでしょうか。また、大きな変化にさらされた人びとは、どのような反応を示したのでしょうか。授業では、熊本大学が所蔵する古文書等紹介しながら、明治維新がもった意味を考えたいと思います。 【授業テーマ】 第1回 明治維新とはなにか 第2回 江戸時代の国家と社会 第3回 なぜ、江戸幕府は倒れたのか？ 第4回 なぜ、藩は解体されたのか？ 第5回 藩が消えた日－熊本藩の場合－ 第6回 なぜ、身分制は解体されたのか？ 第7回 社会の近代化はどのように進められたのか？ 第8回 講義のまとめ 【学生へのメッセージ】 授業は配布資料とパワーポイントを使いながら進めていきます。予習の際には参考書を、復習の際には配布資料に記された参考文献にあたられることをお勧めします。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・武士の時代はどのようにして終わったのか（池田勇太／清水書院／¥1,100／ISBN=9784389501358） ・江戸三百藩の崩壊―版籍奉還と廃藩置県（勝田政治／戎光祥出版／¥1,650／ISBN=9784864033206） ・維新の構想と展開 日本史20（鈴木淳／講談社／¥1,441／ISBN=9784062919203）
学習センター(コード)	43A		
クラスコード	K		
科目名	明治維新論		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	イマムラ ナオキ 今村 直樹 熊本大学 永青文庫研究センター准教授		
日程実施時間	4月19日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 4月20日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター 大講義室		

科目コード	2667770	授 業 概 要	<p>解決志向ブリーフセラピーは、心理療法の一つです。このアプローチの特徴は、クライアントが語る問題の中から、「例外」を見つけ拡大したり、クライアントの視点から目標を作りながら、解決の構築を目指すところにあります。クライアントにとっての解決を描く事により、問題に縛られないより良い未来を実現していきます。活用分野も広く、スクールカウンセリングなどの教育分野や医療、福祉、産業など様々な現場で活用されています。本授業では、解決志向ブリーフセラピーについて、その考え方から事例まで、実習を通して学びます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 解決志向ブリーフセラピー入門 解決構築の概要と枠組み 第2回 解決志向ブリーフセラピーにおける対話と面接、クライアントとの関係性 第3回 リソースとリソース探し 第4回 解決像と有益な質問1—例外とミラクル・クエスチョン— 第5回 解決像と有益な質問2—スケールリング・クエスチョンとコーピング・クエスチョン— 第6回 介入の考え方について—コンプリメントと様々な課題— 第7回 解決志向ブリーフセラピーの事例を通して 第8回 まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 解決志向ブリーフセラピーは、クライアントの持つ問題だけでなく、問題の中にある肯定的な側面に光を当てるアプローチです。授業では、座学以外にも実習やワークを通してこのアプローチの理解を深めたいと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・森・黒沢のワークショップで学ぶ解決志向ブリーフセラピー（森俊夫、黒沢幸子／ほんの森出版／¥1,980／ISBN=9784938874278）</p>
学習センター(コード)	43A		
クラスコード	K		
科目名	解決志向 ブリーフセラピー入門		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	ハングチ マサヒト 橋口 真人 熊本県スクールカウンセラー		
日程実施時間	4月26日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 4月27日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター 大講義室		

科目コード	2667835	授 業 概 要	<p>底知れぬ深淵の海、たぎりたつ熱水噴出域、広大な海の砂漠 - 外洋域、凍てつく氷の海、貧酸素水塊や有害物質の蓄積した海底、人にとっては身近だが水棲生物にとっては過酷な環境である潮間帯・・・様々な極限環境に生息する生き物たち（主に水棲）の多様性や生態について紹介します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 深海Ⅰ（深海の定義と生物の生態） 第2回 深海Ⅱ（熱水噴出域と熱水域固有生物） 第3回 外洋—広大な海の砂漠 第4回 閉鎖性海域と貧酸素水塊 第5回 凍てつく海—北極・南極 第6回 水と陸の狭間—潮だまり、苔など 第7回 寄生vs宿主—性の進化 第8回 水平線の彼方には何が待っているのか？（演者による実際の調査の体験談の紹介）</p> <p>【学生へのメッセージ】 講義では、各テーマに沿ったDVDなどを鑑賞する予定です。場合によっては講義中に生物標本などをお見せします。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 筆記用具とメモ帳を用意してください。なお講義中のスライドなどの撮影はご遠慮ください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 貴重な標本には、こちらが指示しない限り触らないようにお願いします。</p>
学習センター(コード)	43A		
クラスコード	K		
科目名	極限環境と水棲生物		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	シマナガ モトヒロ 嶋 永 元 裕 熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター教授		
日程実施時間	4月26日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 4月27日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター 講義室1		

科目コード	2658569		この授業は自分用パソコン持ち込み方式 (BYOD : Bring Your Own Device) で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他 (特記事項)】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センター(コード)	43A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験 1		
科目区分	専門科目：心理と教育	授 業 概 要	心理学における実験的研究を3つ (ミュラー・リヤーの錯視、ワーキングメモリ、心理尺度) 取り上げます。受講生の皆さんは、それらの実験に、実験者及び参加者として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の仮説設定や、実験の方法、データの整理、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。
ナンバリング	320		【授業テーマ】 第1回 ガイダンス (心理学実験とは) 第2回 実験1 ミュラー・リヤー錯視実験の実施 第3回 実験1 ミュラー・リヤー錯視実験の結果の整理 第4回 レポートのまとめ方 第5回 実験2 ワーキングメモリ実験の実施 第6回 実験2 ワーキングメモリ実験の結果の整理 第7回 実験3 心理尺度実験の実施 第8回 実験3 心理尺度実験の結果の整理
定員	24名		【学生へのメッセージ】 心理学は実証的な方法に基づいて人間の心と行動を研究する科学です。心理学実験を体験することによって、事実と解釈の区別を学ぶとともに、人間の行動についての知識を生み出す過程を学んで頂きたいと思います。
担当講師	テラモト ワタル 寺本 渉 熊本大学大学院 人文社会科学部教授		【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義 (概論、研究法、統計学など) を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論 (24)」、「心理学研究法 (20)」、「心理学統計法 (21)」を視聴してください。
日程実施時間	5月10日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 5月11日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25	【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。	
実施会場	熊本学習センター 大講義室	【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 インターネットに接続できるノートパソコンを持参してください。インターネット接続に関しては「授業前の準備学習等」も参考にしてください。 2. OSの指定 種類は問いません (Windows、macOS、ChromeOS等)。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge (エッジ)、Google Chrome (クローム)、Mozilla Firefox (ファイアーフォックス)、Safari (サファリ) のいずれかが必要です。 ・Wordが必要。 ・Excelが必要。 4. その他 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・電子媒体でレポート提出してもらいます。	
		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。	
		【その他 (特記事項)】 心理学実験1・心理学実験2・心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。	

科目コード	2667789	<p>この授業では、水を介した人と人との関係に焦点をあてて、日本と世界の水の問題を解説します。また、人間社会の側から環境の課題を考える視点についても紹介します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 日本と世界の水の環境問題 第2回 アジア途上国の水問題の諸相 第3回 流域社会の現在 第4回 「上流」社会の課題 第5回 博物館で学ぶ水と人との関係 (1) 第6回 博物館で学ぶ水と人との関係 (2) 第7回 熊本の水から世界の水問題を考える 第8回 水との関係は環境について何を教えるか</p> <p>【学生へのメッセージ】 この授業では、水と人との関係について学びながら、最終的に人にとって環境とは何かを理解する授業です。内容としては、環境社会学の入門となります。</p> <p>【受講前の準備学習等】 余裕があれば、『入門・環境社会学 現代的課題との関わりで』（牧野厚史・藤村美穂・川田美紀、学文社、2024）を眺めてみてください。イメージがつかめるとと思います。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 筆記用具を持参ください。 2日目は徒歩移動を伴いますので、歩きやすい服装、靴、帽子等着用してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 授業はパワーポイントとプリントで進めます。 2日目の授業は、熊本博物館を見学します。 詳細については後日、受講生に案内を送付します。（別途博物館入場料300円が必要です。） この授業は、「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）</p>
学習センター(コード)	43A	
クラスコード	K	
科目名	水の社会学	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	マキノ アツシ 牧野 厚史 熊本大学大学院 人文社会科学部教授	
日程実施時間	5月10日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 5月11日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	熊本学習センター講義室1 および 熊本博物館 (2日目1・2限) (熊本市中央区古京町3-2)	

科目コード	2667797	<p>本授業では、私たちの日常生活に関わる事柄を定めている「民法」という法律について、契約を中心に解説します。具体的には、まず①民法とはどのような法律かという仕組みを概観した上で、②契約の流れ、③誰が契約できるのか、④契約の効果がなくなるのはどのようなときか、ということ学びます。その後、代表的な契約として売買、賃貸借、雇用・請負契約についてそれぞれ学び、契約を通じて私たちが権利と義務を取得する場面について考えます。最後に、消費者問題に関する法律を紹介します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 民法の構造 第2回 契約の成立・終了 第3回 契約の主体 第4回 契約の無効と取消し 第5回 売買契約 第6回 賃貸借契約 第7回 役務提供型契約 第8回 消費者契約法、まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 法律は抽象的に規定されていることから、具体例を挙げて分かりやすく説明します。初めて法律を学ぶ方も遠慮なく受講してください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 民法の条文が確認できるよう、六法をご持参ください→ポケット六法（有斐閣）、デイリー六法（三省堂）、学習六法（日本評論社）など、どの出版社のものでもかまいません。お持ちでない方は、スマートフォンやタブレット等で条文を確認できるように、事前にご準備ください→例：サイト「e-Gov法令検索」</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・契約法入門－を兼ねた民法案内（窪田充見／弘文堂／¥2,530／ISBN=9784335359033） 事前学習の一例として、初めて民法を学ぶ方でも読みやすい参考書です。関心のある方はご一読ください。なお、授業で利用することはないため、購入する必要はありません。</p>
学習センター(コード)	43A	
クラスコード	K	
科目名	契約からみる民法	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	35名	
担当講師	ハマダ エミ 濱田 絵美 熊本大学大学院 人文社会科学部准教授	
日程実施時間	5月17日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 5月18日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	熊本学習センター 大講義室	

科目コード	2667819	授 業 概 要	<p>皆さんの身の周りに、「この問題、何とかならないかな」という社会課題、いろいろありませんか。ニュースでは聞くものの、当事者としてどう動けばいいのかわからない。そういうことが多くないですか。この授業では、持続可能な社会を共創するために、グローバルないし地域の社会課題を自ら発見するとともに、それらを解くべき課題として再設定し、周りを巻き込みながら解決していく考え方への理解を深めるのを目的とし、地域が抱える社会課題を事例に、グループで考え、議論し、人をまとめていくやり方を学んでいただきたいと思います。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 ロジカルシンキングとアートシンキングの考え方と使い方 第2回 少子高齢化問題 概要 第3回 少子高齢化問題 グループワークとディスカッション 第4回 地域経済・社会の持続可能性問題 概要 第5回 地域経済・社会の持続可能性問題 グループワークとディスカッション 第6回 地域の国際化と多文化共生問題 概要 第7回 地域の国際化と多文化共生問題 グループワークとディスカッション 第8回 まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 グループワークのやり方については、安齋勇樹・塩瀬孝行『問いのデザイン』学芸出版社を読んでみることをお勧めします。</p> <p>【受講前の準備学習等】 グループワークの素材として使うので、テレビや新聞、ネットで、自分が気になる社会課題に関する記事を5つ選んできてください。</p> <p>【成績評価の方法】 グループワークとディスカッションへの取り組み状況で評価します。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 筆記具とスマホを持参してください。</p> <p>【教科書】 教科書は使用しません。</p>
学習センター(コード)	43A		
クラスコード	K		
科目名	社会課題解決学入門		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	ミズモト トヨフミ 水元 豊文 熊本大学理事・副学長		
日程実施時間	5月17日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 5月18日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	熊本学習センター 講義室1		

科目コード	2667746	授 業 概 要	<p>がん療養では、さまざまな場面で意思決定を求められます。我が国のがん医療や看護の現状とともに、意思決定の場面を理解し、意思決定を行う上での視点について理解を深めます。そして、がん療養における意思決定支援について検討します。看護や医療の専門知識がなくても、受講生それぞれの立場で学べるように授業を進めていきます。授業は、講義形式を中心に行いますが、授業中に受講者間の意見交換の時間を設け、学習が深まるようにします。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 がん医療やがん治療の動向 第2回 がん療養と意思決定 第3回 若年がん患者の療養における意思決定支援1 第4回 若年がん患者の療養における意思決定支援2 第5回 高齢がん患者の療養における意思決定支援1 第6回 高齢がん患者の療養における意思決定支援2 第7回 がんゲノム医療に関する意思決定支援1 第8回 がんゲノム医療に関する意思決定支援2</p> <p>【学生へのメッセージ】 日本では2人に1人はがんに罹患する時代とされています。自分や、身近な人ががんに罹患した時、一緒に考えていけるよう意思決定支援について学んでみませんか。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	43A		
クラスコード	K		
科目名	がん療養における 意思決定支援		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	ヒグチ ユキ 樋口 有紀 熊本大学大学院 生命科学研究部助教		
日程実施時間	5月24日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 5月25日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	熊本学習センター 大講義室		

科目コード	2667843	授 業 概 要	<p>生命の設計図である遺伝子の化学的本体はDNAです。この面接授業では、DNAを対象とした実験を行い、分子生物学や生命科学への理解を深めます。実験の前半では、自分の口内上皮細胞からDNAを取り出し、マイクロサテライトと呼ばれる個人間で長さが異なるヒトDNAの部分をPCR法で増幅させて、DNAを用いた個人識別が可能か考察します。後半の実験では、遺伝子組換え技術で使われるプラスミドDNAを大腸菌から抽出し、制限酵素切断とアガロースゲル電気泳動を用いた解析を行い、バイオテクノロジーの基礎を学びます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 (講義) ①DNAとは何か ②今回の実験の概要と原理 第2回 (実験) 口内上皮細胞からのDNA抽出 第3回 (実験) PCR法によるマイクロサテライトDNAの増幅実験 第4回 (実験) アクリルアミドゲル電気泳動による増幅DNAの解析 第5回 (実験) 大腸菌からのプラスミドDNA抽出 第6回 (実験) 制限酵素によるプラスミド切断実験 第7回 (実験) アガロースゲル電気泳動による切断産物の解析 第8回 (講義) 実験結果の考察とまとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 生物学実験が全く初めての方でも、原理を含めてわかりやすく指導しますので、安心して受講下さい。休憩時間は、実験の進み具合により適宜取ります。</p> <p>【受講前の準備学習等】 DNAやPCR法などについて、インターネット、高校の生物教科書や基礎的な分子生物学の本で、事前に読んだり、調べておいてください。実験の内容がより良く理解できます。また、授業後には、実験で得られた結果を整理し、理解を深めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 実験を行いますので、動きやすく汚れても良い服装や靴を用意してください。もし白衣やエプロンがあればお持ち下さい。また、手洗い用のタオル、筆記用具、ノートをご持参下さい。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他 (特記事項)】 ※「学生教育研究災害傷害保険」および「学生教育研究賠償責任保険 (付帯賠償Aコース)」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧P.5参照)</p>
学習センター(コード)	43A		
クラスコード	K		
科目名	分子生物学実験： DNAの解析		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	16名		
担当講師	タニ トキオ 谷 時 雄 放送大学 熊本学習センター所長		
日程実施時間	5月24日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 5月25日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	熊本学習センター講義室1および 熊本大学理学部1号館2階生物実習室 (熊本市中央区黒髪2丁目39番1号)		

科目コード	2667851	<p>「小学校は計算」「中学校は文字式・平面図形の論証」「高校は科学を学ぶ基礎科目」と積み重ねてきたと思います。本講義は「数学の面白さ」を伝えるのが目的です。「現代数学とは何か」を理解することが目標です。「大学数学」の見地から数学を学び直し、現代数学の手ほどきをします。講師の専門は「代数」です。「代数的なものの見方」を通して、数学を伝えたいと思います。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 整数・有理数・実数 —0.9999...とは何か、n進数 第2回 集合論入門 —現代集合論に迫る 第3回 合同式と初等整数論 —フェルマーの小定理 第4回 剰余類と中国の剰余定理 —「剰余類」から中国文明の定理へ 第5回 オイラーの多面体定理 —オイラーの業績からプラトン多面体へ 第6回 正多面体群 —正8面体を8色で塗ると何通り？ 中間まとめと質疑応答 第7回 作図と正多角形 —正5・6角形は作図可能だが、正7角形は不可能 第8回 ユークリッドの互除法 —有理化のしくみと連分数 総まとめと質疑応答</p> <p>【学生へのメッセージ】 「数学のファン獲得」が講師の目標です。大学数学の一端に触れて、現代数学の考え方を話します。各講義は、積み重ねでなく、1・2回の読み切りとして組み立てています。質疑応答などを通して、興味を持つ分野を作っていたかとありがたいです。</p> <p>【受講前の準備学習等】 高等学校1、2年生の数学の知識があることが望ましいです。講義は「その場で理解する」ことをモットーにしています。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 筆記用具・ノート</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	43A	
クラスコード	K	
科目名	数学と文化	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	ミヤザキ チカシ 宮崎 誓 前熊本大学教授	
日程実施時間	5月31日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 6月14日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	熊本学習センター 講義室1	

科目コード	2658640	<p>心理学における実験的研究を3つ(ストループ効果、囚人のジレンマ、SD法)取り上げます。受講生の皆さんは、それらの実験に、実験者及び参加者として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の仮説設定や、実験の方法、データ整理、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 心理学研究と統計的分析(1) 第2回 心理学研究と統計的分析(2) 第3回 ストループ効果：実験とデータ整理 第4回 ストループ効果：解説とレポートの書き方の説明 第5回 囚人のジレンマ：実験とデータ整理 第6回 囚人のジレンマ：解説とレポートの書き方の説明 第7回 SD法：実験とデータ整理 第8回 SD法：解説とレポートの書き方の説明</p> <p>【学生へのメッセージ】 期日までにレポートを提出してください。実験は基本的に小グループで行いますので、他の受講生と協力して進めてください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を取得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論(24)」、「心理学研究法(20)」、「心理学統計法(21)」を視聴してください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、定規、電卓(「√」(ルート)のボタンがあるもの(スマートフォンの電卓機能でも可)、パソコンでレポートを作成したい人はノートパソコンとUSBメモリを持参してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他(特記事項)】 心理学実験1・心理学実験2・心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 色識別を要する実験課題があります。</p>
学習センター(コード)	43A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験3	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	ヤスマラ アキラ 安村 明 熊本大学大学院 人文社会科学部准教授	
日程実施時間	6月7日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 6月14日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25	
実施会場	熊本学習センター 大講義室	

科目コード	2667754	授 業 概 要	<p>「食育」はその言葉の認知度が上がってきているものの、捉え方は人それぞれです。本講義では「食育」の基本を学ぶとともに、様々な側面から見た「食育」の現状と課題を整理しつつ、必要とされる「食育」について考えましょう。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 食育とは—食育の基本を食育基本法で確認しましょう— 第2回 家庭における食育—子供を中心に— 第3回 学校および保育所等の食育—給食を中心に— 第4回 地域における食育 第5回 生産者から見た食育 第6回 食文化継承と食育 第7回 食品の安全性と食育 第8回 自分にもできる食育を考える</p> <p>【学生へのメッセージ】 本講座を通して食育の基本を理解していただくことで、自分にもできる食育と一緒に考えていただければと思います。また、具体的な実施例も示しながら食育のヒントもお伝えしたいと思っています。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して指定の教科書を使い自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 ・令和6年版 食育白書（農林水産省編／日経印刷株式会社／¥2,145／ISBN=9784865794199） ※同じ資料は農林水産省のウェブサイトでも入手可能です。電子媒体の方が良い方はそちらをご利用ください。（https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/attach/pdf/r5_wpaper-52.pdf：ウェブサイトでは令和5年版と表記されています。） 冊子体を購入される方は各自、書店・インターネット等で事前に購入してください。入手に時間がかかる場合がありますので、早めの注文をお勧めします。</p>
学習センター(コード)	43A		
クラスコード	K		
科目名	食育の現状について考える		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	310		
定員	20名		
担当講師	トモヨリ ヒロコ 友寄 博子 熊本県立大学 環境共生学部教授		
日程実施時間	6月28日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 7月5日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	熊本学習センター 講義室1		

科目コード	2667827	授 業 概 要	<p>日本のマンガ文化は、戯画や浮世絵・ボンチ絵、諷刺画などを源流とし、海外からの影響を受けながら、戦後の手塚治虫の活躍、月刊・週刊マンガ誌や「少女マンガ」の隆盛、映画やアニメとのコラボなどの歴史を経て、現代日本の文化資源を代表する存在となっています。この授業では、マンガ史におけるさまざまなトピックをとりあげ、マンガ研究の展開についての基本的な内容を把握し、研究史上の方法的特質や研究領域についての理解を深めます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 少女マンガのジャンルとしての自立化（日高） 第2回 ラブコメの台頭と少年マンガへの広がり（日高） 第3回 少年マンガと「巨人の星」—梶原一騎の時代—（鈴木） 第4回 妖怪マンガの系譜—水木しげるの作品世界を中心に—（鈴木） 第5回 マンガが映画になるとき（1）—マンガからアニメーション映画へ—（伊藤） 第6回 マンガが映画になるとき（2）—マンガから実写映画へ—（伊藤） 第7回 手塚治虫とその受容史—「巨人」をどう見るか—（池川） 第8回 マンガ雑誌とマンガ産業のビジネスモデル（池川）</p> <p>【学生へのメッセージ】 授業の中で、自分自身の「マンガ」体験について振り返っていただく機会がありますのでご準備をお願いします。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、関連する用語をインターネット等で調べておくなど、自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 筆記用具をご準備ください。</p> <p>【教科書】 授業当日に補助教材を配付します。</p> <p>【参考書】 ・マンガって何？ マンガでわかるマンガの疑問（京都国際マンガミュージアム／京都精華大学国際マンガ研究センター 監修・編集／青幻舎／¥1,980／ISBN=9784861529504）</p>
学習センター(コード)	43A		
クラスコード	K		
科目名	「マンガ学」入門		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	スズキ ヒロユキ 鈴木 寛之 熊本大学大学院人文社会科学部准教授 ヒダカ トシヤス 日高 利泰 熊本大学大学院人文社会科学部准教授 イトウ ヒロノリ 伊藤 弘了 熊本大学大学院人文社会科学部准教授 イケガワ ヨシヒロ 池川 佳宏 熊本大学大学院人文社会科学部准教授		
日程実施時間	7月5日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 7月6日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	熊本学習センター 大講義室		

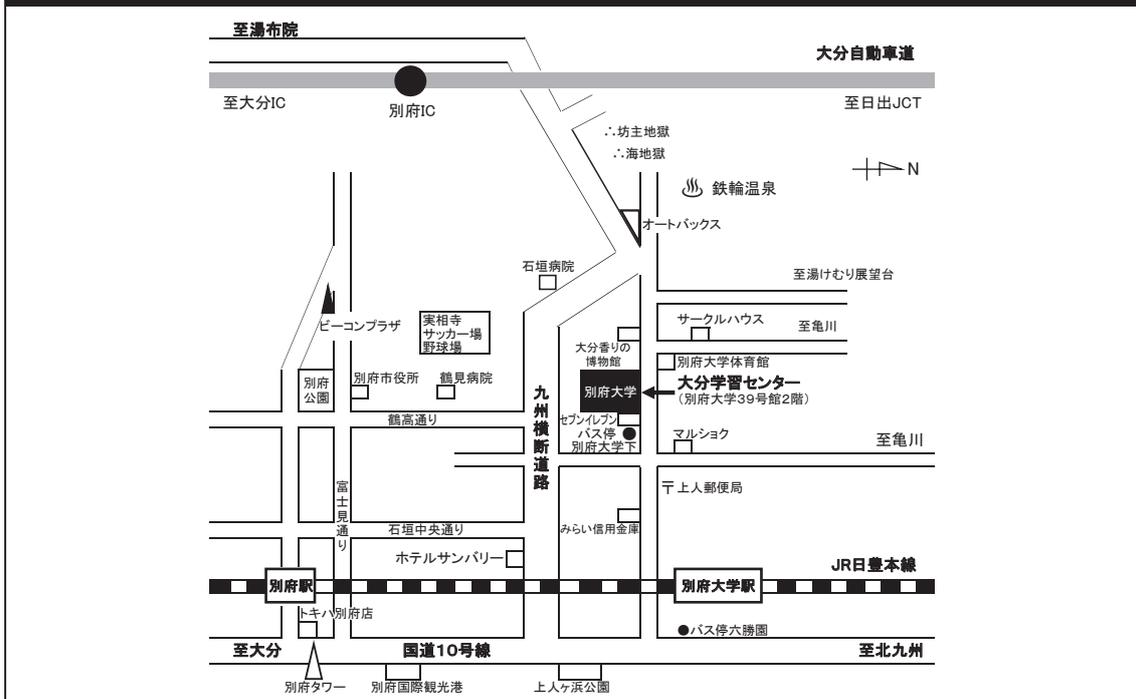
科目コード	2667720	<p>この授業は自分用パソコン持ち込み方式 (BYOD : Bring Your Own Device) で実施します。</p> <p>【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他 (特記事項)】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 もし自分の手でホームページを作成することができて、インターネットを通して公開することができたら、どんなに楽しいことでしょう。 この授業は、ウェブページをこれまで作成したことがないあなたに、ウェブページ作成を基礎から学んでいただくためのものです。授業に沿って実際に手を動かして理解していただきます。あなたの手に情報公開の確かな力がつくでしょう。</p>
学習センター(コード)	43A	
クラスコード	K	
科目名	ウェブページ作成の基礎	
科目区分	基盤科目	
ナンバリング	120	
定員	20名	<p>【授業テーマ】 第1回 HTML「ハイパー・テキスト・マークアップ・ランゲージ」 第2回 画像を表示する 第3回 世界から見える書式のHTMLファイルを作る 第4回 「リンク」を張る 第5回 Googleサイトへログインし、これまでのページをサイトで実現する 第6回 GoogleサイトへYouTubeの動画を埋め込む 第7回 Googleサイトの各種機能を使ってみる、自由作品を作る (1) 第8回 自由作品を作る (2)</p> <p>【学生へのメッセージ】 放送大学のキャンパスメールを使うことができる人を対象としています。</p> <p>【受講前の準備学習等】 放送大学のキャンパスメールにログインし、キャンパスメールが使用できることを確認しておいてください。 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」をご参照ください。 学習センターの無線LANに接続したことがない方、登録していない方は、所定の手続を面接授業の実施前日までにを行う必要があります。システムWAKABAからオンラインで申請できます。 また、授業実施前日までは、接続テストをしておくことを強く推奨します。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び、自由作品として構築したウェブサイトのURL (アドレス) を共有・提出していただき、ウェブサイト上に授業で学んだ要素が含まれているかどうかを確認して評価します。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンとACアダプタ (重要:授業中は、ずっとパソコンを使用します) を持参してください。(タブレット、スマートフォンは不可)。 2. OSの指定 種類は問いません (Windows、macOS、ChromeOS等)。 3. ソフトのインストール ・ブラウザを使用します。種類は問いませんが、Chromeブラウザを推奨しますので、可能な限りインストールしておいてください。 テキストエディタを使用します。種類は問いませんが、ほとんどのOSでは最初からインストールされているものがあり、それで十分です。Windowsの「メモ帳」、macOSの「テキストエディット」、ChromeOSの「Text」が相当します。 4. その他 ・Windows10以上、macOS Ventura以上を対象とします。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他 (特記事項)】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。</p>
担当講師	喜多 敏博 <small>キタ トシヒロ</small> 熊本大学 半導体・デジタル研究教育機構教授	
日程実施時間	7月12日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 7月13日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
授業概要		
実施会場	熊本学習センター 実習室	

科目コード	2667762		みなさん、どんな形であれ「薬」と呼ばれるものを使用したことがあると思います。では、そもそも「薬」とはどのようなものなのでしょうか？この授業では、特に、“こころ”や“からだ”に効く薬について学び、その有用性や危険性の理解を深めます。将来、どのような「薬」が求められるようになるかについて考えましょう。 授業は講義形式で行い、パワーポイントと配布資料を活用します。
学習センター(コード)	43A		
クラスコード	K		
科目名	こころとからだの薬		
科目区分	専門科目：生活と福祉	授	【授業テーマ】
ナンバリング	320		第1回 「薬」とはどのようなものか？ —薬の形、薬の効き方、自律神経系について— 第2回 からだの薬① —循環器系に作用する薬（高血圧、不整脈、狭心症）— 第3回 からだの薬② —代謝系に作用する薬（糖尿病、高脂血症）— 第4回 こころの薬① —こころとは何か？— 第5回 こころの薬② —中枢神経系に作用する薬（うつ、不安、統合失調症）— 第6回 こころの薬③ —中枢神経系に作用する薬（睡眠障害、頭痛、アルツハイマー病）— 第7回 ちょっと変わった薬 —漢方薬、食事、デジタル薬— 第8回 こころの薬④ —中枢神経系に作用する薬（薬物乱用について）—
定員	54名	業	【学生へのメッセージ】
担当講師	クラウチ ユウキ 倉内 祐樹 熊本大学大学院 生命科学部准教授		自分の“からだ”や“こころ”、そして「薬」に少しでも興味のある方を歓迎します。健康に生きることについて、一緒に考えましょう。
日程実施時間	7月12日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 7月13日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	概	【受講前の準備学習等】 シラバス内容から判断して、興味のあるキーワードについて調べるなど、自己学習に努めてください。
実施会場	熊本学習センター 大講義室	要	【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
			【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、筆記用具を持参してください。
			【教科書】 授業当日にプリントを配付します。

大分学習センター

(コード：44A)

大分学習センター案内図 ☎0977-67-1191



【所在地】〒874-8501 別府市北石垣82(別府大学39号館2階)

【交通アクセス】

①JR利用の場合(最寄駅は別府大学駅)

JR日豊本線別府大学駅より徒歩10分

②バス利用の場合(JR日豊本線別府駅から:所要時間20分)

〔東口バス停〕

20 亀の井バス<別府大学経由鉄輪行>「別府大学前」で下車

23 亀の井バス<石垣経由別府医療センター行>「別府大学下」で下車し、徒歩3分

〔西口バス停 2のりば〕

6 亀の井バス<鶴見丘高校経由別府医療センター行>「別府大学下」で下車し、徒歩3分

【その他連絡事項】

【昼食】

昼食は各自でご用意ください。別府大学学生食堂(日曜日休業)、または学習センター近辺のコンビニエンスストア、弁当店等をご利用ください。

【駐車場】

駐車場は駐車台数に限りがありますので、原則公共交通機関をご利用ください。

科目コード	2667894		この授業は自分用パソコン持ち込み方式 (BYOD : Bring Your Own Device) で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他 (特記事項)】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センター(コード)	44A		
クラスコード	K		
科目名	ことばと社会を知るための方言学		
科目区分	導入科目：人間と文化	授 業 概 要	方言とは、「その地域のことば全て」を指します。まず、方言学は言語学の中に位置づけられることを示します。次に、『日本言語地図』と『方言文法全国地図』という言語地図を用いて、ことばの多様性と分布の法則について考えます。最後に、言語を用いて行う言語行動にも地域性があるという、最近の方言談話研究も学びます。
ナンバリング	220		【授業テーマ】 第1回 言語学の中の方言学 第2回 九州方言の中の大分方言 第3回 ツララとタルヒ 第4回 カタツムリとカエル 第5回 飲みキランと飲マレン 第6回 豊後浄瑠璃と吉四六さん 第7回 方言談話の研究1 第8回 方言談話の研究2
定員	20名		【学生へのメッセージ】 方言を考えることは、人間社会を考えることです。多様性とは何かを考えましょう。
担当講師	マツダ ミカ 松田 美香 別府大学文学部 国際言語・文化学科教授		【受講前の準備学習等】 本授業はタブレットやスマートフォン等でも受講できますが、パケット通信量に制限等がある方は、学習センターの無線LANを利用できます。利用方法はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
日程実施時間	4月19日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 4月20日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
実施会場	大分学習センター 教室1		【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 種類は問いません (ただし、ノートパソコンでの受講が望ましい)。 2. OSの指定 種類は問いません (Windows、macOS、ChromeOS等)。 3. ソフトのインストール 特に必要ありません。 4. その他 ソフトのバージョン指定はありません。
			【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
			【参考書】 ・方言の地図帳 (佐藤亮一/小学館/¥1,639/ISBN=9784065166796) 同じ内容で『方言の地図帳』(小学館)があり、そのほうが地図が大きいですが、入手が難しいかもしれません。図書館などで探すと良いと思います。 ・日本語ライブラリー 方言学 (真田信治/朝倉書店/¥3,850/ISBN=9784254515244C3381) ・ものの言いかた西東 (小林隆・澤村美幸/岩波書店/¥990/ISBN=9784004314967) ・新日本言語地図 (大西拓一郎/朝倉書店/¥6,600/ISBN=9784254510515C3081)
			【その他 (特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。 充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためのACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2667924	<p>大分県は県土の7割が森林で覆われており、急峻な山地の影響で土砂災害警戒区域が国内でも6番目に多いです。沿岸部では南海トラフ地震の他、県北の周防灘東部には周防灘断層帯が控えており甚大な被害が想定されています。近年では風水害による洪水や土砂災害が県内で頻発化・甚大化しており、加えて地震や津波などの大規模災害に対する備えも急務です。本講義では、これら大分県の災害の特徴を理解しつつ、被災地の実情や復興など現地学習を通じ、防災や減災の視点にたった社会システム機能の構築について議論します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 自然現象と災害（土砂災害・洪水） 第2回 自然現象と災害（地震・津波） 第3回 近年の災害とその特徴 第4回 防災と減災社会を考える 第5回 現地学習（日田市天ヶ瀬温泉） 第6回 現地学習（日田市天ヶ瀬温泉） 第7回 現地学習（日田市天ヶ瀬温泉） 第8回 現地学習（日田市天ヶ瀬温泉）・まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 本講義は2日間の集中講義で実施します。初日は座学や受講生とのディスカッション。2日目は被災地域（日田市天ヶ瀬温泉）への現地学習を行い、被災当時の様子や地域防災向上の取り組み、そして復興と地域課題について一緒に考えていきます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 ・2日目は現地学習（日田市天ヶ瀬温泉）を行います。バス代などのため、授業料とは別に合計1,500円を授業初日の朝、徴収します。※授業への参加人数に応じて返金することもあります。 ・2日目は各自弁当を持参してください。 ・現地で研修しますので、野外で活動する支度（服装、運動靴等）をしてください。 ・バス移動を伴いますので、酔い止めなどが必要な方は持参してください。また、当日は1～2kmほど歩きます。体力に不安のある方は、科目登録時によくご検討ください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 ・面接授業当日の交通状況等に応じて授業時間が多少前後する場合があります。 ・天候等の理由から、行き先が変更になる可能性があります。予めご了承ください。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P5参照） ・2日目は教室2に集合してください。点呼を取り次第出発します。</p>
学習センター(コード)	44A	
クラスコード	K	
科目名	大分の災害と防災	
科目区分	導入科目：自然と環境	
ナンバリング	220	
定員	25名	
担当講師	ツルナリ ヨシヒサ 鶴成悦久 大分大学 減災・復興デザイン教育研究センター教授	
日程実施時間	4月19日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 4月20日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	大分学習センター教室2及び 日田市天ヶ瀬温泉街(2日目)	

科目コード	2667886	<p>この授業では、大分県の観光について講義します。大分県は「おんせん県」として知られ、別府と湯布院の温泉は世界的に有名で、外国人観光客に人気があります。自然、歴史、気候、食文化など多様な観光資源が揃っていますが、外国人観光客数は全国的に見ると低い状況です。今後の国際観光展開に向けて、有効な活動と改善点を検討し、大分県の観光促進について考察します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 大分県の国際観光について 第2回 大分県の国際観光資源の現地学習：温泉泉源（別府大学内）、黄瀛と草野心平、鲁迅（別府大学内） 第3回 温泉と観光について 第4回 別府における国際観光について 第5回 現地学習（九重“夢”大吊橋） 第6回 現地学習（龍昇院） 第7回 現地学習（NU：KUJU） 第8回 現地学習（NU：KUJU）</p> <p>【学生へのメッセージ】 東京から遠く離れた九州の地方、大分県には、多くの独自で魅力的な観光資源が眠っています。観光学の視点から、大分の観光資源とその魅力を再発見していただければ幸いです。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 ・2日目は九重町（現地学習）へ行きます。バス代、入場料、2日目昼食代（1,300円）として、授業料とは別に4,500円を授業初日の朝徴収しますので、おつりの無いようにご準備ください。※授業への参加人数に応じて返金することもあります。 ・現地で研修しますので、野外で活動する支度（服装、運動靴）をしてください。 ・バス移動を伴いますので、酔い止めなどが必要な方は持参してください。また、当日は2～3kmほど歩きます。体力に不安のある方は、科目登録時によくご検討ください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・観光地理学：観光地域の形成と課題（山村順次／同文館出版／¥2,090／ISBN=9784495379513） ・日中関係史 1972-2012 IV民間（園田茂人／東京大学出版会／¥3,300／ISBN=9784130230674）</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 ・面接授業当日の交通状況等に応じて授業時間が多少前後する場合があります。 ・2日目は教室1に集合してください。点呼を取り次第出発します。 ・2日目の昼食は現地の食堂で一緒に取ります。（2日目の昼食については別途ご案内します。） ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）</p>
学習センター(コード)	44A	
クラスコード	K	
科目名	大分県における国際観光	
科目区分	導入科目：社会と産業	
ナンバリング	220	
定員	25名	
担当講師	スズキ ショウ 鈴木 晶 別府大学 国際経営学部教授	
日程実施時間	4月26日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 4月27日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	第1、3、4回は 大分学習センター教室1、 第2回は別府大学周辺、 第5～8回は九重町	

科目コード	2667983	<p>自然科学の中では微分方程式で記述される現象もあれば差分方程式で記述されるものもあります。しかしながら、差分法はあまり高等学校や大学初年時教育では登場しません。この講義では、微分積分学で登場する基本的な公式から始めます。微分法の公式に対応させながら差分法の公式を学習していきます。差分法の逆演算として和分法を導入していきます。これら知識から差分方程式が解けるようになると、数理モデルへ応用できるようになります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 微分積分の公式 第2回 数列の漸化式 第3回 差分の性質（一般論） 第4回 差分の性質（各論） 第5回 和分の性質（一般論） 第6回 和分の性質（各論） 第7回 差分方程式 第8回 数理モデルへの応用</p> <p>【学生へのメッセージ】 微分法の学習では、まず極限の勉強からしました。微分係数の定義で必要とするからです。差分の定義ではそれを必要としません。できるだけわかりやすく解説をする予定ですので、一緒に勉強いたしましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 筆記用具・ノートなど</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	44A	
クラスコード	K	
科目名	微分積分と差分和分	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	イシザキ カツヤ 石崎 克也 放送大学教授	
日程実施時間	4月26日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 4月27日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	大分学習センター 教室2	

科目コード	2658640		<p>心理学の研究法の1つである実験的方法の考え方や手続きを体験的に学習することを第1の目的とします。第2の目的は、実験を通して心理学レポートの作成方法（問題と目的・方法・結果・考察）を学習することです。授業では、個人で行う実験と、グループを組んで実験者と実験参加者の両方を体験する実験を行います。受講生の皆さんには、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験すべてにレポートを提出していただきます。</p>
学習センター(コード)	44A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験3		
科目区分	専門科目：心理と教育		<p>【授業テーマ】 第1回 講義：心理学実験に関する基礎知識 第2回 講義：実験計画の立て方、実験データの整理の方法 第3回 実験1：鏡映描写（両側性転移） 第4回 レポート執筆指導：実験1のレポート執筆指導 第5回 実験2：SD法 第6回 レポート執筆指導：実験2のレポート執筆指導 第7回 実験3：社会的判断（ヒューリスティック判断） 第8回 レポート執筆指導：実験3のレポート執筆指導</p>
ナンバリング	320		
定員	20名		<p>【学生へのメッセージ】 この授業は、心理学実験の中級編です。3つの実験実習メニューはいずれも実験の組み立て方（実験計画）がわかりやすい構成になっています。</p>
担当講師	アソウ リョウタ 麻生 良太 大分大学教育学部教授		
日程実施時間	5月10日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50	授	<p>【受講前の準備学習等】 ・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。</p>
	5月11日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	大分学習センター 教室1	業 概 要	<p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p>
			<p>【受講者が当日用意するもの】 電卓・時計（できればストップウォッチ機能がついているもの）をご持参ください。 この授業はレポート作成のために自分用パソコン持ち込むことが可能です。パソコンを持ち込む方は次の1～4を確認してください。 1. 持参する端末 レポートが作成できる端末であれば種類は問いません 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等） 3. ソフトのインストール 特別なソフトのインストールは不要です 4. その他 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・メールでレポート等を提出する場合、インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 ・PC上で作成したレポートを紙媒体で提出したい方は、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。 ・充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 ・端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。</p>
			<p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
			<p>【参考書】 ・心理学基礎実験と質問紙法（石原治 編著／培風館／¥1,925／ISBN=9784563057091） ・心理学基礎実習マニュアル（宮谷真人・坂田省吾 代表編集／北大路書房／¥3,080／ISBN=9784762826658） ・心理学実験法・レポートの書き方（西口利文・松浦均編／ナカニシヤ出版／¥2,420／ISBN=9784779502378）</p>
			<p>【その他（特記事項）】 ・心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。</p>

科目コード	2667908		<p>絵本を用いて読み聞かせの基礎を学びながら、一人一人に最適な発声法と表現法を探っていきます。本授業の受講によって、絵本には様々な特徴があることや、楽な発声、声（息）の使い方とともに、基礎的な表現技法を学ぶことができるでしょう。授業の後半には、種類の異なる絵本を素材にして、自分の声にいつそうの磨きをかけていきます。他者の読み聞かせに感想を伝えるなどの相互交流によって、よりよい表現法の追究にも取り組みます。</p>
学習センター(コード)	44A		
クラスコード	K		
科目名	絵本で耕す声の世界		
科目区分	導入科目：人間と文化	授	<p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 1文読みを通して、自分の声を知る 第2回 発音の基礎を学び、声に磨きをかける 第3回 音読の3つの型によって、呼吸を鍛える 第4回 表現技法を学びながらの小括 第5回 穏やかな声が好ましい絵本の読み聞かせ 第6回 勇ましい声が好ましい絵本の読み聞かせ 第7回 絵本の特性に応じた読み聞かせ 第8回 自分の声の魅力を探る</p>
ナンバリング	220		<p>【学生へのメッセージ】</p> <p>声を出すことを中心とした実践的授業になります。「理解して試す」のではなく、「試しながら理解していく」という方法の授業です。</p>
定員	25名	業	<p>【受講前の準備学習等】</p> <p>シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p>
担当講師	<p>ハナサカ アユム 花坂 歩 大分大学教授／絵本専門士</p>		<p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、筆記試験及び試験時間に行う実技テストにより行います。</p>
日程実施時間	<p>5月17日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 5月18日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50</p>	概	<p>【受講者が当日用意するもの】</p> <p>ハンカチと割り箸（発声、発音、口形を矯正するために、軽く噛んだまま声を出していただきます）。</p>
実施会場	大分学習センター 教室2	要	<p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】</p> <p>この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>

科目コード	2658569		この授業は自分用パソコン持ち込み方式 (BYOD : Bring Your Own Device) で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他 (特記事項)】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センター(コード)	44A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験 1	授 業 概 要	本講義では、受講者自身が心理学実験を体験することで、心理学の実験がどのように実施されているのか理解を深めてもらいます。講義の基本的な流れは、実験を体験してもらいます→データ収集を行います→統計解析を実施します→実験結果の解釈をディスカッションします→レポートを作成し提出してもらいます。実験内容は、「ミューラー・リヤー錯視実験」、「ワーキングメモリ実験」、「心理尺度実験」を予定しています。 受講生の皆さんには、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験のすべてにレポートを提出していただきます。
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	ヤジマ ジュンペイ 矢島 潤平 別府大学教授		
日程実施時間	5月17日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 5月18日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50		
実施会場	大分学習センター 教室1		
			【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション、社会的促進の演習を行う 第2回 ミューラー・リヤー錯視実験を行う 第3回 ミューラー・リヤー錯視実験のデータを収集し、統計分析を行う 第4回 レポートの作成方法を学習する 第5回 ワーキングメモリ実験を行う 第6回 実験データを収集し、統計分析する 第7回 心理尺度の実験を行う 第8回 実験の解説及びディスカッションを行う 【学生へのメッセージ】 グループで行う実験もありますので、受講者間でのコミュニケーションを是非とってください。積極的に参加して、心理学実験に触れてください。 【受講前の準備学習等】 ・錯視、記憶、心理尺度について事前に調べておいてください。 ・この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法('21)」を視聴してください。 ・メールでレポート等を提出するために、インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 USB 電卓 (スマホアプリなどの電卓機能のあるものでも可) ストップウォッチ (スマホアプリ可) 1. 持参する端末 レポートが作成できる端末であれば種類は問いません 2. OSの指定 種類は問いません (Windows、macOS、ChromeOS等)。 3. ソフトのインストール ・文章作成ソフト (WordやGoogleドキュメント) が必要です。 ・表計算ソフト (Excel) が必要です。 4. その他 ・ソフトのバージョン指定はありません。 【教科書】 教科書は使用しません。 【その他 (特記事項)】 ・充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 ・心理学実験 1、心理学実験 2、心理学実験 3 は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2667916		この授業は自分用パソコン持ち込み方式 (BYOD : Bring Your Own Device) で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他 (特記事項)】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センター(コード)	44A		
クラスコード	K		
科目名	生成AIの活用		
科目区分	導入科目：情報	わたしたちの生活の様々な場面で、対話型生成AIが活用されるようになってきました。本科目では、生成AIの基本的な仕組みから具体的な活用方法、さらには社会的・倫理的な影響まで、幅広いテーマを扱います。生成AIの活用事例を学びながら、実践的な演習を通じてその効果的な活用法を習得します。また、得た知識やアイデアを共有し、意見交換を行うことで、生成AIの活用アイデアを発展させることを目指します。	
ナンバリング	220		
定員	20名		
担当講師	スズキ ユウセイ 鈴木 雄清 大分大学准教授		
日程実施時間	5月24日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 5月25日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50	授 業 概 要	【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション、対話型生成AIを使ってみる 第2回 生成AI技術・大規模言語モデルの仕組み、生成AIの倫理的・社会的影響 第3回 対話型生成AIの活用例と演習 第4回 対話型生成AIの社会・企業等での応用事例 第5回 画像・動画・音楽・音声の生成AI 第6回 生成AIの学習への活用 第7回 生成AI活用アイデアの検討・情報交換 第8回 総まとめ
実施会場	大分学習センター 教室1		【学生へのメッセージ】 Google Workspaceを利用します。キーボードで日本語の文字入力やパソコンの基本操作ができることと、キャンパスメール (Gmail) を使うことができることを前提条件とします。
			【受講前の準備学習等】 ・システムWAKABAやキャンパスメール (Gmail) にログインするための、ユーザIDとパスワードを確認しておいてください。 ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 ・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
			【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
			【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 インターネットに接続可能なノートパソコンと、スマートフォンの両方をご持参ください。 2. OSの指定 Windows 11を前提とします。 3. ソフトのインストール Chromeブラウザを前提とします。 配布資料の一部はPDFで提供しますので、Acrobat Readerをインストールしておいてください。 文書作成ソフトが必要です。WordまたはGoogleドキュメントを使用します。 4. その他 Windows 10以上を対象とします。
			【教科書】 授業当日に補助教材を配付します。
			【参考書】 ・ChatGPTの頭の中 (ウルフラム、スティーヴン (著)/稲葉通将 (監訳) /早川書房/¥1,012/ISBN=9784153400092) ・ジェネレーティブAIの衝撃 (馬淵邦美/日経BP/¥2,420/ISBN=9784296202683)
			【その他 (特記事項)】 この科目は2009~2015年度「共通科目」に該当します。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2667940	授 業 概 要	<p>本授業は、不正確な情報が溢れる「脳」について、その故障である精神疾患や認知症も含め、正しく理解していただくことをめざします。まず、脳独特の情報処理について、特に機械（コンピュータ）との違いに焦点を当て解説します。また情報処理の例として視覚と記憶を取り上げ、研究の現状を紹介し、様々な脳の迷信についても解説します。次に、自閉症、神経症、うつ病、統合失調症、認知症など、脳の病気が障がいについて、それらの原因と治療に関する最新の知見を紹介し、さらに脳の驚異的な回復力についても実例と共に解説します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 脳の構造と情報処理の特性－機械とどう違うのか 第2回 視覚の形成と適応力－脳はどのように視覚を作り出すのか 第3回 記憶の実態と個性－記憶はどこで作られなぜ変化するのか 第4回 脳の迷信とは何か（質疑応答を含む） 第5回 脳の故障1－自閉症、強迫神経症、うつ病 第6回 脳の故障2－統合失調症、認知症 第7回 脳の回復力－精神疾患や脳損傷からの復活 第8回 全体の質疑応答</p> <p>【学生へのメッセージ】 脳に関する予備知識は必須ではありません。文系・理系も関係ありません。基本用語の説明も含め、様々な動画も多用しながら、できるだけわかりやすく解説します。積極的な質問を歓迎します。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 筆記用具</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・まちがえる脳（櫻井芳雄／岩波書店／¥1,034／ISBN=9784004319726） 2023年に出版した岩波新書です。事前に読んでおくと、授業の内容がより理解しやすいと思います。（必須ではありません）</p> <p>【その他（特記事項）】 一方向のみの授業にならないように、出来るだけ質疑応答の時間を設けます。日頃疑問に思っていることを質問してもかまいません。</p>
学習センター(コード)	44A		
クラスコード	K		
科目名	脳の働き方と故障		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	サクライ ヨシオ 櫻井 芳雄 京都大学名誉教授		
日程実施時間	5月24日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 5月25日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	大分学習センター 教室2		

科目コード	2667878	授 業 概 要	<p>この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。</p> <p>【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。</p> <p>皆さんのイメージする看護職や看護とはどのようなものでしょうか。様々な健康問題や生活の質を高めるために看護はどのようなことをしているのか、疾病や傷害に対する一次予防や備えを中心に学びます。また、ライフステージごとの健康問題や福祉に関する課題を理解し「看護の役割」について学ぶ機会とします。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 「健康」「質の高い生活」と「看護」について 第2回 病気を予防して健康寿命を延ばそう 第3回 こころと体の状態を知り予防する 第4回 こころの健康を守る 第5回 ライフステージにおける健康課題と看護：子どもたちの健康と生活の問題 第6回 ライフステージにおける健康課題と看護：労働者の健康問題 第7回 看護から発信する災害への備えーどこまでできれば「備えあれば患いなし」といえるのか？ 第8回 看護から発信する災害への備えー備えあれば患いなしー</p> <p>【受講前の準備学習等】 ・レポート作成のため調べ学習が必要な場合、インターネットの使用を認めます。そのため、インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LANを利用する方は、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 ・授業で学修した内容や関心が深まったテーマについてインターネットなどを活用して調べ、自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。なお、レポートのテーマは、『講義を通しての学び～○○～』とします。○○は、サブテーマです。特に関心をもった内容について、ご自身でサブテーマを決め記述してください。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 種類は問いません（ノートパソコン、タブレット、スマートフォン）。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等）。 3. ソフトのインストール ブラウザを使用しますが種類は問いませんので、特別なソフトのインストールは不要です。 4. その他 ソフトのバージョン指定はありません。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。</p>
学習センター(コード)	44A		
クラスコード	K		
科目名	健康と生活を 支える看護		
科目区分	導入科目：生活と福祉		
ナンバリング	220		
定員	20名		
担当講師	アンドウ タカコ 安藤 敬子 大分大学講師		
日程実施時間	6月14日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 6月15日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50		
実施会場	大分学習センター 教室1		

科目コード	2667959	<p>私たちの健康を維持・増進するためにバランスの良い食生活や適度の運動及び休養が必要です。では、毎日の食事で栄養素とは何なのか。なぜ食べているのか。何を食べる必要があるのか。このような疑問を基礎から身近な食べ物を例にしながら学んでいきます。運動することと栄養はどのように関わっているのかを理解することで、自分の健康管理に役立つと思います。楽しい会話をしながら学びましょう。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 食事を摂ることの意味を考えよう 第2回 栄養素の種類と働きを知ろう 第3回 糖質の役割がわかると食事が変わる 第4回 たんぱく質は何に効くか 第5回 脂質は邪魔者なのか 第6回 ビタミンの仕事と性質を考えよう 第7回 ミネラルは明日のあなたを左右する 第8回 食物繊維は必要なのか</p> <p>【学生へのメッセージ】 毎日三度の食事はしっかり摂っていますか？なぜ毎日決まった時間に食事を摂るのでしょうか？私たちの生きるために必要な栄養素の役割を知ること、今日からの食事が楽しくなりますよ！受講日の朝食は必ず摂ってきてください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 受講前三日間の食べたもの、時間を全て記録を取ってきてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 教科書は使用しません。</p>
学習センター(コード)	44A	
クラスコード	K	
科目名	身近な栄養学	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	マキ マサオ 牧 昌 生 別府溝部学園短期大学 教授・農学博士	
日程実施時間	6月14日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 6月15日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	大分学習センター 教室2	

科目コード	2667932	<p>持続可能でよりよい社会の実現を目指して全世界で進められているSDGs (Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)には、貧困問題、ジェンダー問題、平和など世界共通の解決すべき問題(目標)が17挙げられています。本授業では、その中の生物多様性の保全に関わる内容に焦点を絞って説明します。また、生物多様性の仕組みやめぐみ、またそれを持続的に保全・利用していくための戦略を科学的、経済的、社会的観点から学んでいただきます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 SDGsにおける生物多様性 第2回 生物多様性とは？～種の多様性～ 第3回 生物多様性とは？～遺伝子の多様性と生態系の多様性～ 第4回 身近な生物多様性の野外観察と実験 第5回 生物多様性の価値～生態系サービス～ 第6回 生物多様性を危機に追い詰めている要因 第7回 生物多様性の保全に向けた世界の動向 第8回 生物多様性戦略とSDGs</p> <p>【学生へのメッセージ】 「SDGs」はよく聞く言葉になってきましたが、それに含まれる「生物多様性」(の保全)は、聞き慣れない言葉かもしれません。しかし、生物多様性は私たちの生活にはなくてはならない存在であります。生物多様性の理解から、SDGsへの理解を深め、また、身近な自然への興味関心を高めていただければと思っています。</p> <p>【受講前の準備学習等】 身近な自然や生き物に関心をもって観察してください。 新聞等で環境問題に関する記事に目を通してください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 外を散策できる服装(運動靴、長袖、長ズボン)</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他(特記事項)】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(開設科目一覧P.5参照)</p>
学習センター(コード)	44A	
クラスコード	K	
科目名	SDGsにおける 生物多様性戦略	
科目区分	導入科目：自然と環境	
ナンバリング	220	
定員	30名	
担当講師	ナガノ マサヒロ 永野 昌博 大分大学准教授	
日程実施時間	6月21日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 6月22日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	
実施会場	大分学習センター教室2及び 別府大学周辺	

科目コード	2667967	授 業 概 要	<p>日本の伝統医学である東洋医学の概略を学び、現代の鍼灸と漢方の成り立ちについて紹介します。また東洋医学を理解するために必要な思想と歴史についても解説します。</p> <p>「はり・きゅう」の古代から現代までの変遷、材料と使い方などを理解し、実技授業では簡易的な鍼法・灸法を体験・練習します。また実際の鍼灸治療を解説を交えながら行います。</p> <p>食養生の授業では、東洋医学の考えをベースに季節や体質にあわせた食材について学び、毎日の食事に活かすことで体の調子を整え、健康的な食生活を送れるようになります。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 東洋医学概論1（概説・歴史・陰陽五行説）[木場]</p> <p>第2回 「はり」と「きゅう」について [市橋、杉若]</p> <p>第3回 東洋医学概論2（五臓六腑・気血・病因）[木場]</p> <p>第4回 はり・きゅう実技（本物の鍼と艾を使用し刺鍼と施灸の練習）[杉若・木場]</p> <p>第5回 東洋医学概論3（経絡と経穴〔ツボ〕について）[杉若]</p> <p>第6回 東洋医学と食養生（東洋医学の考えに基づいた食事、季節と体調にあわせた食材の紹介）[市橋]</p> <p>第7回 鍼灸治療の実際（模擬治療から東洋医学的な診察・治療法・予防法を学ぶ）[木場・杉若]</p> <p>第8回 オイルマッサージ（家庭でできるツボ療法）[市橋]</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>日本是世界一病人が多い国と言われています。東洋医学を学ぶことで自分の身体を知り、病気の一步手前で立ち止まることができます。この機会に東洋医学的な身体診察・治療法・予防法・食養生を学んでください。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>東洋医学と西洋医学を比較し、両者の特徴と違いを考えてください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】</p> <p>2日目の第8回はマッサージオイルを使用しますので、汚れても良い服でお願いします。また手を拭くタオルを持参してください。</p> <p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験問題は、当日講義した内容から出題します。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（開設科目一覧P.5参照）
学習センター(コード)	44A		
クラスコード	K		
科目名	東洋医学・ 鍼灸と食養生		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	スギワカ コウキ 杉若 晃紀 大分医学技術専門学校鍼灸師科専任教員学科長 コバ ヨシト 木場 由衣登 大分医学技術専門学校鍼灸師科専任教員 イチハシ カスミ 市橋 香澄 大分医学技術専門学校鍼灸師科専任教員		
日程実施時間	6月21日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 6月22日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50		
実施会場	大分学習センター 教室1		

科目コード	2667860	授 業 概 要	<p>この授業の目的は、英語での基本的なスキルを向上させ、英語の勉強を楽しむことです。授業では、実践で役立つ様々な練習を取り入れて、学生間の交流を促していきます。毎回、すべてのクラスの学生が積極的に参加して下さることを期待しています。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 Welcome to Vancouver [be動詞]、Ryo Loves San Francisco [一般動詞の現在形]</p> <p>第2回 A British City in Canada? [代名詞]、L.A. Style [現在進行形・過去進行形]</p> <p>第3回 The Canadian Rockies [時と場所を表す前置詞]、The Grand Canyon [可算名詞・不可算名詞]</p> <p>第4回 T.O.— Toronto, Ontario [一般動詞の過去形]、Big Texas [疑問詞]</p> <p>第5回 Ottawa — The Capital [接続詞and / or / but / so]、Funky New Orleans [動名詞・不定詞]</p> <p>第6回 Charming Quebec City [未来形]、Florida Sunshine [現在完了形]</p> <p>第7回 A Taste of P.E.I. [比較級・最上級]、N.Y.C. — The Big Apple [助動詞]</p> <p>第8回 Niagara Falls [受動態]</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>Let's have fun practicing English!</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】</p> <p>教科書、英和辞典（電子辞書・冊子）や翻訳ソフト（パソコン・スマホアプリ）</p> <p>【教科書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・English Missions! Starter (Robert Hickling、白倉美里/金星堂/¥2,090/ISBN=9784764740709) ネット通販（株式会社金星堂HP、Amazon等）で入手可能です。 <p>【その他（特記事項）】</p> <p>この科目は2009~2015年度「共通科目：外国語」に該当します。</p>
学習センター(コード)	44A		
クラスコード	K		
科目名	基礎英語学習ワークショップ		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	120		
定員	20名		
担当講師	シャリー ジェラルド Shirley Gerald 大分県立看護科学大学名誉教授		
日程実施時間	6月28日(土) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:50 6月29日(日) 第1時限 9:45~11:15 第2時限 11:25~12:55 第3時限 13:40~15:10 第4時限 15:20~16:05 試験・レポート等 16:05~16:50		
実施会場	大分学習センター 教室1		

科目コード	2667975		<p>認知行動療法とは、考え方や行動のクセに働きかけ、その人がより楽に生きられることを支援する心理療法の一種です。様々な症状に対してその有効性が示されています。本授業では、認知行動療法を実際に使用してみて、有効性や活用法を学んでいくことを目的とします。基礎的な部分を扱うため、すでに学ばれている方、現場で活用されている方ではなく、初めて触れるという方の受講をお勧めします。</p>
学習センター(コード)	44A		
クラスコード	K		
科目名	認知行動療法入門		
科目区分	専門科目：心理と教育	授	<p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 認知行動療法の理論的枠組み 第2回 問題行動の図式化1：図式化を理解する 第3回 問題行動の図式化2：図式化を実践する 第4回 認知的アプローチ：認知再構成法1 第5回 認知的アプローチ：認知再構成法2 第6回 行動的アプローチ1：曝露法 第7回 行動的アプローチ2：アサーショントレーニング 第8回 振り返り</p>
ナンバリング	320		<p>【学生へのメッセージ】</p> <p>授業は認知行動療法の理解を目的としているため、授業による治療的効果を期待しないでください。自身の考えや行動を振り返る機会になります。そのため精神的に動揺する可能性のある方は受講をご遠慮ください。個人ワークとグループワークを多く取り入れます。積極的な参加をお願いいたします。</p>
定員	30名	業	<p>【受講前の準備学習等】</p> <p>シラバスから判断して自己学習に努めてください。</p>
担当講師	カワサキ リュウ 川崎 隆 別府大学准教授		<p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p>
日程実施時間	6月28日(土) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:50 6月29日(日) 第1時限 9:45～11:15 第2時限 11:25～12:55 第3時限 13:40～15:10 第4時限 15:20～16:05 試験・レポート等 16:05～16:50	概	<p>【教科書】</p> <p>教科書は使用しません。</p>
実施会場	大分学習センター 教室2	要	

宮崎学習センター

(コード : 45A)

宮崎学習センター案内図

☎0982-53-1893



【所在地】〒883-8510 日向市本町11番11号(日向市役所隣)

【交通アクセス】

- (1) JR日豊線 日向市駅下車 徒歩7分
- (2) 宮崎交通バス(延岡線・宇納間線)「商工会館通りバス停」下車 徒歩3分
- (3) 駐車場 日向市役所駐車場をご利用ください

【その他連絡事項】

- ・宿泊施設 宮崎学習センターにご相談ください。

科目コード	2667991	授 業 概 要	<p>大学で必要となる論理的な文章の読み書きの手ほどきを目的とします。他人の論理的な文章を批判的に読み、みずから論理的な文章を書くために必要な技法について講義します。最終的には500字程度のミニレポートを書く能力を身につけるのが目標になります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 論理的思考とは何か1 第2回 論理的思考とは何か2 第3回 論証とは何か1 第4回 論証とは何か2 第5回 論証文を読む 第6回 論証文を書く 第7回 論証型レポートの基本 第8回 論証型ミニレポートの作成方法</p> <p>【学生へのメッセージ】 講義中にワークを行う機会がありますので、心しておいてください。事前に授業で使用 する資料を配付しますので、一読しておくことが望ましいです。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容を もとにして復習を行い、理解を深めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 筆記用具、日本語辞典（電子辞書可）</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・思考の教室（戸田山和久／NHK出版／¥1,980／ISBN=9784140818336） この講義はこの書籍の一部に沿って進みます。購入する必要はありません。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。</p>
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	論理的な 読み書きの技法		
科目区分	基盤科目		
ナンバリング	110		
定員	30名		
担当講師	カシワバ タケヒデ 柏葉 武秀 宮崎大学教育学部教授		
日程実施時間	4月19日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 4月20日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	宮崎サザンピューテイ 専門学校501号室 (宮崎市老松2-1-17)		

科目コード	2668068	授 業 概 要	<p>この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。</p> <p>【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。</p> <p>本授業では、デジタルメディアや情報通信技術（ICT）といった技術の活用・普及が、社会にどの ような影響を及ぼしているのか、また、反対に、社会や文化が、デジタルメディアの活用・発展に どのような影響を及ぼしているのか、について考えていきます。また、実際にインターネット上で 無料で提供されているツールを試用して、インターネット活用の可能性を体験していただきます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 メディアの変遷とインターネット 第2回 モバイルメディア 第3回 ソーシャルメディア 第4回 ジオメディア 第5回 デジタルエコノミー 第6回 オンライン学習 第7回 デジタルメディアとプライバシー 第8回 人工知能（AI）とビッグデータ</p> <p>【学生へのメッセージ】 この授業では、ディスカッションや実習を通して、学生の皆さんに積極的に参加していただき たいと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システム WAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも 適切に更新してください。 放送大学システムWAKABAに、少なくとも1度はログインしてみてください。また、放送大学の メール（Gmail）をチェックしてください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとに して復習を行い、理解を深めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。レポート課題では、授業で 扱ったトピックについて、今後自分なりにどう向き合っていくのかを最後にまとめてもらいます。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコン又はタブレットを持参してください（スマートフォンのみは不可）。タブレッ トの場合、キーボードが別にあると良いです。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール Google Chromeを使用します。 4. その他 ・放送大学のシステムにログインするためのパスワード ・Google Chromeの最新版を入手してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためのACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決す る必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情 で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。</p>
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	デジタルメディアと 社会		
科目区分	専門科目：情報		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	アオキ クミコ 青木 久美子 放送大学教養学部教授		
日程実施時間	5月10日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 5月11日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室		

科目コード	2668033	<p>17世紀から18世紀にかけてのフランスのバロックとロココの美術史をテーマとします。まず、17世紀のバロック様式と絶対王政下の美術政策を取り上げ、古典主義美術と教育制度がいかにして確立されていったかを解説します。この時期にフランスはヨーロッパの大国となり、文化においても中心地となって周辺諸国に影響力を誇るようになります。18世紀になって社会の変化にともなって美術趣味も変容してゆき、華麗で軽快なロココ美術が展開してゆくさまを学びます。</p> <p>各回、スライド画像を用いて代表的な作品と芸術家、あるいは社会・文化的背景をとりあげて解説します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 バロックとは 第2回 ニコラ・プッサンと古典主義 第3回 ルイ14世統治下の美術政策とアカデミー 第4回 ロココとは 第5回 ジャン＝アントワヌ・ヴァトーと雅宴画 第6回 フランソワ・ブーシェとオノレ・フラゴナール 第7回 ジャン＝シメオン・シャルダンの静物画と風俗画 第8回 18世紀フランス文化—サロンをめぐる</p> <p>【学生へのメッセージ】 美術作品は、感性だけをたよりにすれば楽しめると思われるかも知れませんが、西洋の神話や宗教、歴史、生活習慣、また図像学の基礎知識を身につけることで、より良く作品を鑑賞できるようになり、西洋の文化的背景への理解も深まるでしょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 事前に、西洋美術史の概説書（ここに挙げた参考書をはじめ、概略的なもので良い）を読み、17世紀から18世紀までの大まかな美術史の流れを理解しておくことが望ましいです。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 筆記用具、ノート（講義中は、講師が説明した内容を、自分なりにノートにまとめましょう）。</p> <p>【教科書】 教科書は使用しません。</p> <p>【参考書】 ・増補新装カラー版西洋美術史（高階秀爾（監修）／美術出版社／¥2,090／ISBN=4568400643） ・フランス近世の美術（大野芳材／国立印刷局／ISBN=4172112102） 現在在庫切れのため、古書をご入手いただくか、図書館等にて参照が可能です。 ・西洋美術の歴史 17-18世紀：バロックからロココへ、華麗なる展開（大野芳材ほか／中央公論新社／¥4,180／ISBN=4124035969）</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター(コード)	45A	
クラスコード	K	
科目名	西洋近世美術史入門	
科目区分	導入科目：人間と文化	
ナンバリング	220	
定員	30名	
担当講師	フナオカ ミホコ 船岡 美穂子 放送大学教養学部准教授	
日程実施時間	5月17日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 5月18日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室	

科目コード	2668076	<p>宮崎大学の臨海教育研究施設に1泊し、様々な方法で海の生物を採集し、その多様性を知ること、神秘的なウニの発生現象や魚類の内部器官について学ぶ宿舎形式の授業です。海の生物を自らの手で採集し、自らの目で観察することの重要性和楽しさを実際に学ぶ授業です。その様な学びを通じ、海洋環境と生物との関わりを理解し、海洋生態系と人間、食資源との関わりについて理解を深めます。海の生物の面白さをじっくり味わいましょう。実物に勝るものなしです。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 動物の系統進化と多様性（講義） 第2回 ウニの発生実験、ウニの発生観察 第3回 実習船によるプランクトン採集と観察 第4回 魚類の解剖と内部器官の観察 第5回 潮間帯にける動物の生態、無脊椎動物の不思議（講義） 第6回 磯での海洋生物の採集 第7回 採集生物の同定と観察① 第8回 採集生物の同定と観察②、まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 実習を主体とする2日間の授業を通じ、仲間と協力し、たくさんの海洋生物を集め、自身の目でじっくり観察し、楽しく学びましょう。特別な予備知識はいりません。海の生き物に興味を持った、大好きになれたと実感できる授業としたいです。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラパスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業の一部に磯採集を含みます。長袖シャツ・長ズボン、履き古した靴下、日除け帽子（または日除けタオル）、濡れてもよい運動靴またはマリンスーツや長靴など、野外観察と採集ができる服装を準備してください。磯での野外観察では、できるだけ素肌を露出させない工夫が必要です。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・海に暮らす無脊椎動物のふしぎ（中野理枝 著、広瀬裕一 監修／ソフトバンククリエイティブ／¥1,047／ISBN=9784797363005）</p> <p>【その他（特記事項）】 ・延岡フィールドでの宿泊は2～4名の相部屋です。原則、延岡フィールドに宿泊して授業に参加をしていただきたいですが、宿泊を希望しない方は通いでのご参加もできますので、宮崎学習センターに問い合わせてください。また、感染症等の状況により、延岡フィールドに宿泊できない場合も想定されます。その場合、施設近隣のホテル等をご自身で予約し、延岡フィールドに通学していただくことも想定されます。あらかじめ、ご了解ください。 ・延岡フィールドに宿泊した場合、授業料とは別に、参加費として5000円程度（食費、布団レンタル代、宿泊料、雑費、活魚購入費等）が必要です。参加費は当日現金で徴収します。 ・受講できなかった場合は、事前に宮崎学習センターに連絡してください。 ・天候が許せば実習船（定員25名乗り）によるプランクトン採集を行います。この場合、実習船利用料として、500円程度を徴収いたします。 ・野外での活動、磯採集のできる服装を持参してください。後日、野外での活動時の注意事項などをまとめたガイダンス資料を、案内文と共に配付いたします。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）</p>
学習センター(コード)	45A	
クラスコード	K	
科目名	海洋生物学実習2	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	25名	
担当講師	ウチダ カツヒサ 内田 勝久 宮崎大学農学部教授	
日程実施時間	5月24日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 5月25日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	宮崎大学農学部 フィールド科学教育研究センター・ 延岡フィールド(水産実験所) (延岡市赤水町376-6)	

科目コード	2668041	<p>成人になってからの学習は、変化する未来への対応であり、自分の成長に対する前向きな働きかけです。学習活動は、人生設計に常に付随し、自分の人生を意味づける行為とされています。授業では、代表的な成人学習理論を紹介し、それぞれの人生の軌跡や現在の生活の中で生じた自らの課題や経験を振り返ることで、成人が学習する意義をみなさんと一緒に考えてみたいと思います。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 成人の学習ニーズ 第2回 アンドラゴジー 第3回 自己決定（自己主導型）学習 第4回 変容的学習 第5回 ナラティブ学習 第6回 経験学習 第7回 身体化された学習 第8回 成人学習理論の総括</p> <p>【学生へのメッセージ】 学びへの関心、動機、意欲のある方の受講をお待ちしております。みなさんのこれまでの人生経験が学習のリソースです。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 「懐かしい街」のテーマで写真などを使って話をさせていただきます。テーマに沿った写真、雑誌記事等を事前にご用意いただき、「第5回ナラティブ学習」の当日にご持参ください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・成人の発達と学習（岩崎久美子／放送大学教育振興会／¥3,410／ISBN=9784595141171） 改訂版が2025年4月に出版されるため、定価等が変動する可能性があります。</p>
学習センター(コード)	45A	
クラスコード	K	
科目名	成人学習理論を学ぶ	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	イワサキ クミコ 岩崎 久美子 放送大学教養学部教授	
日程実施時間	5月31日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 6月1日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	宮崎サザンビューティ 専門学校501号室 (宮崎市老松2-1-17)	

科目コード	2668017	<p>糖尿病、高血圧、脂質異常症等の生活習慣病の予防、低体力者や高齢者の介護予防など、健康志向の運動が地域で活発に行われています。しかし、運動により健康障害を引き起こすこともあるため、運動実践においては基本的な知識と技術が必要となります。本講義では、健康について考えながら自身の健康状態や体力を知り、その上で自身に適した運動の種類や方法を理解できるように、健康運動に関する講義と実技を行います。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 健康について考える。わが国の健康づくり施策の変遷（担当：吉永） 第2回 体力について考える。体力測定項目と目的（担当：吉永） 第3回 身体活動のためのエネルギー産生のしくみ（担当：吉永） 第4回 運動とエネルギー消費（担当：吉永） 第5回 体力の測定と評価（担当：畠山） 第6回 目的別運動の選択と評価の視点（担当：畠山） 第7回 健康づくり運動の実践法①（担当：吉永） 第8回 健康づくり運動の実践法②（担当：吉永）</p> <p>【学生へのメッセージ】 皆さん、小・中・高等学校で体力テストを行ったことがあると思います。過去と現在の自分の体力比べをしてみませんか。現状を知り、健康づくりの運動と一緒に実践しましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 体力測定・運動を行いますので、運動できる服装でお越しください。シューズは室内用の運動靴をご準備ください。また、水分補給のための飲み物を持参してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：保健体育」に該当します。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）</p>
学習センター(コード)	45A	
クラスコード	K	
科目名	健康志向の 運動実践2	
科目区分	基盤科目：保健体育	
ナンバリング	110	
定員	20名	
担当講師	ヨシナガ サオリ 吉永 砂織 宮崎大学医学部准教授 ハタケヤマ ヨシアキ 畠山 芳彰 宮崎大学医学部助教	
日程実施時間	6月7日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 6月8日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	宮崎大学清武キャンパス 総合教育研究棟 (宮崎市清武町木原5200番地)	

科目コード	2658615		この授業は自分用パソコン持ち込み方式 (BYOD : Bring Your Own Device) で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他 (特記事項)】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験2		
科目区分	専門科目：心理と教育	授 業 概 要	この授業では3つの心理学実験を行い、得られたデータを分析し、レポートを作成します。予定している実験は、「印象形成」、「自由再生による記憶の系列位置効果」、「メンタルローテーション」です。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。
ナンバリング	320		【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション、心理学実験についての概説 第2回 実験1「印象形成」実施・データ整理 第3回 実験1「印象形成」解説・レポートの書き方・レポート執筆指導 第4回 実験2「自由再生による記憶の系列位置効果」実施・データ整理 第5回 実験2「自由再生による記憶の系列位置効果」解説・レポートの書き方・レポート執筆指導 第6回 実験3「メンタルローテーション」実施・データ整理 第7回 実験3「メンタルローテーション」解説・レポートの書き方・レポート執筆指導 第8回 実験における倫理的配慮、まとめ、レポート執筆指導等
定員	20名		【学生へのメッセージ】 実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成等にパソコンを使用しますので、基本的なパソコン操作は習得されていることを望みます。
担当講師	オザワ タクヒロ 小澤 拓大 宮崎学園短期大学 保育科准教授		【受講前の準備学習等】 会場のWi-Fiからインターネットへの接続が必要です。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義 (概論、研究法、統計学など) を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論 (24)」、「心理学研究法 (20)」、「心理学統計法 (21)」を視聴してください。
日程実施時間	6月7日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 6月8日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
実施会場	宮崎県婦人会館3F 「さくら」 (宮崎市旭1-3-10)		【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください (タブレット、スマートフォンは不可)。 2. OSの指定 種類は問いません (Windows、macOS、ChromeOS等)。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge (エッジ)、Google Chrome (クローム)、Safari (サファリ) のいずれかが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・紙媒体でレポートを提出してもらいますが、会場にプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。
			【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
			【その他 (特記事項)】 充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためのACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2668084	授 業 概 要	<p>私たちの身の回りは化学物質に満ちており、皆さんは、知らず知らずのうちに色々な化学反応を利用して生活しています。今回は色。黒色は300色ある？とか言われたりしていますが、本当にたくさんの種類があるかを化学の力を利用して身近な物を用いて解明します。本講義では、あっと驚く楽しい化学実験を体験し、その原理（化学反応など）を分かりやすく解説していきます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 合成洗剤の秘密を暴く 第2回 紫外線を当てると見える絵を描こう 第3回 一番輝くエナジードリンクはどれだ？ 第4回 野菜から蛍光物質を取り出そう 第5回 CD-Rで光の正体を暴く 第6回 黒は300色？（コーヒーフィルターで色の分析） 第7回 花の色素でセンサーを作る 第8回 虹色の水を作ろう</p> <p>【学生へのメッセージ】 簡単に手に入る身近な物を使ってあっと驚く楽しい化学実験を体験します。本講義では、化学実験を体験後、その原理（化学反応など）をわかりやすく説明します。原理を理解すれば自宅でも家族が驚く化学実験を再現できます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 汚れても良い服装で来てください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）</p>
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	身の回りのあっと驚く化学体験4		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	スガモト カズヒロ 菅本 和寛 宮崎大学工学部准教授		
日程実施時間	6月14日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 6月15日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	宮崎大学木花キャンパス 講義棟 (宮崎市学園木花台西1丁目1番地)		

科目コード	2668050	授 業 概 要	<p>文法に対して「おもしろくない」とか「難しい」といったイメージを抱いている人は、少なくないのではないのでしょうか。なかには、小学校や中学校、高校の国語の時間に品詞や活用形を暗記させられた経験がある人もいるかもしれません。ですが、そもそも文法とは「覚える」ものではなく、「考える」ものです。私たちが普段使っていることばには、規則性があります。ことばを観察し、その規則性について考えるのが文法研究です。本講座では、実際にさまざまな日本語の文を観察し、日本語が持つ文法規則について考えていきます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 はじめにー日本語文法と学校文法 第2回 日本語の文と助詞 (1) 格助詞 第3回 日本語の文と助詞 (2) 「は」と「が」 第4回 時に関わる表現 (1) テンス 第5回 時に関わる表現 (2) アスペクト 第6回 視点に関わる表現 (1) 受動表現 第7回 視点に関わる表現 (2) 授受表現 第8回 文末表現</p> <p>【学生へのメッセージ】 ことばは私たちにとって空気のような存在です。そのため、自分が使っていることばを意識することはあまりないかもしれません。自分の言語直観を働かせて、普段自分が使っていることばについて考えてみてください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 筆記用具</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・日本人のための日本語文法入門（原沢伊都夫／講談社／¥1,012／ISBN=9784062881739）</p>
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	日本語の文のしくみ		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	35名		
担当講師	タナカ リサコ 田中 利砂子 南九州大学短期大学部講師		
日程実施時間	6月21日(土) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~16:40 6月22日(日) 第1時限 9:30~11:00 第2時限 11:10~12:40 第3時限 13:30~15:00 第4時限 15:10~15:55 試験・レポート等 15:55~16:40		
実施会場	南九州大学 宮崎キャンパス講義室 (宮崎市霧島5丁目1番地2)		

科目コード	2668009	授 業 概 要	<p>Michael Ende (ミヒヤエル・エンデ、1929～1995) のMomo (1973) は、人間にとって時間とは何か、時を豊かに過ごすにはどうすればよいのか、というようなことを我々に考えさせる深く面白く魅力的な書です。原文はドイツ語ですが、これを英訳で読みます。感想を皆で共有しましょう。また、Momoの中から場面を選んで演じてみたいと思います。人生の大切な秘密を探求しながら、英語力もつけるという贅沢で楽しい2日間をしたいと考えています。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 Momoの読書体験および感想の発表 第2回 Michael EndeとMomoの紹介 第3回 Momoの読解と討論 (1) 第4回 Momoの読解と討論 (2) 第5回 Momoの読解と討論 (3) 第6回 Momoを演じる (1) 第7回 Momoを演じる (2) 第8回 Momoの発表会</p> <p>【学生へのメッセージ】 Momoは現代に生きる我々にとって必読の書です。楽しみながら、人生の叡智を学ぶことになるでしょう。可能ならば、事前配付のテキストにお目通しください。また、できれば翻訳 (『Momo』) で全体をお読みいただけておくとう理解が深まると思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 事前配付資料を読み、予習をしておいてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 事前配付のテキスト、英和辞典 (電子辞書可)、筆記用具</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・モモ (シリーズ名:岩波少年文庫) (ミヒヤエル・エンデ/岩波文庫/¥880/ISBN=9784001141276) 単行本でも結構です。</p> <p>【その他 (特記事項)】 この科目は2009～2015年度「共通科目:外国語」に該当します。 テキストは事前に郵送しますので、なるべくお目通しください。また、受講の皆様はMomoの読書体験や感想を授業の最初に発表していただきたいと思っておりますので、よろしく願います。</p>
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	エンデの『モモ』を英語で読む		
科目区分	基盤科目:外国語		
ナンバリング	110		
定員	20名		
担当講師	シンミョウ ケイコ 新名 桂子 宮崎大学教育学部准教授		
日程実施時間	6月28日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 6月29日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	宮崎サザンビューティ 専門学校501号室 (宮崎市老松2-1-17)		

科目コード	2658569	授 業 概 要	<p>3種の実験を行い、それぞれについてレポートを作成します。予定している実験は、情報伝達 (バートレットの系列的再生)、ミュラー・リャーの錯視、概念学習です。授業時間中にデータ整理、レポート作成をおこないますが、間に合わない場合は、後日レポートを提出していただきます。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 情報伝達 (バートレットの系列的再生) 第2回 論文・レポートの書き方、データ整理、レポート執筆指導 第3回 ミュラー・リャーの錯視 第4回 データ整理、レポート執筆指導 第5回 概念学習 第6回 概念学習 第7回 データ整理、レポート執筆指導 第8回 各レポートの再考・修正</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義 (概論、研究法、統計学など) を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論 (24)」、「心理学研究法 (20)」、「心理学統計法 (21)」を視聴してください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 レポートは、手書きでもノートパソコンを使用して作成してもかまいません。空き時間等で自分のノートパソコンを使用してレポートを作成される方は、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他 (特記事項)】 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。</p>
学習センター(コード)	45A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験1		
科目区分	専門科目:心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	ナイトウ ケンイチ 内藤 健一 九州医療科学大学 臨床心理学部講師		
日程実施時間	6月28日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 6月29日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40		
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室		

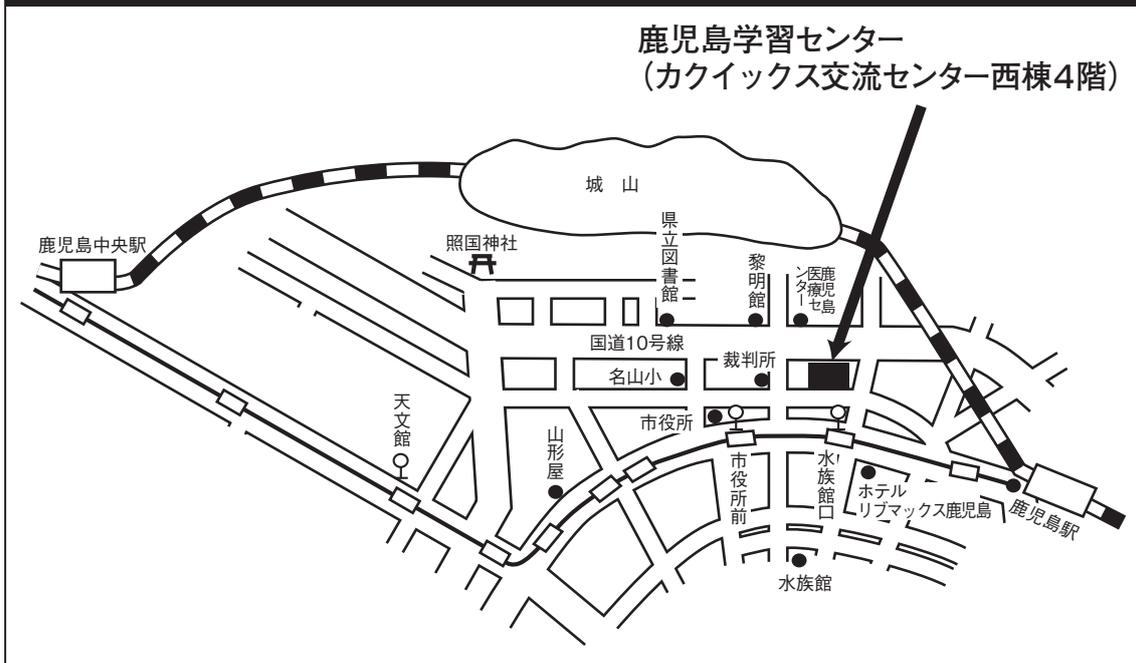
科目コード	2668025	<p>「認知症の理解」では、認知症の原因となる主な病気や症状の特性等を学び、それによって引き起こされる心理や行動の変化や日常生活への影響、また、認知症の人の心理状態や認知症の人から見た世界について理解し、認知症本人のみならず介護する家族を含めた支援のあり方や認知症の予防について学びます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 認知症の動向と医学的特徴 第2回 BPSD（認知症の行動・心理症状）と認知症の特性 第3回 認知症の人について理解する（心理・認知症の人から見た世界） 第4回 認知症の人を介護する家族について 第5回 認知症のケアについて① 第6回 認知症のケアについて② 第7回 軽度認知障害と認知症予防について 第8回 総括</p> <p>【学生へのメッセージ】 認知症の人は、2025年には471万人、2035年には565万人になるといわれています。認知症や認知症の人を理解し、認知症の人の意思が尊重され、自分らしく暮らしていくことができる社会にしていきたいと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター(コード)	45A	
クラスコード	K	
科目名	認知症の理解	
科目区分	導入科目：生活と福祉	
ナンバリング	210	
定員	30名	
担当講師	イナダ ヒロコ 稲田 弘子 九州医療科学大学 社会福祉学部教授	
日程実施時間	7月12日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40	
	7月13日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40	
実施会場	宮崎学習センター 第1講義室	

鹿児島学習センター

(コード：46A)

鹿児島学習センター案内図

☎099-239-3811



【所在地】〒892-0816 鹿児島市山下町14-50(カクイックス交流センター西棟4階)

【交通アクセス】

- (1) JR九州
鹿児島駅から徒歩10分
鹿児島中央駅から電車・バス約15分
- (2) 電車・バス
水族館口下車徒歩4分

【駐車場】

- ・カクイックス交流センターの地下1階、地下2階が駐車場になっています。
(館内の行事等によっては、満車になる場合もあります。)
- ・放送大学鹿児島学習センター事務室(西棟4階)で学生証を提示し、駐車券の認証を受けると、駐車料が無料になります。
(無料の取り扱いは、放送大学鹿児島学習センター事務室の閉所後、30分までです。)

【その他連絡事項】

面接授業は鹿児島会場(※カクイックス交流センター内)と奄美会場(県立奄美図書館4階)で開講します(一部例外あり)。面接授業時間割表をよく確認し、受講会場を間違えないように注意してください。

- ※カクイックス交流センター内会場
鹿児島学習センター講義室(西棟4階)
大研修室第1(東棟3階)
大研修室第3(東棟4階)

科目コード	2658569	授 業 概 要	<p>心理学の2つの実験（ミュラー・リヤー錯視、社会的促進）を取り上げます。それらを通して、心理学実験の方法論、データ分析の仕方、レポートの書き方を学ぶことを目的とします。受講生の皆さんは、原則8回の授業すべてに出席する必要があります。また、すべての実験についてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 心理学実験の基礎知識（統計検定の考え方を含む） 第2回 ミュラー・リヤー錯視の実験① 第3回 ミュラー・リヤー錯視の実験②（データの分析と統計検定を含む） 第4回 ミュラー・リヤー錯視の実験③（レポート作成法を含む） 第5回 社会的促進の実験① 第6回 社会的促進の実験②（データの分析と統計検定を含む） 第7回 社会的促進の実験③（グループディスカッションを含む） 第8回 まとめ（レポートの書き方のコツを含む）</p> <p>【学生へのメッセージ】 心理学の基礎的な実験を学ぶ中で、「心」という曖昧な対象に対して科学的にアプローチする視点を修得してほしいと思っています。なお、授業時間については、進み具合によって多少変わることをご了承ください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 筆記用具、電卓（スマートフォンの電卓機能があれば可）</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。</p>
学習センター(コード)	46A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験1		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	オオゾノ ヒロキ 大 園 博 記 鹿児島大学 学術研究院法文学系准教授		
日程実施時間	4月12日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 4月13日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15		
実施会場	鹿児島学習センター 講義室		

科目コード	2658453	授 業 概 要	<p>これからパソコンの使い方とオンライン授業の受講方法を学びたいと思っている初心者向けの授業です。パソコンの操作方法と放送大学の情報通信環境およびオンライン授業の受講方法を学びます。学習センターのWi-Fiへの接続方法、放送大学ウェブページ、学生用電子メール、受講科目の登録や成績の確認ができるシステムWAKABAの利用方法と、附属図書館の電子情報サービスを使った情報収集の方法を実習で学びます。さらに、オンライン授業のテキストと動画の閲覧、小テストの提出、ディスカッションへの参加、レポート提出を体験します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 パソコンの基本操作（キーボード入力・マウス操作・オンライン授業に必要な基本スキル） 第2回 文書作成とPDF保存 第3回 Webとメールの活用 第4回 セキュリティ 第5回 システムWAKABA・自己学習サイト 第6回 放送大学附属図書館の電子情報サービス 第7回 オンライン授業の実践 第8回 まとめと振り返り（第7回で体験したオンライン授業の感想をレポートにまとめオンラインで提出）</p> <p>【学生へのメッセージ】 基本的なパソコン操作と放送大学の学習に役立つパソコンの使い方を初歩から学びます。実習中は、講師とアシスタントが丁寧にサポートするので、パソコンを使い慣れていない方でも安心して受講してください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 「学生生活の菜」に掲載されている放送大学のシステムWAKABA（教務情報システム）や各種システム、情報セキュリティガイドラインを読んで理解しましょう。自宅にパソコンがある場合は、そのパソコンを使ってシラバスの内容を予習してください。受講後は、受講時に配布する「新・初歩からのパソコンテキスト」を通読し、授業内容を復習してください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。とくに、授業前と後でのパソコンスキルの伸びを重視します。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 USBメモリ（※市販されている一番安価な物で結構です。）学生証 授業内でログイン操作を伴う実習があります。必ずお持ちください。</p> <p>【教科書】 ・新・初歩からのパソコンテキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース/放送大学/¥0） 授業当日に配布します。</p> <p>【参考書】 ・新・初歩からのパソコン電子版テキスト（情報リテラシー面接授業タスクフォース/放送大学/¥0） PDF/ダウンロード方法は授業で説明します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 （履修制限）「大学で学ぶためのパソコン基礎」の単位を修得済みの方は登録できません。</p>
学習センター(コード)	46A		
クラスコード	K		
科目名	新・初歩からの パソコン		
科目区分	基盤科目		
ナンバリング	110		
定員	15名		
担当講師	オカムラ ヒロアキ 岡 村 浩 昭 鹿児島大学 学術研究院理学系教授		
日程実施時間	4月19日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 4月20日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	鹿児島学習センター 講義室		

科目コード	2668173	授 業 概 要	<p>いまや「人生100年時代」といわれています。わが国における平成元年（1989年）の高齢化率は11.6%でしたが、令和元年（2019年）には28.4%に達しています。老年期における健康を科学的に考えるうえで、身体的、認知的、社会的な側面からとらえることが有用です。「より健康的で、かつ元気な心身状態で100年（とはいわずとも、100年近く）」を過ごしたいものです。健康寿命を延伸するための方策を考える講義です。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 老年期における健康と長寿 第2回 老年期の身体機能・身体活動 第3回 老年期の認知機能：認知症予防の理論 第4回 老年期の認知機能：認知症予防の実践 第5回 老年期の社会活動 第6回 行動変容の理論① 第7回 行動変容の理論② 第8回 総括</p> <p>【学生へのメッセージ】 本科目は、フレイル（虚弱）や認知症の予防といった健康寿命延伸のための老年期における健康を科学的に考える講義となります。グループワークなどによるアクティブ・ラーニングも積極的に取り入れます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習や情報収集に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・老年健康科学－運動促進・知的活動・社会参加のススメ（牧迫飛雄馬／ヒューマン・プレス／¥3,740／ISBN=9784908933226）</p>
学習センター(コード)	46A		
クラスコード	K		
科目名	老年期の健康科学		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	マキザコ ヒュウマ 牧迫 飛雄馬 鹿児島大学学術研究院医学系教授		
日程実施時間	4月19日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 4月20日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	カクイックス交流センター 大研修室第3（東棟4階） （鹿児島市山下町14-50）		

科目コード	2668114	授 業 概 要	<p>私たちは多くの動物とともに生活しています。特に犬や猫はペットとして、今では、愛玩動物ではなく家族の一員となっています。また、経済動物といわれる牛や豚など、動物園などにいる野生動物の健康も獣医師は管理しています。細菌などのように動物と人の双方に感染する病気もありますが、癌や心臓病なども、動物にも人にも同じように発生します。講義では、人と動物の関わりを歴史的な背景、環境的な要因から解説し、人と動物医療の双方にかかわる病気の紹介と、動物医療の現在の取り組みなどを紹介します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 動物と人が共存してきた歴史的背景 第2回 動物と人が共有する環境要因と病気の関わり 第3回 動物のゲノム解析から見えてきた人の病気との関わり 第4回 人畜共通感染症も含めた動物医療の中の感染症 第5回 人医療と動物医療の比較からわかること：比較病態解析という概念 第6回 犬の癌は人の癌と同じか？癌を例に比較病態解析をわかりやすく説明 第7回 新しい動物医療：分子解析・遺伝子解析、治療・再生療法など 第8回 動物の病気から人医療への応用</p> <p>【学生へのメッセージ】 動物の医療を通じて、比較病態解析学という概念を知って、新しい視点で考える講義です。医学や獣医学の専門講義ではなく、広い視野で、人と動物の関係を考えることを目的とした講義です。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 教科書は使用しません。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター(コード)	46A		
クラスコード	K		
科目名	動物医学と人の関わり		
科目区分	導入科目：生活と福祉		
ナンバリング	220		
定員	40名		
担当講師	ミウラ ナオキ 三浦 直樹 鹿児島大学 学術研究院獣医学系教授		
日程実施時間	4月26日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 4月27日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	鹿児島学習センター 講義室		

科目コード	2668181	<p>新型コロナの感染拡大により医療の現場では必要な入院医療が受けられず、自宅でなくなる人も出ました。また、仕事を失い生活に困窮する人も増大しました。なぜ、こうした事態に至ったのかを、日本の社会保障の問題点にふれながら、医療・公衆衛生、介護、年金、生活保護（公的扶助）、財源問題にわたって解明し、課題を展望します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 社会保障をめぐる現状と法体系 第2回 医療・公衆衛生（その1）－医療保険 第3回 医療・公衆衛生（その2）－高齢者医療と医療提供体制 第4回 医療・公衆衛生（その3）－公衆衛生 第5回 介護 第6回 年金 第7回 生活保護（公的扶助） 第8回 社会保障の課題－財源問題を中心に</p> <p>【学生へのメッセージ】 年金など日本の社会保障について詳しく知りたい人、医療や福祉の現場で働いている人、講義概要に記したような疑問を持った人の受講を期待しています。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 ・岐路に立つ日本の社会保障－ポスト・コロナに向けての法と政策（伊藤周平／日本評論社／¥2,420／ISBN=9784535526952） ・医療・公衆衛生の法と権利保障（伊藤周平／自治体問題研究社／¥2,310／ISBN=9784880377568）</p>
学習センター(コード)	46A	
クラスコード	K	
科目名	社会保障のしくみと法	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	イトウ シュウヘイ 伊藤 周平 鹿児島大学 学術研究院法文学系教授	
日程実施時間	4月26日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 4月27日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00	
実施会場	カクイックス交流センター 大研修室第3（東棟4階） （鹿児島市山下町14-50）	

科目コード	2668220		この授業は自分用パソコン持ち込み方式 (BYOD: Bring Your Own Device) で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他 (特記事項)】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センター(コード)	46A		
クラスコード	K		
科目名	実習で学ぶ 宇宙・地球・環境		
科目区分	専門科目：自然と環境	授 業 概 要	宇宙地球科学の分野から、宇宙、地球、そして地球環境の成り立ちに関するトピックについて、講義と実習で学習します。実習は、表計算ソフトやインターネットを用いて行います。また、自然科学で観察手法として広く用いられている走査型電子顕微鏡の原理を学び、各自が自宅からオンラインで操作して、さまざまな物質を観察します。
ナンバリング	320		【授業テーマ】 第1回 太陽系をめぐる探究と宇宙観の変遷 第2回 実習：ケプラーの方法による、地球軌道と火星軌道の決定 第3回 ハビタブルゾーンと表層環境 第4回 実習：惑星環境の計算実習 第5回 地殻の構成物質と表層環境 第6回 ジオロジーとその方法 第7回 実習：岩石観察と日本の地質概観 (レポート提出) 第8回 実習：走査型電子顕微鏡リモート実習の説明
定員	20名		【学生へのメッセージ】 宇宙地球科学の歴史、理論、研究の方法などをさまざまな方法で体験する講義・実習です。興味を持って主体的に取り組まれる方、お待ちしております。
担当講師	オオモリ ソウイチ 大森 聡一 放送大学教授		【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターのネットワークを利用する場合は、事前に無線LAN (WiFi-houdai) の利用登録が必要です。登録方法については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 PCの基本操作、Webブラウザと表計算ソフトの操作方法は習得済みとして実習を行います。 三角関数と一次方程式についても復習しておいてください。 授業で学修した内容の復習を行い、理解を深めてください。
日程実施時間	5月10日(土) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~17:00 5月11日(日) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~16:15		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
実施会場	鹿児島学習センター 講義室		【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 WindowsまたはMacOSが必要です。 3. ソフトのインストール ブラウザを使用します (Chrome、Firefox、Edge、Safari推奨)。 表計算ソフトが必要です。ExcelまたはLibreOffice Calcをインストールして使用可能な状態にしておいてください。 4. その他 Windows10、macOS10.15以上を対象とします。
			【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
			【その他 (特記事項)】 オンライン授業「地球と環境の探究20」と一部同じ内容 (第3回) を含みます。走査型電子顕微鏡実習は、センターでの授業後2週間程度の間、自宅からネットワーク接続して行いますので、インターネット接続可能な端末 (Windows10以降、Mac、アンドロイド、iPadOSなどタブレット端末のいずれか) が必要です。実習にかかる時間は1時間程度で、実習のレポートをメールで提出します。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2668122	<p>世界の熱帯・亜熱帯農業、湿潤、乾燥地農業の特色と技術、問題点などについて紹介し、我が国の農業とどのように違うかを比較しながら説明します。また海外で栽培される特色ある工芸作物（繊維料、油料、糖料、嗜好料作物など）を紹介し、加えて世界の農業・食料生産に影響を及ぼしている地球温暖化、沙漠化について紹介し、その原因と世界で行われている対策、食料生産の現場での対応について農学の面から解説します。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 世界の農業問題と世界の作物 第2回 気象条件・土壌条件が農業に及ぼす影響 第3回 世界の工芸作物（繊維料作物、嗜好料作物、香辛料作物） 第4回 世界の工芸作物（油料作物・バイオ燃料作物） 第5回 湿潤地域の作物栽培と課題 第6回 乾燥地域の農業と課題 第7回 温暖化と作物栽培 第8回 沙漠化と土地荒廃</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>世界の農業は日本とどう違うのでしょうか。どんな作物が栽培されているのでしょうか。また、地球温暖化の影響は？どうやって防ぐのか、広がりつつある沙漠と農業の関係など、地球人の一人として考えてみませんか。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>・世界の食糧問題、地球温暖化、沙漠化などの現状について新聞等で把握しておくことと講義がわかりやすいと思います。 ・シラバスの各回のテーマから関係ある書籍により事前学習をお願いします。 ・授業で学修した内容や興味を持ったことを調べるなど、理解を深めてください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】</p> <p>筆記用具。</p> <p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】</p> <p>・熱帯作物学（志和地弘信・遠城道雄（編）／朝倉書店／¥3,960／ISBN=9784254410426）</p> <p>【その他（特記事項）】</p> <p>この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 ・当日は汚れてもよい服装でお越しください。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください（別冊子「開設科目一覧」P.5参照）。</p>
学習センター(コード)	46A	
クラスコード	K	
科目名	世界の作物栽培と温暖化・沙漠化	
科目区分	導入科目：社会と産業	
ナンバリング	220	
定員	40名	
担当講師	シミズ カツヨシ 志水 勝好 鹿児島大学 学術研究院農学系教授	
日程実施時間	5月17日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 5月18日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00	
実施会場	鹿児島学習センター 講義室	

科目コード	2668130	<p>意外に思われるでしょうが、飛鳥・奈良時代から平安時代にかけての官僚（律令官人）たちは、多くは勤勉ではなく、天皇への畏怖もありませんでした。役所を無断欠勤したり、天皇臨席の儀式に無断欠席する。仮病を使ったり、休暇を不正利用して平気で仕事をサボる、などなど。現代の私たちには怠慢・不忠としか言いようのない官僚たちが珍しくなかったのです。この講義では、史料とともに、そんな官僚たちの興味深い、そして驚くべき実態を具体的に紹介していきます。</p> <p>この授業は、鹿児島学習センター（鹿児島市）と県立奄美図書館（奄美市）の2ヶ所をインターネットで結んで、鹿児島学習センター（鹿児島市）で行う授業を、県立奄美図書館（奄美市）へ配信します。（106頁参照）</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 律令官人とは何か1 第2回 律令官人とは何か2 第3回 儀式を無断欠席する官人1 第4回 儀式を無断欠席する官人2 第5回 職務を放棄する官人1 第6回 職務を放棄する官人2 第7回 古来勤勉ではなかった官人たち1 第8回 古来勤勉ではなかった官人たち2</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>高等学校の日本史を学習していなくても構いません。みなさんにとって、古代はなかなかイメージしにくいかも知れませんが、だからこそ、この授業で日本をより深く知っていただけたらと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>教科書を入手して、受講前に通読し、学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】</p> <p>・古代日本の官僚－天皇に仕えた怠惰な面々（虎尾達哉／中央公論新社／¥924／ISBN=9784121026361）</p> <p>【その他（特記事項）】</p> <p>この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター(コード)	46A	
クラスコード	K	
科目名	古代日本の官僚の実態	
科目区分	導入科目：人間と文化	
ナンバリング	220	
定員	40名	
担当講師	トラオ タツヤ 虎尾 達哉 鹿児島大学名誉教授	
日程実施時間	5月24日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 5月25日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00	
実施会場	鹿児島学習センター 講義室	

科目コード	2668203	授 業 概 要	<p>現代の心理学は、測定されたデータから法則や理論を導き出すことと、これら法則や理論が正しいとすればきつこうなるはずだといった予測を測定したデータによって確かめてみることに、この循環によって、生体行動を体系的に理解しようとしています。</p> <p>この授業では、心理学の基本的な研究方法や測定法について学びます。心理学の歴史は測定の歴史とも言われますが、心理学で用いられる基本的な研究方法や測定法、方法論について学ぶことは、心理学の本質的な理解に役立つと考えています。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 心理学研究方法イントロダクション 実証のロジック 第2回 心理学研究法概説1 データを集める、実験法、観察法、調査法 第3回 心理学研究法概説2 実証のためのプロセスと考え方、実験的研究と相関的研究 第4回 実験的研究法1 独立変数の操作、従属変数の測定、測定の信頼性と妥当性 第5回 実験的研究法2 剰余変数の統制、得られたデータの解釈と記述 第6回 相関的研究法 因果関係と相関関係 第7回 調査法の基礎 質問票の構成、リサーチ・リテラシー（データを読み取る力） 第8回 総まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 この授業の内容は、方法論（研究法や測定法）から学ぶ心理学という見方もできます。受講に際しては、数学等の特別な知識は必須ではありません。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び第8回授業後半に行う試験の評点により行います。（試験では、講義ノートや配布資料を参照することを妨げません。）</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 筆記用具等</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この授業を受講するにあたっては、放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究、統計学など）を受講し、2単位程度を修得済みであることが望ましいですが、必須ではありません。</p>
学習センター(コード)	46A		
クラスコード	K		
科目名	心理学研究法の基礎		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	カミゾ ヨシユキ 神 蘭 紀 幸 志学館大学 人間関係学部教授		
日程実施時間	5月24日(土) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~17:00 5月25日(日) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~16:15 試験・レポート等 16:15~17:00		
実施会場	カクイクス交流センター 大研修室第1（東棟3階） （鹿児島市山下町14-50）		

科目コード	2668165	授 業 概 要	<p>海洋から食料を供給する水産業は、わたしたちが生きていく中で重要な役割を担っており、海の豊かさを守りながら持続的に利用していくことが求められます。</p> <p>鹿児島大学大型練習船「かごしま丸」における1泊2日の乗船中に、航海技術や海洋観測などの実習や食料生産に関する講義を行います。</p> <p>世界の海に数多くの船舶が航行する中で航海士の役割、気候変動や海洋環境の変化を知る手掛かりになる海洋観測を実体験して、海洋の持つ役割について理解を深めます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回（室内講義）乗船実習と船内生活の概要：ガイダンス、緊急時の避難訓練 第2回（船内活動）練習船の見学：操舵室、船内設備、安全設備 第3回（室内講義）海洋環境と水産業 第4回（室内講義）魚の獲り方と海の環境問題 第5回（洋上実習）航海技術実習：航海士の役割、機関室の機能、ロープワーク実習 第6回（洋上実習）海洋観測実習1：CTD観測、採水、透明度測定 第7回（洋上実習）海洋観測実習2：採泥、プランクトン採集・観察 第8回（室内講義）海洋のもたらす恩恵と持続的利用における課題：2日間のまとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 生命活動の根源でもある海洋は地球の表面積の約7割を占め、特に生物多様性が豊かな沿岸域は、わたしたちの食料を生産する重要な場でもあります。</p> <p>鹿児島島と直接触れ合うことで海洋の魅力と意義について、地球環境の観点から考えを深めてもらいたいと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 書籍やインターネット検索を利用して海洋に関する基本学習に努めてください。</p> <p>参考サイト ・錦江湾探検隊ホームページ：http://www.fish.kagoshima-u.ac.jp/fish/kinkowan/index.htm ・鹿児島県水産技術開発センターホームページ：http://suigi.jp</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 ・船内泊を伴う乗船実習です。新型コロナウイルス感染症の蔓延状況によっては、乗船するにあたり厳しい条件を課す（乗船できない）可能性があります。 ・船内の居室は2名から3名の相部屋です。船内は4層構造で急傾斜の階段が多いため、健康で階段の昇降に支障のない方に限ります。 ・参加費と交通費として、授業料とは別に、14,300円（※かごしま丸共同利用における施設維持管理費（10,000円）、食費・シーツ等洗濯代（1,800円）、交通費（2,500円））が必要です。参加費と交通費は1日目に徴収します。 ・乗船日10日前以降のキャンセルの場合参加取りやめは、食材が事前仕入れのため、食費分をいただきます。 ・船内宿泊のため、通常時間を変更して実施します。 ・授業初日は、午前9時頃学習センターに集合後、谷山港までバスで移動します。2日目は下船後、バスで学習センターに移動し、解散します。なお、詳細は履修登録者へ別途お知らせします。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄の学習センターにて加入してください（別冊子「開設科目一覧」P.5参照）。 ・野外活動ができる服装と靴でお越しください。</p>
学習センター(コード)	46A		
クラスコード	K		
科目名	鹿児島湾洋上実習		
科目区分	導入科目：自然と環境		
ナンバリング	220		
定員	20名		
担当講師	ハバノ アキマサ 幅 野 明 正 かごしま丸船長/鹿児島大学准教授 フクダ リュウジ 福 田 隆 二 かごしま丸航海士/鹿児島大学助教 アリタ ヨウイチ 有 田 洋 一 かごしま丸航海士/鹿児島大学助教 ハタベ カナコ 畑 辺 佳 奈 子 かごしま丸航海士/鹿児島大学助教 エバタ ケイゴ 江 幡 恵 吾 鹿児島大学学術研究院水産学系准教授		
日程実施時間	5月31日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 13:00~14:30 第3時限 14:40~16:10 第4時限 18:00~19:30 6月1日(日) 第1時限 08:50~10:20 第2時限 10:30~12:00 第3時限 12:50~14:20 第4時限 14:30~15:15 試験・レポート等 15:15~16:00		
実施会場	鹿児島大学水産学部附属 練習船かごしま丸 （鹿児島市南栄5丁目29）		

科目コード	2668092	授 業 概 要	<p>This course will help to develop the student's communication skills, building upon their existing knowledge of English. It will include many listening, pair-work and group-work activities. この授業は、既に身につけている英語の知識を活かして、コミュニケーションのスキルを身につけることに役立ちます。また、リスニングやグループワーク活動も行います。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 Orientation, Self-introductions & Ice Breaking Games 第2回 Food: Are you hungry? 第3回 Jobs: What do you do? 第4回 Problems: Excuses & advice 第5回 Clothing & Appearances 第6回 Trivia Game 第7回 Local attractions & Tourism 第8回 Final Group Presentation</p> <p>【学生へのメッセージ】 Join in and have some fun with English!!</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。</p>
学習センター(コード)	46A		
クラスコード	K		
科目名	英会話を楽しむ		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	120		
定員	40名		
担当講師	ワトソン マシュー Watson Matthew 鹿児島純心女子短期大学英語科講師		
日程実施時間	6月7日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 6月8日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	カクイックス交流センター 大研修室第3(東棟4階) (鹿児島市山下町14-50)		

科目コード	2668211	授 業 概 要	<p>『源氏物語』の作者は紫式部とされていますが、紫式部が書いた『源氏物語』は現存しません。『源氏物語』はさまざまな人々によって書写されてきて、現在に伝わっています。そのため、少しずつ本文に違いがあります。本講義では、現存する『源氏物語』は誰の手によるものなのかという、『源氏物語』を知るうえでの基本的事項および古典文学を読む際の基本事項を押さえたうえで、『源氏物語』の正編の一部を簡単に見ていきます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 現存する『源氏物語』の作者は紫式部ではない？ 第2回 平安文学を読む際の基礎知識を身につけよう 第3回 「桐壺」巻(1) 第4回 「桐壺」巻(2) 第5回 「帚木」巻～「夕顔」巻 第6回 「若紫」巻(1) 第7回 「若紫」巻(2) 第8回 「若紫」巻(3)</p> <p>【学生へのメッセージ】 本講義は、第1回目と第2回目のレベルを高く設定しています。『官職要解』(和田英松)といった、官職に関する書籍を事前に読んでおくと、理解が深まります。理解が追いつかない際には、質問を受け付けていますので、「分からない」ままにしないでください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・新訂 官職要解(和田英松/講談社/¥1,617/ISBN=9784061586215)</p>
学習センター(コード)	46A		
クラスコード	K		
科目名	『源氏物語』の 正編を知る		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	ムトウ ナガコ 武藤 那賀子 鹿児島国際大学 国際文化学部准教授		
日程実施時間	6月7日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 6月8日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	鹿児島学習センター 講義室		

科目コード	2658666	<p>この授業では、実際の検査体験を通して、心理検査への理解を深めることを目的としています。特に検査者や被検査者双方の体験を通して、検査実施の意義を学ぶことが中心となります。</p> <p>受講生は、原則8回の授業すべてに出席する必要があります。また、すべての実験についてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 オリエンテーション、心理検査の成り立ち・検査倫理 第2回 心理検査の信頼性・妥当性・テストバッテリー 第3回 検査実習1 知能検査 WISC-IV 実施 第4回 検査実習1 知能検査 WISC-IV 解説 第5回 知能・発達検査・質問紙法・投影法の解説 第6回 検査実習2 質問紙法 Big Five尺度 第7回 検査実習3 投影法 バウムテスト 実施・解説 第8回 心理検査のまとめ、レポート執筆指導</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>この実習は、検査者や被験者体験を重視します。心理検査の実施者側と実施される側の両方を経験することで、心理検査についての体験的理解を深める機会になればと考えています。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。</p> <p>なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】</p> <p>鉛筆、消しゴム、ボールペン、電卓を用意してください。</p> <p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	46A	
クラスコード	K	
科目名	心理検査法基礎実習	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	26名	
担当講師	ヒラタ ユウタロウ 平田 祐太郎 鹿児島大学 学術研究院法文学系准教授	
日程実施時間	6月14日(土) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~17:00 6月15日(日) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~16:15 試験・レポート等 16:15~17:00	
実施会場	鹿児島学習センター 講義室	

科目コード	2668149	<p>上手な絵=本物そっくりの絵と思う人が多いです。現代の上手な絵は、それ以外の様式のものも当てはまります。絵画の歴史を学ぶことで、絵の様式の変遷がわかります。同時に、「描き方」の変遷も学びます。様々な描き方を理解したうえで、鉛筆によるスケッチを通して形・空間・明暗の表現方法を確認します。また水彩画を描くことで、色彩表現や水彩技法についても学びます。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 上手な絵とは、必要な造形要素とは 第2回 西洋絵画における様式・技法の変遷 第3回 制作 鉛筆によるスケッチ：遠近法を使って 第4回 制作 鉛筆によるスケッチ：明暗をつけて 第5回 絵画における色彩技法 第6回 絵具の仕組み・種類とその技法 第7回 制作 様々な水彩技法を試す 第8回 制作 水彩による構想画</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>絵を描くことが苦手な人でも全く問題ありません。絵画の歴史・技法を学ぶことで、自分に合った上手な絵が描けるようになります。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>色々な絵画作品を見て、その特徴などを把握しておいてください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、鉛筆スケッチおよび水彩による作品とレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】</p> <p>授業当日はスケッチブック（F6号）と練りゴムを購入していただきます（合計1,000円をご用意ください）。また、鉛筆（B～4Bなど）、定規（20～30cm程度）、水彩絵具セット（水彩絵具、筆、パレット、水入れ）をご持参ください。水彩絵具は小学校で使用するもので結構ですが、100円ショップのものは避けてください。</p> <p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】</p> <p>この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄の学習センターにて加入してください（別冊子「開設科目一覧」P.5参照）。</p>
学習センター(コード)	46A	
クラスコード	K	
科目名	絵の見方・描き方	
科目区分	導入科目：人間と文化	
ナンバリング	220	
定員	16名	
担当講師	オケダ ヒロアキ 桶田 洋明 鹿児島大学 学術研究院教育学系教授	
日程実施時間	6月28日(土) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~17:00 6月29日(日) 第1時限 9:50~11:20 第2時限 11:30~13:00 第3時限 13:50~15:20 第4時限 15:30~16:15 試験・レポート等 16:15~17:00	
実施会場	鹿児島学習センター 講義室（西棟4階）、 カクイクス交流センター 絵画制作室（東棟5階） （鹿児島市山下町14-50）	

科目コード	2668190	授 業 概 要	<p>医療職は生活者を支援する専門職です。しかしその前提として「生きている」生命体である「人間」を観察できるフィジカルアセスメント能力が不可欠です。本講義では、臨床場面での推論・フィジカルアセスメントの進め方と要点をまとめ、生活を支えるために有用な実践的なフィジカルアセスメントを学習していきましょう。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 臨床推論 第2回 アセスメントをどう進めるか 第3回 中枢神経系のみかた～意識レベル 第4回 中枢神経系のみかた～高次脳機能 第5回 脳神経のみかた 第6回 感覚系のみかた 第7回 運動系のみかた～ROM 第8回 感覚系のみかた～MMT</p> <p>【学生へのメッセージ】 臨床実践者として必要となる解剖生理学・病態生理学などの関連分野の知識を統合するため、既知の学習内容を振り返ることも求めます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。レポート課題は、『本講義を終えて、それまでの自己の臨床実践を振り返りどうであったかと、フィジカルアセスメントを今後の臨床実践にどう活かすかについてまとめよ』といたします。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 お互いの身体を使って演習をする場面がありますので、動きやすい服装でお越しください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・フィジカルアセスメントガイドブック 目と手と耳でここまでわかる（第2版）（山内豊明／医学書院／¥2,640／ISBN=9784260013840） ・緊急度を見抜く！バイタルサインからの臨床推論（山内豊明／医学書院／¥2,530／ISBN=9784260050326）</p>
学習センター(コード)	46A		
クラスコード	K		
科目名	身体を診る ～生活を支えるため		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	330		
定員	40名		
担当講師	ヤマウチ トヨアキ 山内 豊明 放送大学教授		
日程実施時間	7月2日(水) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 7月3日(木) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	鹿児島学習センター 講義室		

科目コード	2668106	授 業 概 要	<p>本講義は、楽しみながら日常英会話の基礎を学ぶことを目的とします。レベルとしましては、英語基本5文型の復習から始め、その後英検準2級～2級面接試験程度の教材を使用して、CDやDVD教材を併用しながら、一緒に楽しく学んでいきます。また外国語学習の教養的側面として、異文化理解や国際理解についての紹介も行います。皆様どうかお気軽なお気持ちでご出席ください。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション、自己紹介、動機付け等 第2回 英語基本5文型復習および反復練習 第3回 英語基本5文型の定着 第4回 リスニング：やや易しい英検準2級程度の教材チャレンジ 第5回 スピーキング：やや易しい英検準2級程度の教材チャレンジ 第6回 リスニング：やや高度な英検準2級程度の教材チャレンジ 第7回 スピーキング：やや高度な英検準2級程度の教材チャレンジ 第8回 講義のまとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 英語が苦手な方も大丈夫です。この講義の前身「実用英語検定チャレンジ基礎講座」では、英検準1級に2名合格されました。因みに講師は英語検定1級と英語通訳資格所有者で、英語資格についての相談も受けます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 英語のテレビやラジオ番組や映画、歌、コミックブック等で、易しい英語に慣れ親しんで理解しておいてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、基本的な辞書（紙媒体、電子辞書どちらでも）をご持参ください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・2025年度版英検準2級過去6回全問題集CD（旺文社編／旺文社／¥1,650） 2025年3月頃販売予定です。価格は変更になる場合があります。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。 2025年度第2学期には「易しい日常基礎英会話（中級）」の開講を予定しています。</p>
学習センター(コード)	46A		
クラスコード	K		
科目名	易しい日常基礎英会話 (初級)		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	110		
定員	40名		
担当講師	サカモト イクオ 坂本 育生 鹿児島大学名誉教授		
日程実施時間	7月5日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 7月6日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	鹿児島学習センター 講義室		

鹿児島学習センター奄美会場実施科目(46A)

※ 奄美会場で開講する科目は以下の2科目です。鹿児島学習センターでは実施しませんので、実施会場をお間違えのないようご注意ください。

科目コード	2668130	<p>この授業は、鹿児島学習センター（鹿児島市）と県立奄美図書館（奄美市）の2ヶ所をインターネットで結んで、鹿児島学習センター（鹿児島市）で行う授業を、県立奄美図書館（奄美市）へ配信します。（101頁参照）</p> <p>意外に思われるでしょうが、飛鳥・奈良時代から平安時代にかけての官僚（律令官人）たちは、多くは勤勉ではなく、天皇への畏怖もありませんでした。役所を無断欠勤したり、天皇臨席の儀式に無断欠席する。仮病を使ったり、休暇を不正利用して平気で仕事をサボる、などなど。現代の私たちには怠慢・不忠としか言いようのない官僚たちが珍しくなかったのです。この講義では、史料とともに、そんな官僚たちの興味深い、そして驚くべき実態を具体的に紹介していきます。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 律令官人とは何か1 第2回 律令官人とは何か2 第3回 儀式を無断欠席する官人1 第4回 儀式を無断欠席する官人2 第5回 職務を放棄する官人1 第6回 職務を放棄する官人2 第7回 古来勤勉ではなかった官人たち1 第8回 古来勤勉ではなかった官人たち2</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>高等学校の日本史を学習してなくても構いません。みなさんにとって、古代はなかなかイメージしにくいかも知れませんが、だからこそ、この授業で日本をより深く知っていただけたらと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>教科書を入手して、受講前に通読し、学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】</p> <p>・古代日本の官僚－天皇に仕えた怠惰な面々（虎尾達哉／中央公論新社／¥924／ISBN=9784121026361）</p> <p>【その他（特記事項）】</p> <p>この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター(コード)	46A	
クラスコード	L	
科目名	古代日本の官僚の実態	
科目区分	導入科目：人間と文化	
ナンバリング	220	
定員	10名	
担当講師	トラオ タツヤ 尾尾 達哉 鹿児島大学名誉教授	
日程実施時間	5月24日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 5月25日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00	
実施会場	鹿児島県立奄美図書館 第1研修室（4階） （奄美市名瀬古田町1-1）	

科目コード	2668157	<p>日本は亜寒帯から亜熱帯・熱帯に位置する島嶼国です。日本の南部に位置する亜熱帯・熱帯島嶼は南西諸島と呼ばれ、近年は文化的、自然科学的、地政学的などの多様な視点で注目を集めています。その中でも奄美と琉球の島々の一部は自然の豊かさが認められ2021年に世界自然遺産に認定されました。本講義では奄美に注目しながら、熱帯・亜熱帯の人と自然の関係について考えます。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 島嶼学概論（河合） 第2回 海から見た島（河合） 第3回 島と海の関係（河合） 第4回 島の食文化－作物－（山本宗立） 第5回 島の食文化－魚介類・陸上動物－（山本宗立） 第6回 奄美大島世界遺産センター・黒潮の森マングローブパーク見学－奄美の自然を体感する－（河合） 第7回 奄美大島世界遺産センター・黒潮の森マングローブパーク見学－奄美の自然を体感する－（河合） 第8回 南西諸島在来カンキツの独自性、多様性、有用性（山本雅史）</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>熱帯・亜熱帯島嶼は生物や文化などが多様な地域です。自然と共存した豊かな生活について考える機会になっていただければと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】</p> <p>・奄美の自然入門（常田守、外尾誠／南方新社／¥1,980／ISBN=9784861244537） ・生物多様性と保全－奄美群島を例に－（下）水圏・人と自然編（鹿児島大学島嶼研ブックレット）（鈴木英治 他／北斗書房／¥880／ISBN=9784892900389）</p> <p>【その他（特記事項）】</p> <p>この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p> <p>・授業2日目の第1、2時限は、バスで移動し、奄美大島世界遺産センター・黒潮の森マングローブパークの見学を行います。歩きやすい服装と靴で出席してください。なお、途中下車はお断りいたします。</p> <p>・交通費1,000円程度が、授業料とは別に必要です。1日目に徴収しますのでご準備ください。</p> <p>・宿泊の斡旋は行いませんので、必要な方は各自で手配してください。</p> <p>・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください（別冊子「開講科目一覧」P.5参照）。</p>
学習センター(コード)	46A	
クラスコード	K	
科目名	奄美から見た島嶼の人と自然	
科目区分	導入科目：自然と環境	
ナンバリング	220	
定員	20名	
担当講師	ヤマモト マサシ 山本 雅史 鹿児島大学国際島嶼教育研究センター長教授 カワイ ケイ 河合 溪 鹿児島大学国際島嶼教育研究センター教授 ヤマモト ソウタ 山本 宗立 鹿児島大学国際島嶼教育研究センター准教授	
日程実施時間	5月31日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～14:45 第4時限 14:55～16:25 第5時限 16:35～18:05 試験・レポート等 18:05～18:20 6月1日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:10 第3時限 13:00～14:30 試験・レポート等 14:30～15:00	
実施会場	鹿児島県立奄美図書館第1研修室（4階） （奄美市名瀬古田町1-1） 奄美大島世界遺産センター （奄美市住用町石原467番地1） 黒潮の森マングローブパーク （奄美市住用町石原478番地）	

★鹿児島学習センター【ライブWeb授業】実施科目(46A)

ライブ Web 授業で実施する科目は以下の1科目です。

対面式ではなく、ご自宅などでパソコンなどを用いてリアルタイムで受講しますのでお間違えのないようご注意ください。

科目コード	4000579	<p>江戸時代、薩摩藩内（現在の鹿児島県全域と宮崎県南部）で生産された焼き物を薩摩焼と呼びます。藩内各地でさまざまな製品が焼かれ、その多様性が薩摩焼の特徴です。この授業では、窯跡などの発掘調査によって明らかになった薩摩焼の生産と流通について講義します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 陶磁器と考古学 第2回 薩摩焼の概要 第3回 日用品としての薩摩焼 第4回 茶道具としての薩摩焼 第5回 商品としての薩摩焼の流通 第6回 政治的アイムとしての薩摩焼 第7回 薩摩焼の食器-龍門司陶器と薩摩磁器- 第8回 島津斉彬の集成館事業と薩摩焼</p> <p>【学生へのメッセージ】 窯跡や遺跡で出土する薩摩焼の破片は、完全な形でもきれいでありませんが、薩摩焼の生産や流通の歴史を伝える貴重な資料です。美術品としての薩摩焼とは少し違う薩摩焼の姿を知ってもらいたく思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。授業で学習した内容は不明な部分を残さないように復習を行い、理解を深めてください。 受講前に放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 インターネット環境のあるパソコン、マイク・ヘッドフォン等、Web (Zoom) 授業の受講に必要な設定等の準備。</p> <p>【教科書】 教科書は使用しません。</p> <p>【参考書】 ・日本のやきもの 薩摩(渡辺芳郎/淡交社/¥1,980/ISBN=9784473019363)</p> <p>【その他(特記事項)】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 Webカメラの準備を推奨します。 「ライブWeb授業」は、Web会議システム (Zoom) を利用した授業と、オンライン授業の利点を活かした新たな授業形態です。 学習センターではなく、ご自宅等で PC等を用いて受講します。 授業当日は、専用のシステムにログインし、各回の仮想の講義室 (Zoomミーティング) へもそこから入室します。 また、講義資料や、講師からのお知らせ、後日提出が必要なレポート等、講義時間外に取組みや確認が必要な活動が当該システム上で示される場合があります。 受講の際には必ず当該システムを確認してください。 詳細については、https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/ を参照ください。</p>
学習センター(コード)	46A	
クラスコード	WK	
科目名	★薩摩焼の考古学	
科目区分	導入科目：人間と文化	
ナンバリング	220	
定員	40名	
担当講師	ワタナベ ヨシロウ 渡辺 芳郎 鹿児島大学 学術研究院法文学系教授	
日程実施時間	5月11日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 5月18日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15	
実施会場	ライブWeb授業のため自宅等	

沖縄学習センター

(コード：47A)

沖縄学習センター案内図

☎098-895-5952



【所在地】〒903-0129 沖縄県中頭郡西原町字千原1
(琉球大学地域国際学習センター棟4・5階)

【交通アクセス】

97番 琉大線(那覇バス) 主な経由地

那覇バスターミナルー牧志ー儀保ー琉大附属病院前ー琉大東口で下車、徒歩約10分

98番 琉大線(琉球バス) 主な経由地

那覇バスターミナルー牧志ーおもろまち駅前ー興南高校前ー真栄原ー冲国大前ー琉大北口駐車場(終点)で下車、徒歩約15分

●沖縄都市モノレール

(経路) 那覇空港駅ー……ー首里駅ー石嶺駅ー経塚駅ー浦添前田駅ーてだこ浦西駅(終点)

※「那覇空港駅」から「てだこ浦西駅」までの標準時間37分。

てだこ浦西駅下車、沖縄学習センターまでタクシーで約15分

【その他連絡事項】

(昼食について)

・土曜日については、琉球大学内の学食をご利用いただけます。

(利用時間: 土 11:30~14:30 ※日曜日は休み)

・沖縄学習センターの近くに飲食店等はありませんので、各自でご用意ください。

科目コード	2668319	授 業 概 要	<p>琉球文化を代表する楽器・三線が、アジアと日本の音楽の架け橋となっていることを振り返り、改めて三線を中心に、琉球芸能はどのように形成されてきたかについて、王国の歴史との関係から説明します。次いで、三線音楽を四つの様式（御前風・昔節・二揚・口説）に分け、それぞれの特徴と鑑賞のポイントを説明します。また、琉球舞踊の動きと音楽との関係、組踊の各役柄と音楽の関係について、見どころ、聴き所を説明します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 アジアに架ける楽器 三弦～三線～三味線 第2回 琉球芸能の始まり 古琉球～近世 第3回 琉球芸能の確立・発展 近世～近代 第4回 島々の歌のこころ 八重山～沖縄 第5回 御前風様式と昔節様式 第6回 琉球舞踊の構造と鑑賞法 第7回 二揚様式と口説様式 第8回 組踊の「聴き方」 登場人物の性格と出羽の音楽</p> <p>【学生へのメッセージ】 沖縄に暮らす人の多くは歌や踊りが大好きです。しかし、歌うこと、踊ることが大好きなあまり、芸能の意味や多様な表現の在り方について「考える」人は希なようです。歴史を考え、音を考えることによって、新しい理解の地平を広げていきましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 (1) 琉球古典音楽のCDや組踊のDVDなどを試聴しておいてください（部分でも良い）。 (2) 参考図書を紹介しますので、興味がある人は読んでおくと、授業の理解に役立ちます。</p> <p>【成績評価の方法】 授業の学習状況（4点）と試験（96点）により評価します。試験は、授業時間ごとに復習テストを行います（各12点×8回）。ノートの閲覧は自由です。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・琉球の音楽を考える―歴史と理論と歌と三線（金城厚／榕樹書林／¥2,970／ISBN=9784898052358）</p>
学習センター(コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	琉球三線音楽の歴史と鑑賞		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	カネシロ アツミ 金城 厚 沖縄県立芸術大学名誉教授		
日程実施時間	4月12日(土) 第1時限 10:00～11:25 試験・レポート等 11:25～11:30 第2時限 11:40～13:05 試験・レポート等 13:05～13:10 第3時限 14:00～15:25 試験・レポート等 15:25～15:30 第4時限 15:40～17:05 試験・レポート等 17:05～17:10 4月13日(日) 第1時限 10:00～11:25 試験・レポート等 11:25～11:30 第2時限 11:40～13:05 試験・レポート等 13:05～13:10 第3時限 14:00～15:25 試験・レポート等 15:25～15:30 第4時限 15:40～17:00 試験・レポート等 17:00～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 大講義室		

科目コード	2668351	授 業 概 要	<p>私たちの日常生活には「からだ」の情報を使う場面が多くあります。例えば、病院での心電図検査や超音波エコー検査では、内臓の働きという情報を取り出して病気の診断に活用しています。指紋や顔といった身体の形の情報は、家の扉やスマートフォンの鍵として活用されたり、事件や事故の捜査に活用されたりしています。本講義では、私たちの「からだ」の情報を取り出す技術をやさしく解説します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 「からだ」の情報とは何か？ 第2回 情報のデジタル表現 第3回 病院の検査で測る「からだ」の情報 (1)：心臓の働き(心電図、血圧) 第4回 病院の検査で測る「からだ」の情報 (2)：内臓の働き(超音波エコー) 第5回 病院の検査で測る「からだ」の情報 (3)：脳の働き(MRI、CT) 第6回 日常生活で使う「からだ」の情報：指紋認証、静脈認証、顔認証 第7回 「からだ」の情報を守る方法：セキュリティ 第8回 まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 情報技術や人体の仕組みに関する講義ですが、それらの基礎知識のない学生でも理解できる説明を心がけます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	「からだ」の情報を 取り出す技術		
科目区分	専門科目：情報		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	クニタ イツキ 國田 樹 琉球大学工学部准教授		
日程実施時間	4月12日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 4月13日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 小講義室		

科目コード	2668238	<p>この授業は自分用パソコン持ち込み方式 (BYOD : Bring Your Own Device) で実施します。</p> <p>【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他 (特記事項)】 を讀み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。</p> <p>大学では多くの講義でレポートや論文 (学術的な文章) が課されますが、大学入学前までに書いてきた感想文や小論文とは何が違うのでしょうか。 この講義では、レポート・論文の要件や組み立て方 (構成)、形式、学術的な文章でよく使われる表現等、レポート・論文を書くときに必要な基本的な事柄を学びます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 レポート・論文とは何かを知ろう 第2回 問いを立てよう 第3回 レポートの組み立て方を知ろう 第4回 先行研究を調べよう 第5回 引用の仕方を学ぼう 第6回 アウトラインを作成しよう 第7回 パラグラフを書こう 第8回 お互いのレポートを点検しよう</p> <p>【学生へのメッセージ】 大学でレポート・論文を書いたことがない方向けの科目です。他の受講生とともに協力しながら主体的に楽しく学びましょう。</p> <p>【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 Microsoft Word (ワード) で文書が作成できるように、Wordの入力操作を練習しておいてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ご自身で操作可能なノートパソコン又はタブレット (キーボードがあるもの) を持参してください (スマートフォンは不可)。 2. OSの指定 OSの種類は問いません (Windows、macOS、ChromeOS等)。ただし、講義では講師はWindowsを使用するので、説明はWindowsになることをご了承ください。 3. ソフトのインストール Wordのソフトを事前に持参する端末にインストールしておいてください。 4. その他 ・USBメモリストイック (4GB以上) を1本持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・教科書 (『失敗から学ぶ大学生のレポート作成法 (第2版)』ひつじ書房) は、事前に購入して、当日持参してください (デジタル教科書も可)。 ・参考図書は、購入不要です。</p> <p>【教科書】 ・失敗から学ぶ大学生のレポート作成法 第2版 (近藤裕子・由井恭子・春日美穂/ひつじ書房/¥1,760/ISBN=9784823412479) 教科書の「版」を間違えないようにご注意ください。「初版」ではなく、「第2版」を準備してください。</p> <p>【参考書】 ・この1冊できちんと書ける! 【新版】 論文・レポートの基本 (石黒圭/日本実業出版社/¥1,760/ISBN=4534060807)</p> <p>【その他 (特記事項)】 この科目は2009~2015年度「基礎科目」に該当します。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。</p>
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	日本語の文章表現	
科目区分	基盤科目	
ナンバリング	120	
定員	16名	
担当講師	タカハシ ミナコ 高橋 美奈子 琉球大学教育学部准教授	
日程実施時間	4月19日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 4月20日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	沖縄学習センター 実習室	

科目コード	2668327	<p>民俗学が古くから伝わる人々のくらしを研究対象とするのは、過去を知ることにより私たちの生きる「今」を考える手がかりとするためです。 本授業では、沖縄の多様な民俗事象のうち、今も日常のくらしの中で目にし、用いる機会の多い祭具や供物といった信仰をめぐる「もの」に焦点をあて、その形式や意味、変容の過程と今日のありようから、沖縄の民俗の特色、そして現代沖縄の生活文化のルーツを解き明かしていきます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 「もの」の形式は心のあらわれ—沖縄の民俗を学ぶにあたって— 第2回 ヒヌカン（火の神、かまどの神） 第3回 位牌と仏壇 第4回 ウコール（香炉）と線香 第5回 ウチカビ（紙銭）とジューバク（重箱に詰めた供えもの） 第6回 ビンシー（携行用の御願道具）と酒、米 第7回 ソーグワチ（正月）、シチグワチ（盆）の供えもの 第8回 「もの」からみる沖縄の民俗の特色と今</p> <p>【学生へのメッセージ】 日常のくらしの中に存在するさまざまな民俗事象の意味やルーツを解き明かしていくことを通じ、沖縄の民俗を学ぶ楽しみ、知る喜びを味わってもらいたいと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 (1) 日常のくらしの中にある祭具や供物について関心をもつよう心がけてください。 (2) 「参考書」の項に掲げたものをはじめ、事前に各回のテーマに関連する資料を読んでおいてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・御願の道具と供えもの事典（稲福政斉／ボーダーインク／¥2,420／ISBN=9784899823308） ・ヒヌカン・仏壇・お墓と年中行事（稲福政斉／ボーダーインク／¥1,760／ISBN=9784899823773） 書店およびネット通販（Amazon,honto,楽天ブックス等）で入手可能です。 ・「御願じょうず」なひとが知っていること（稲福政斉／ボーダーインク／¥2,200／ISBN=9784899824596） 書店およびネット通販（Amazon,honto,楽天ブックス等）で入手可能です。</p>
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	沖縄の民俗 —信仰とくらし—	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	イナフク マサナリ 稲福 政 斉 沖縄国際大学非常勤講師 ／沖縄大学非常勤講師	
日程実施時間	4月19日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 4月20日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 大講義室	

科目コード	2668335	<p>考古学は、モノ（遺跡・遺物）から過去の人類文化を究明する学問であります。考古学研究の歩みを踏まえながら、東アジアの先史文化について、新石器文化を概観し、多様な新石器文化の存在を明らかにします。そして、東アジアの先史文化の共通テーマとして稲作文化の拡散、一方で稲作以前から存在する貝塚遺跡を検討しながら、東アジア先史文化の中での琉球列島を位置づけます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 考古学とはどのような学問か？中国・日本・沖縄の考古学の歴史と現状 第2回 考古学の方法とは？遺跡・遺物の研究はどのように行われているのか？ 第3回 東アジアの先史（新石器）文化 第4回 東アジアの先史（新石器）文化—多様な先史文化から生まれた中国の文明 第5回 先史稲作文化の広がり 第6回 東アジアの貝塚遺跡 第7回 琉球列島への視点 第8回 まとめ—考古学研究の課題</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	東アジアの 先史文化と琉球列島	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	ゴトウ マサヒコ 後藤 雅彦 琉球大学 国際地域創造学部教授	
日程実施時間	4月19日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 4月20日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 中講義室	

科目コード	2668270	<p>行動経済学は、人間の心理や行動を観察し、その特徴を明らかにすることを通じて伝統的な経済学を再構築しようとする新しい分野で、近年注目を集めています。</p> <p>本講義では、伝統的な経済学の考え方と対比させつつ行動経済学の考え方について学びます。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 行動経済学とはどのような分野だろう？—人間行動の「クセ」に焦点を当てる新しい経済学</p> <p>第2回 行動経済学とこれまでの経済学はどこが違うのだろうか？—これまでの経済学の人間像「ホモエコノミカス」</p> <p>第3回 直感的で簡便な思考方法と人間行動の「クセ」①—代表性ヒューリスティクスと利用可能性ヒューリスティクス</p> <p>第4回 直感的で簡便な思考方法と人間行動の「クセ」②—アンカリング効果とフレーミング効果</p> <p>第5回 期待賞金額—くじから得られる平均的な賞金額</p> <p>第6回 どうしてそのくじを買わないの？①—不確実性に対するこれまでの経済学の捉え方「期待効用仮説」</p> <p>第7回 どうしてそのくじを買わないの？②—これまでの経済学の捉え方の限界「アレのパラドックス」</p> <p>第8回 どうしてそのくじを買わないの？③—不確実性に対する行動経済学の捉え方「プロスペクト理論」</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>講義では、受講生の皆さんと意見交流を行いながら一部双方向的に実施する予定です。また、1日目の講義の終わりに2日目に実施するレポートの課題内容を提示します。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】</p> <p>・行動経済学入門（筒井義郎他／東洋経済新報社／¥2,640／ISBN=9784492314975）</p> <p>【その他（特記事項）】</p> <p>この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	行動経済学	
科目区分	導入科目：社会と産業	
ナンバリング	220	
定員	30名	
担当講師	ホリ カツヒコ 堀 勝彦 琉球大学 国際地域創造学部准教授	
日程実施時間	5月10日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 5月11日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 中講義室	

科目コード	2668289	<p>近年は、知的財産に関するトラブルが増え、企業からは知的財産に直接携わる職種はもちろん、これまで知的財産と関わりがなかった職種でも、知的財産に関する知識・能力をもつ人材が求められるようになっていきます。しかし、そのような知識・能力をもつ人材は少ないため、少しでも知的財産に関する知識を身に付けてもらうことを目指します。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 知的財産権の種類と概要</p> <p>第2回 ブランドの保護と知的財産権の活用</p> <p>第3回 企業における特許権の活用と侵害事件①</p> <p>第4回 企業における特許権の活用と侵害事件②</p> <p>第5回 著作物と著作権（人格権）の種類</p> <p>第6回 著作権の侵害とは？（著作物の利用行為と著作権の制限）</p> <p>第7回 企業における特許権の活用と侵害事件③</p> <p>第8回 企業における特許権の活用と侵害事件④</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>各回のテーマは、受講生の理解度や興味の度合いによって、変更する場合があります。</p> <p>知的財産管理技能検定や弁理士試験に興味があれば、是非お知らせください。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>次の資料をインターネットから無料でダウンロードできますので、予習として事前に読んでください。</p> <p>・特許庁『工業所有権法（産業財産権法）』逐条解説※特許庁HP</p> <p>・特許庁『産業財産権法』法令改正の解説※特許庁HP</p> <p>・文化庁『著作権テキスト』※文化庁HP</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【教科書】</p> <p>教科書は使用しません。</p> <p>【その他（特記事項）】</p> <p>この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	初歩からの知的財産	
科目区分	導入科目：社会と産業	
ナンバリング	220	
定員	40名	
担当講師	オオクボ ヒデト 大久保 秀人 沖縄国際特許商標事務所代表／ 弁理士	
日程実施時間	5月10日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 5月11日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10	
実施会場	沖縄学習センター 大講義室	

科目コード	2658569		この授業は自分用パソコン持ち込み方式 (BYOD : Bring Your Own Device) で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他 (特記事項)】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
学習センター(コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	心理学実験 1		
科目区分	専門科目：心理と教育		心理学の基礎的な実験の中から3つの実験 (目撃者証言、ミューラー・リヤー錯視、心理尺度) を行います。受講者は、それらの実験に実験者および参加者 (協力者) として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の実験方法、データ整理、レポートの書き方等について学びます。受講生は、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。
ナンバリング	320		
定員	20名		【授業テーマ】 第1回 心理学実験の概要、レポートの書き方等の説明 第2回 実験1「目撃者証言」の実施 第3回 実験1「目撃者証言」のデータ整理・分析とレポート執筆指導 第4回 実験2「ミューラー・リヤー錯視」の実施 第5回 実験2「ミューラー・リヤー錯視」のデータ整理・分析とレポート執筆指導 第6回 実験3「心理尺度 (一対比較法、順位法、評定尺度法)」の実施 第7回 実験3「心理尺度 (一対比較法、順位法、評定尺度法)」のデータ整理・分析とレポート執筆指導 第8回 まとめとレポート執筆指導
担当講師	イムラ ヒロコ 井村 弘子 沖縄国際大学名誉教授		
日程実施時間	5月10日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 5月11日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25		【学生へのメッセージ】 実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成等にパソコンを使用しますので、基本的なパソコン操作 (エクセル、ワード等) を習得しておいてください。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義 (概論、研究法、統計学など) を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論 (24)」、「心理学研究法 (20)」、「心理学統計法 (21)」を視聴してください。
実施会場	沖縄学習センター 実習室		

科目コード	2668300	授	少子高齢社会が進展し人生100年時代が予想される中、高齢期の特徴及び正しい老化の過程を理解することは、生涯発達の視点からますます重要なものとなっています。本授業では、老年学に関する研究知見を踏まえ、主観的幸福感及び健康寿命の背景要因等に関する理解の深化を主な内容としています。「生涯発達」を共通のコンセプトとして、講義及び議論を通して学びを深めます。
学習センター(コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	老年学への招待		
科目区分	専門科目：生活と福祉	業	【授業テーマ】 第1回 高齢者のイメージと特徴 第2回 健康長寿者の特徴 第3回 高齢期のライフイベントと課題 第4回 老化理論と寿命 第5回 老化と生涯発達 第6回 生きる意味と生きがい 第7回 死の準備教育 第8回 主観的幸福感の背景要因
ナンバリング	320		【学生へのメッセージ】 日本人の平均寿命は女性87.26歳、男性81.09歳と着実に寿命が延びていますが、正しい老化の過程は十分に理解されていないのが現状です。「生涯発達の視点」から老化を捉え、健康長寿や主観的幸福感の背景要因について考えます。
定員	25名	概	【受講前の準備学習等】 健康長寿や生きがい等について、シラバスの内容から判断して、事前の自己学習に努めてください。
担当講師	シモジ トシヒロ 下地 敏洋 元琉球大学教授		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
日程実施時間	5月17日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 5月18日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	要	【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
実施会場	沖縄学習センター 中講義室		【参考書】 ・東大がつくった高齢社会の教科書（東京大学高齢者社会総合研究機構 編／東京大学出版／¥1,980／ISBN=9784130624183） ※書店、ネットでの購入が可能です。 ※授業で、教科書の内容について、詳細な読み合わせや確認は予定しておりません。

科目コード	2658640	<p>この授業は自分用パソコン持ち込み方式 (BYOD : Bring Your Own Device) で実施します。</p> <p>【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他 (特記事項)】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。</p> <p>心理学の基礎的な実験3種を行います。皆さんはそれらの実験を「実験者」や「参加者 (協力者)」として経験し、さらにその結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、原則として 8回の授業すべてに出席し、3つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 心理学実験とは 第2回 実験1「鏡映描写」の実施と解説 第3回 統計的分析、レポートの書き方 第4回 実験2「ストループ効果」の実施 第5回 実験2「ストループ効果」の解説 第6回 実験3「SD法」の実施 第7回 実験3「SD法」の解説 第8回 実験の計画立案、レポート執筆指導</p> <p>【学生へのメッセージ】 この実習は、参加者や実験者の経験を重視します。実験を実施する立場と実施される立場の両方を経験し、心理学実験の理解を深めていただく機会になればと考えています。</p> <p>【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義 (概論、研究法、統計学など) を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論 (24)」、「心理学研究法 (20)」、「心理学統計法 (21)」を視聴してください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません (Windows、macOS、ChromeOS等)。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge (エッジ)、Google Chrome (クローム)、Mozilla Firefox (ファイアーフォックス)、Safari (サファリ) のいずれかが必要です。 ・Wordが必要。Excelが必要。 4. その他 ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・レポートはメール等を介して提出してもらいます。基本的に皆さんが何かをプリントアウトする機会はないとおもいますが、仮にプリントアウトが必要になった場合、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他 (特記事項)】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 なお、色識別を要する実験課題「ストループ効果」があります。</p>
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験3	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	ヤマダ キョウコ 山田 恭子 琉球大学 グローバル教育支援機構 アドミッション部門准教授	
日程実施時間	5月17日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 5月18日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25	
実施会場	沖縄学習センター 実習室	

科目コード	2668343	授 業 概 要	<p>近世の琉球国時代（1609年～1879年）における琉球の政治・経済・社会に関係する古文書を取りあげ、それらを読み解くことで、琉球史の多様な局面を講義します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 琉球・沖縄歴史の全体的推移 第2回 蔡温の「自叙伝」、「御教条」に見る琉球社会 第3回 「渡唐人へ仰せ渡し」に見る対清国関係 第4回 「御普請日記」に見る首里城修築をめぐる社会状況 第5回 三司官「伊江親方日日記」に見る政治社会状況（1） 第6回 三司官「伊江親方日日記」に見る政治社会状況（2） 第7回 「大島筆記」、「廻文」に見る庶民の生活状況 第8回 庶民史料の意義、全体のまとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 近世の琉球国時代（1609年～1872年）は、日本（薩摩藩・江戸幕府）と中国（明清）との複雑な政治関係をもつ時代でした。かつては「暗い時代」として捉えられていましたが、近年では多様な局面が解明されています。受講生の皆さんが抱く琉球史像を問い直す機会になることを期待します。</p> <p>【受講前の準備学習等】 事前に概説書（『新版県史』47 沖縄県の歴史』山川出版社）または『沖縄県史 図説編 前近代』（沖縄県教育委員会）を一読しておいてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	古文書の語る琉球史		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	トミヤマ カズユキ 豊見山 和行 琉球大学名誉教授		
日程実施時間	5月24日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 5月25日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 大講義室		

科目コード	2668360	授 業 概 要	<p>本講義では、植物の中でも特に被子植物の多様性とその進化について様々な角度から学びます。植物の多様性と進化についての理解を深めるために、植物の形態と機能、動物や菌類と植物との共生、島における進化などを順に学習していきます。具体的な植物の例としては、可能な限り、沖縄をはじめとした琉球列島の植物を取り上げます。さらに、植物多様性の危機と保全を含むさまざまなトピックスを取り上げ、自ら植物を観察する目を養う学びとすることを目指します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 今なぜ植物を学ぶのか？：その定義・特徴・魅力と楽しみ方 第2回 植物の形態と機能 第3回 植物の多様性と進化 第4回 琉球列島の植物概説 第5回 植物と共生 第6回 島の植物生態学 第7回 植物の保全 第8回 植物を巡る物語</p> <p>【学生へのメッセージ】 植物を含む生物全般に対して興味を有することが望ましいですが、授業を通して新たに興味を持てるようであれば履修を歓迎します。授業を履修した後、これまでとは違った見方で植物を観察できるようになることを期待しています。</p> <p>【受講前の準備学習等】 ・身近な植物を観察し、植物図鑑等を用い、植物名を調べてみてください。近年、生物判別アプリ等も充実していますので、アプリの使用も推奨します（iNaturalist, PI@ntNet等）。 ・進化や生態学全般に関する本で、自分が興味を持てる本を1冊以上選び、事前に読んでこの分野の考え方の把握に努めてください。内容は植物に限らず生物全般、動物でも構いません。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・花と動物の共進化をさぐる：身近な野生植物に隠れていた新しい花の姿（種生物学会／文一総合出版／¥2,970／ISBN=9784829962084） ・琉球の樹木—奄美・沖縄—八重山の亜熱帯植物図鑑（大川智史、林将之／文一総合出版／¥6,050／ISBN=9784829984024） ・沖縄の身近な植物図鑑（林将之、名嘉初美／ボーダーインク／¥4,950／ISBN=9784899824350） ・ダーウィン「進化論の父」の大いなる遺産（鈴木紀之／中央公論新社／¥1,100／ISBN=9784121028136） ・多様な花が生まれる瞬間（奥山雄大／慶應義塾大学出版会／¥2,640／ISBN=9784766423006）</p>
学習センター(コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	植物の多様性と進化		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	ワタナベ ケンタ 渡邊 謙太 国立沖縄工業高等専門学校 技術長		
日程実施時間	5月24日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 5月25日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 中講義室		

科目コード	2668246	授 業 概 要	<p>世間では数学が嫌いな人が多いですが、それは、数学という難しい記号や計算が出てきて何をやっているのか理解できないことをやっているようなイメージがあるからではないでしょうか。ところが、数学的に考えるというのは、自分が何をやっているのか、きちんと理解しながら考えるということなのです。問題をなんとなく捉えるのではなく、何を意味しているのかきちんと定義して考えていくことなのです。</p> <p>数学的に考えるのは、実はとても楽しいことだと理解いただけると思います。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 誕生日当てカードの秘密：誕生日を当てるカードがあるけど、どんな仕組みなのか。</p> <p>第2回 簡単な確率の問題を考えよう：라이어ゲームにも登場したゲーム</p> <p>第3回 階段の上り方をどうやって数えようか：漸化式という考え方</p> <p>第4回 天国への道：論理的に考えるのは楽しい。</p> <p>第5回 素数って役にたつの？</p> <p>第6回 人生を支配する曲線：私たちの人生のほとんどが、ある曲線に支配されている。</p> <p>第7回 数列の和の公式を暗記するのは苦しいけど、公式を導くのはすごく楽しい。</p> <p>第8回 国の借金1000兆円越え、国民一人当たり約1000万円って大丈夫なの？日本を救おう！！小学生でもわかる等式から驚くべき事実が。</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>毎時間、異なるテーマを扱いますが、全体を通して「数学的に考える」ということで一貫しています。わかるということがとても楽しいことだということを実感して欲しいと思っています。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>中学校で習った内容（素因数分解、平方根など）を復習しておいてください。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】</p> <p>ノートを持参してください。</p> <p>【教科書】</p> <p>授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】</p> <p>この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。</p>
学習センター(コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	暮らしに役立つ 楽しい数学		
科目区分	基盤科目		
ナンバリング	120		
定員	30名		
担当講師	ヒノクマ タカノリ 日熊 隆則 元琉球大学准教授		
日程実施時間	5月31日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月1日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 中講義室		

科目コード	2668254	授 業 概 要	<p>多様な事例から、子どもはなぜ荒れるのかに迫ります。ポイントは、子どもの言動を読み取り理解できるからです。そして言動に隠されていたものを明らかにします。次になぜ落ち着かず、暴力を振るうのか。それは幼児期からの育ち、ライフヒストリー（生育歴）と深く関わりがあることに迫るものです。発達障害の特性や感情コントロールに苦しむ子どもについての例も出てきます。子どもの心理を読みながら、自分の人生を振り返る一面を持った授業です。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 事情を背負った子ども、大人は敵だった</p> <p>第2回 すれ違う大人と子どもの幸せ、さようなら家族</p> <p>第3回 寂しい放課後、友達のいる学校</p> <p>第4回 発達障害、感情コントロールに苦しむ子ども</p> <p>第5回 否定の中の肯定、格差社会を生きる三銃士</p> <p>第6回 ある少女の叫び、詩を書くことでモニタリング</p> <p>第7回 思春期（中学生）の葛藤、私は生きている値打ちがあるのか</p> <p>第8回 まとめ、あなたはなぜこんな大人になったのか</p> <p>【学生へのメッセージ】</p> <p>この講義は多様な子どもの事例について、説明だけでなくクイズが出てきます。答えをひとり、あるいは共同で楽しく学んでいくものです。</p> <p>【受講前の準備学習等】</p> <p>事前に教科書を準備し、読んでおいてください。当日はこの本を使います。</p> <p>【成績評価の方法】</p> <p>成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】</p> <p>教科書を当日持参してください。毎時間テキストを読むなど、活用します。</p> <p>【教科書】</p> <p>・子どもの願い いじめVS12の哲学（丹野清彦／高文研／¥1,650／ISBN=9784874986479）</p> <p>【その他（特記事項）】</p> <p>この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター(コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	荒れる子どもの ナゾを解く		
科目区分	導入科目：心理と教育		
ナンバリング	220		
定員	40名		
担当講師	タンノ キヨヒコ 丹野 清彦 琉球大学非常勤講師		
日程実施時間	5月31日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月1日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 大講義室		

科目コード	2658615	<p>この授業は自分用パソコン持ち込み方式 (BYOD : Bring Your Own Device) で実施します。</p> <p>【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他 (特記事項)】</p> <p>を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。</p> <p>心理学の基礎的な実験2種を行います。皆さんはそれらの実験を「実験者」や「参加者 (協力者)」として経験し、さらにその結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、2つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 心理学実験とは 第2回 実験1「心的回転」の実施 第3回 実験1「心的回転」の解説 第4回 統計的分析、レポートの書き方 第5回 実験2「自由再生による記憶の系列位置効果」の実施 第6回 実験2「自由再生による記憶の系列位置効果」の解説 第7回 統計的分析、レポートの書き方 第8回 実験の計画立案、レポート執筆指導</p> <p>【学生へのメッセージ】 パソコンを使用して実験、データ分析、レポート作成を行います。エクセル、パワーポイントを使いますので、あらかじめ操作に慣れておいてください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義 (概論、研究法、統計学など) を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論 (24)」、「心理学研究法 (20)」、「心理学統計法 (21)」を視聴してください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません (Windows、macOS、ChromeOS等)。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge (エッジ)、Google Chrome (クローム)、Mozilla Firefox (ファイアフォックス)、Safari (サファリ) のいずれかが必要です。 ・PowerPointが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・USBメモリ (実験のデータ保存用) 及び学生証を持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・マウスの使用を推奨します。</p> <p>【教科書】 ・心理学実験を学ぼう! (小河妙子・斉藤由里・大澤香織 (編) / 金剛出版 / ¥2,420 / ISBN=9784772411608)</p> <p>【その他 (特記事項)】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。</p>
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験2	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	フルカワ タカシ 古川 卓 琉球大学 保健管理センター教授	
日程実施時間	5月31日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 6月1日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25	
授業概要		
実施会場	沖縄学習センター 実習室	

科目コード	2668262	授 業 概 要	<p>児童期の発達障害、思春期青年期のひきこもりなど様々な問題、成人してからの統合失調症やうつ病など、現代社会で数多くとりあげられるメンタルヘルスの問題をテーマに講義していきます。特に、それらの分野に関する支援実践の現状について触れながら、かつ演習を交えながら講義を進めていきます。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 成人のメンタルヘルス (1) 第2回 成人のメンタルヘルス (2) 第3回 成人のメンタルヘルス (演習1) 第4回 成人のメンタルヘルス (演習2) 第5回 子どものメンタルヘルス (1) 第6回 子どものメンタルヘルス (2) 第7回 子どものメンタルヘルス (演習1) 第8回 子どものメンタルヘルス (演習2)</p> <p>【学生へのメッセージ】 一方的な講義だけではなく、グループワークや演習を含めた学習を進めていきます。</p> <p>【受講前の準備学習等】 『ブラックジャックによろしく (9巻～12巻)』(佐藤秀峰著)を読んで来てください(ネット上で無料閲覧可能・「ブラックジャックによろしく」で検索してみてください)。この漫画の登場人物の立場とその立場に関わるその人の考え方について整理しておいてください。授業でワークをします。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況(グループワーク、演習なども含みます)及び試験の評点により行います。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他(特記事項)】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター(コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	子どもから大人への 精神保健学		
科目区分	導入科目：心理と教育		
ナンバリング	230		
定員	30名		
担当講師	チナ タカシ 知名 孝 沖縄国際大学 総合文化学部教授		
日程実施時間	6月7日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月8日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 中講義室		

科目コード	2668378	授 業 概 要	<p>琉球列島の一部の地域は、その生物多様性の高さから、2021年に世界自然遺産に登録されました。本講義では、琉球列島における生物相の成立や生物多様性保全の取り組みについて概説します。また、生物の多様性は種間関係にも表れているため、その事例を紹介します。さらに、生物多様性を保全するための1つである外来種対策について概説するとともに、沖縄における現状を実習をとおして学習します。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 生物多様性とは何か 第2回 琉球列島における生物多様性の成立 第3回 沖縄でみられる種間関係(実習を含む可能性あり) 第4回 琉球列島における生物の保全と法令 第5回 外来種は何が問題なのか? 第6回 外来種の食性(実習) 第7回 琉球列島における外来種問題 第8回 まとめ</p> <p>【学生へのメッセージ】 琉球列島に限定した生物多様性および保全の話だけでなく、幅広い地域の内容も扱う予定です。日頃から自然環境に興味を持ってもらえると内容がわかりやすいと思います。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 2日目(6月8日)は、生物資料を用いた実習を行いますので、汚れてもよい服装・靴で参加してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【参考書】 ・生物多様性と地球の未来 ―6度目の大量絶滅へ? (太田英利(監修、翻訳)、池田比佐子(翻訳) / 朝倉書店 / ¥3,740 / ISBN=9784254171655) ・いきもの六法 日本の自然を楽しみ、守るための法律(中島慶二(監修)、益子知樹(監修)、山と溪谷社いきもの部(編集) / 山と溪谷社 / ¥1,980 / ISBN=9784635590518)</p> <p>【その他(特記事項)】 実習があります。「学生教育研究災害傷害保険(100円)」に加入している者を対象としていますので、未加入者は必ず前日までに最寄りの学習センターで加入していただきますようお願いいたします。(面接授業開設科目一覧P.5参照)</p>
学習センター(コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	琉球列島の 生物多様性と保全		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	15名		
担当講師	コバヤシ シュン 小林 峻 琉球大学理学部助教		
日程実施時間	6月7日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月8日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 小講義室		

科目コード	2658666	授 業 概 要	<p>心理検査に関して、基礎理論、種類、方法などについての概説、各種の心理検査について紹介します。その後、2種類の心理検査（Y-G性格検査とバウムテスト）と1種類の心理尺度（タイプA性格）を取り上げ、それらの背景理論、実施方法、結果のまとめ方、解釈の仕方などに関して説明します。自らが実際に当該心理検査を受けて、その結果を解釈し、レポートにまとめてください（レポートについては授業時間中に指示します）。受講生は、原則として8回の授業すべてに出席し、3つの実習それぞれについてレポートを提出する必要があります。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 心理検査とはなにか？～心理検査が備えておくべき条件、倫理的配慮、実施方法上の注意 第2回 心理検査が測定する対象～知能、性格、無意識などの概説 第3回 心理検査の結果の解釈に重要な情報 第4回 具体的な心理検査1 Y-G性格検査 第5回 具体的な心理検査2 Y-G性格検査 第6回 具体的な心理検査3 バウムテスト 第7回 具体的な心理検査4 バウムテスト 第8回 具体的な心理検査5 心理尺度（タイプA性格）</p> <p>【学生へのメッセージ】 実際に2つの心理検査と1つの心理尺度を実施し、その結果をレポートにまとめ提出してもらいます。そのレポートによって、成績評価を行います。1つでも提出されなければ単位は取得できません。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。なお、レポートは、単位認定試験成績通知後に返却します。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 授業当日は、定規（10cm程度のもの。直線が引ければ可）、赤鉛筆（赤ペンで可）、4Bの鉛筆、消しゴムを持参してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p>
学習センター(コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	心理検査法基礎実習		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	タナカ カンジ 田中 寛二 琉球大学 人文社会学部教授		
日程実施時間	6月14日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月15日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 大講義室		

科目コード	2668297	授 業 概 要	<p>今日、テレビやインターネットを通じて「食」や「農業」に関する情報があふれる時代です。 この講義では、第一に地理学の視点から農業と風土との関係、世界の農業と食糧問題、日本の農業および沖縄の農業の地域特性、諸課題と展望についてみていきます。第二には「食文化」をキーワードとして、郷土食と行事にみる食文化の地域性、日本の地形・地質と食文化など我々の日常生活と食文化について様々な視点から考えていきたいと思っています。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 はじめに－農業と風土と地域性－ 第2回 世界の農業と食糧問題を考える 第3回 日本農業の現状と課題、展望 第4回 沖縄農業の現状と課題、展望 第5回 地理学から食文化の地域性について考える 第6回 日本の地形・地質と食文化（1）だし・豆腐・醤油を中心に 第7回 日本の地形・地質と食文化（2）うどん・瀬戸内海の魚介・江戸前の魚介類を中心に 第8回 まとめ－これからの日本農業と食文化－</p> <p>【学生へのメッセージ】 日頃、テレビ、新聞、インターネットの情報を通じて、農業や食文化に関心をもって頂ければと思っています。また、毎回の講義で登場する地名については地図帳で確認してください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 地図帳（市販のもの、あるいは中学校・高校で使用した古いものでもかまわない。スマホ等の地図アプリ使用可）、ノート、筆記用具、蛍光ペンなど。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。</p>
学習センター(コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	食と農の地理学		
科目区分	導入科目：人間と文化		
ナンバリング	220		
定員	22名		
担当講師	オガワ マモル 小川 護 沖縄国際大学 経済学部特任教授		
日程実施時間	6月28日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月29日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	沖縄学習センター 小講義室		

科目コード	2668386	授 業 概 要	<p>ヒトは様々な生物と繋がり、関わり合いながら生きています。本科目では、特に沖縄地域を中心に、ヒトに病害を与える寄生虫、衛生動物、海の危険生物について、写真、症例紹介等をまじえて講義・実習を行います。</p> <p>【授業テーマ】 第1回 「病害動物とは?」「寄生虫と寄生虫病Ⅰ」 第2回 「寄生虫と寄生虫病Ⅱ」「幼虫移行症」 第3回 「沖縄の寄生虫病」「寄生虫考古学」 第4回 「届出が必要な寄生虫病」「寄生虫食中毒」 第5回 「衛生動物とは?」「沖縄の病害動物」 第6回 「海の危険生物」 第7回 「病害動物実習」(マサバからのアニサキス回収等) 第8回 「まとめ」</p> <p>【学生へのメッセージ】 身近に病害動物は溢れており、本授業で使用する映像には「一部衝撃的な場面」が含まれますのでご承知おきください。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 2日目(6月29日)は、生物資料を用いた実習を行いますので、汚れてもよい服装で参加してください。</p> <p>【教科書】 授業当日にプリントを配付します。</p> <p>【その他(特記事項)】 実習があります。「学生教育研究災害傷害保険(100円)」に加入している者を対象としていますので、未加入者は必ず前日までに最寄りの学習センターで加入して下さるようお願いいたします。(面接授業開設科目一覧P.5参照)</p>
学習センター(コード)	47A		
クラスコード	K		
科目名	沖縄の病害動物		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	トウマ ヒロム 當眞 弘 琉球大学大学院 医学研究科准教授		
日程実施時間	6月28日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 6月29日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10		
実施会場	沖縄学習センター 中講義室		

★沖縄学習センター【ライブWeb授業】実施科目(47A)

ライブ Web 授業で実施する科目は以下の2科目です。

対面式ではなく、ご自宅などでパソコンなどを用いてリアルタイムで受講しますのでお間違えのないようご注意ください。

科目コード	4000587	ロジカル・シンキング（論理的思考）とは、物事に対して感覚的に“なんとなく”捉えるのではなく、情報を整理して矛盾がないように順序立てて考え、結論を出す方法を指します。大量の情報が凄まじいスピードで流れる現代において、思い込みや直感、知識に頼らないこの“地頭力”こそが人類にとって一生もののスキルになると、私は信じています。本講義では、豊富な例題・演習を通じて知的トレーニングを積むことを目的としています。
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	WK	
科目名	★ロジカル・シンキング入門	【授業テーマ】 第1回 ガイダンス 第2回 論理的思考（ロジカル・シンキング） 第3回 批判的思考（クリティカル・シンキング） 第4回 水平思考（ラテラル・シンキング） 第5回 これまで（トリプル・シンキング）の復習 第6回 俯瞰力 第7回 多面的視野 第8回 まとめ
科目区分	専門科目：情報	【学生へのメッセージ】 講義で扱う問題は、初見で解けなくても全く問題ありません。授業内で受講生に回答を求めたりグループディスカッションを行うこともありませんが、ひとまず自分の頭で考えてみてください。その上で解説を聞き、授業後は問題を見たら解き方を思い出せるようになるまでしっかり復習してください。
ナンバリング	320	【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行ってください。また、授業で学習した内容や演習問題などは不明な部分を残さないように復習を行い、理解を深めてください。 受講前に放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。
定員	20名	【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
担当講師	ミヤタ リョウタ 宮田 龍太 琉球大学工学部准教授	【受講者が当日用意するもの】 筆記用具。 インターネット環境のあるパソコン、マイク・ヘッドフォン等、Web（Zoom）授業の受講に必要な設定等の準備。
日程実施時間	5月16日(金) 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 5月23日(金) 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 5月30日(金) 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月6日(金) 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25	【教科書】 教科書は使用しません。 【参考書】 ・頭のいい人だけが解ける論理的思考問題（野村裕之／ダイヤモンド社／¥1,980／ISBN=9784478119044） ・5分で論理的思考力ドリル（ソニー・グローバルエデュケーション／Gakken／¥1,100／ISBN=9784053049032）
実施会場	ライブWeb授業のため自宅等	【その他（特記事項）】 専用のシステム上で教材・資料を配付します。 Webカメラの準備を必要としません。 「ライブWeb授業」は、Web会議システム（Zoom）を利用した授業と、オンライン授業の利点を活かした新たな授業形態です。 学習センターではなく、ご自宅等でPC等を用いて受講します。 授業当日は、専用のシステムにログインし、各回の仮想の講義室（Zoomミーティング）へもそこから入室します。 また、講義資料や、講師からのお知らせ、後日提出が必要なレポート等、講義時間外に取組みや確認が必要な活動が当該システム上で示される場合があります。 受講の際には必ず当該システムを確認してください。 詳細については、 https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/ を参照ください。

科目コード	4000595	<p>社会や地域の中には多くの困難な課題があり、それを解決するための多くの種（シーズ）も埋まっています。「生命科学」が取り扱う分野においても同様です。</p> <p>本講義では、生物学を基礎として各地域にある生物資源などを「生化学」や「分子生物学」及び新しい学問分野である「バイオインフォマティクス」などを活用し、社会実装していく過程を基礎から応用へと学び、自分の地域に目を向け、有用な資源を社会実装していくことのできる能力を育むことを目標とします。</p> <p>【授業テーマ】</p> <p>第1回 乳酸菌を見つけよう 第2回 見つけた乳酸菌を活用しよう 第3回 沖縄の生物資源とSDGs 第4回 沖縄の生物資源と健康・長寿 第5回 健康で長寿なヒトの腸内細菌叢を調べる～データサイエンスの手法～ 第6回 健康で長寿の秘密は？～バイオインフォマティクスの手法～ 第7回 ミッドカイン～基礎～ 第8回 ミッドカイン～応用～</p> <p>【学生へのメッセージ】 授業中に実施する小テストは、授業に出てきた語句の説明等に関するものです。その場で模範解答が示されますので、復習など自学自習に活用して下さい。</p> <p>【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して、掲載資料等を参考に事前学習を行ってください。また、授業で学習した内容や演習問題などは不明な部分を残さないように復習を行い、理解を深めてください。 受講前に放送大学ウェブサイトの「ライブWeb授業のご案内」のページをご確認ください。</p> <p>【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。</p> <p>【受講者が当日用意するもの】 インターネット環境のあるパソコン、マイク・ヘッドフォン等、Web（Zoom）授業の受講に必要な設定等の準備。</p> <p>【教科書】 教科書は使用しません。</p> <p>【参考書】 ・Essential 細胞生物学 原書第5版（[監訳] 中村桂子・松原謙一・榊佳之・水島昇/南江堂/¥8,800/ISBN=9784524226825）</p> <p>【その他（特記事項）】 Webカメラの準備を必要としません。 「ライブWeb授業」は、Web会議システム（Zoom）を利用した授業と、オンライン授業の利点を活かした新たな授業形態です。 学習センターではなく、ご自宅等でPC等を用いて受講します。 授業当日は、専用のシステムにログインし、各回の仮想の講義室（Zoomミーティング）へもそこから入室します。 また、講義資料や、講師からのお知らせ、後日提出が必要なレポート等、講義時間外に取組みや確認が必要な活動が当該システム上で示される場合があります。 受講の際には必ず当該システムを確認してください。 詳細については、https://www.ouj.ac.jp/reasons-to-choose-us/anytime-anyone-can-learn-freely/interactive/ を参照ください。</p>
学習センター(コード)	47A	
クラスコード	WK	
科目名	★事例で学ぶ生命科学：基礎と応用	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	イケマツ シンヤ 池松 真也 沖縄工業高等専門学校 教授	
日程実施時間	6月13日(金) 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月20日(金) 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 6月27日(金) 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 7月4日(金) 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25	
実施会場	ライブWeb授業のため自宅等	

IV 学習センター以外の場所で行う面接授業

以下の科目は、学習センター・サテライトスペース以外の場所で行う面接授業です。
科目登録の際は、授業実施会場にご注意ください。また、申請の前に必ず本冊子の授業概要にて、詳細(場所・授業概要・当日用意する物等)をご確認ください。

- なお、受講に際しては、以下のことにご留意ください。
○食事等は各自でご用意ください。また、ゴミは各自でお持ち帰りいただくようご協力ください。
○会場においては、責任者の指示に従ってください。
○交通費、宿泊費(宿泊を要する場合)については、受講者のご負担となります。

学習センター	科目名	実施会場
福岡	人間工学	九州大学大橋キャンパス(福岡市南区塩原4-9-1 5号館)
	大学博物館への招待9	九州大学箱崎サテライト九州大学総合研究博物館(福岡市東区箱崎6-10-1)
	情報化社会における図書館	福岡学習センターおよび九州大学附属図書館筑紫図書館
佐賀	佐賀の歴史と文化1	佐賀市歴史民俗館(旧古賀家1号室等)(佐賀県佐賀市柳町3-15)
	ぶらっと有田・陶磁の歴史と文化	佐賀県立九州陶磁文化館(佐賀県西松浦郡有田町戸杓乙3100-1)
	映像デザイン-映画からVRまで	佐賀大学(佐賀県佐賀市本庄町1)
長崎	その街で名曲は生まれた	長崎大学長崎創楽堂(長崎市文教町1-14)
	五島灘洋上実習	長崎大学水産学部附属練習船長崎丸
熊本	水の社会学	熊本学習センター講義室1および熊本博物館(2日目・2限)(熊本市中央区古京町3-2)
	分子生物学実験:DNAの解析	熊本学習センター講義室1および熊本大学理学部1号館2階生物実習室(熊本市中央区黒髪2丁目39番1号)
大分	大分県における国際観光	大分学習センターおよび別府大学内(1日目)、九重町(2日目)
	大分の災害と防災	大分学習センターおよび日田市天ヶ瀬温泉街(2日目)
	SDGsにおける生物多様性戦略	大分学習センターおよび別府大学周辺
宮崎	論理的な読み書きの技法	宮崎サザンビューティ専門学校501号室(宮崎市老松2-1-17)
	成人学習理論を学ぶ	
	エンデの『モモ』を英語で読む	
	海洋生物学実習2	宮崎大学農学部フィールド科学教育研究センター・延岡フィールド(水産実験所)(延岡市赤水町376-6)
	健康志向の運動実践2	宮崎大学清武キャンパス総合教育研究棟(宮崎市清武町木原5200番地)
	心理学実験2	宮崎県婦人会館3F「さくら」(宮崎市旭1-3-10)
	身の回りのあつと驚く化学体験4	宮崎大学木花キャンパス(宮崎市学園木花台西1丁目1番地)
	日本語の文のしくみ	南九州大学宮崎キャンパス(宮崎市霧島5丁目1番地2)
鹿児島	古代日本の官僚の実態	鹿児島県立奄美図書館第1研修室(4階)(奄美市名瀬古田町1-1)
	奄美から見た島嶼の人と自然	鹿児島県立奄美図書館第1研修室(4階)(奄美市名瀬古田町1-1)、奄美大島世界遺産センター(奄美市住用町石原467番地1)、黒潮の森マングローブパーク(奄美市住用町石原478番地)
	鹿児島湾洋上実習	鹿児島大学水産学部附属練習船かごしま丸(鹿児島市南栄5丁目29)



 **放送大学**
教養学部